

◆ 葛飾区 ◆

中小企業の景況

令和7年度第3・四半期

(令和7年10~12月)

目 次

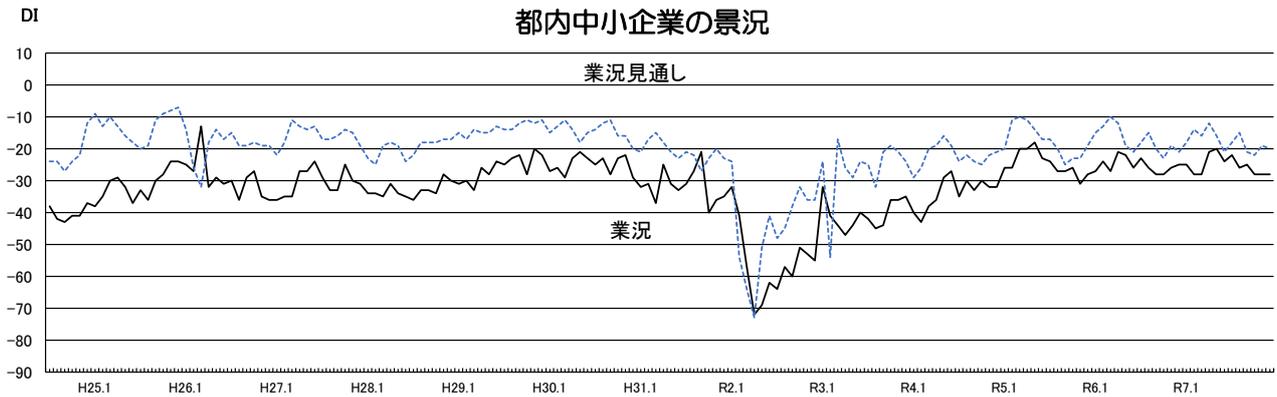
都内中小企業の景況(令和7年10~12月期) ……	1
葛飾区内中小企業の景況(令和7年10~12月期) ……	2
葛飾区の業況動向 ……	3
製 造 業 ……	4
卸 売 業 ……	8
小 売 業 ……	12
サービス業 ……	16
建 設 業 ……	20
不 動 産 業 ……	24
日銀短観 ……	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向 ……	29
東京都・葛飾区の新設法人 ……	32
特別調査	
「賃上げについて」 ……	34
中小企業景況調査 転記表 ……	52

葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和7年10～12月期）

業況：全体はやや悪化。小売業でやや改善、製造業・サービス業でやや悪化、卸売業で大幅に悪化。
見通し：全体は大幅に改善。卸売業・小売業・サービス業で大幅に改善、製造業でやや改善の見込み。



業況DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲28（前期▲25）と、やや悪化した。

今後3か月間の見通しでは、今期比8ポイント増の▲20と大幅に改善する見通し。

	前期 (R7.9)	今期 (R7.12)	増減	今後3か月間の 見通し
製造業	▲27	▲31	▲4	▲26
卸売業	▲18	▲27	▲9	▲16
小売業	▲37	▲35	2	▲24
サービス業	▲18	▲21	▲3	▲12
全体	▲25	▲28	▲3	▲20

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、小売業（▲35）は2ポイント増とやや改善し、サービス業（▲21）は3ポイント減、製造業（▲31）は4ポイント減といずれもやや悪化した。卸売業（▲27）は9ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（22）は6ポイント増と大幅に上昇し、卸売業（21）は4ポイント増とやや上昇した。小売業（18）は1ポイント増と前期並となった。

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（12）は5ポイント増とやや上昇し、製造業（2）は3ポイント増と上昇に転じた。卸売業（9）は0ポイントと増減なく前期並、サービス業（0）は2ポイント減とやや下降した。

今後3か月間の業況見通しDIを業種別にみると、卸売業（▲16）、小売業（▲24）はともに11ポイント増、サービス業（▲12）は9ポイント増といずれも大幅に改善、製造業（▲26）は5ポイント増とやや改善すると見込まれている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Index)の略

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

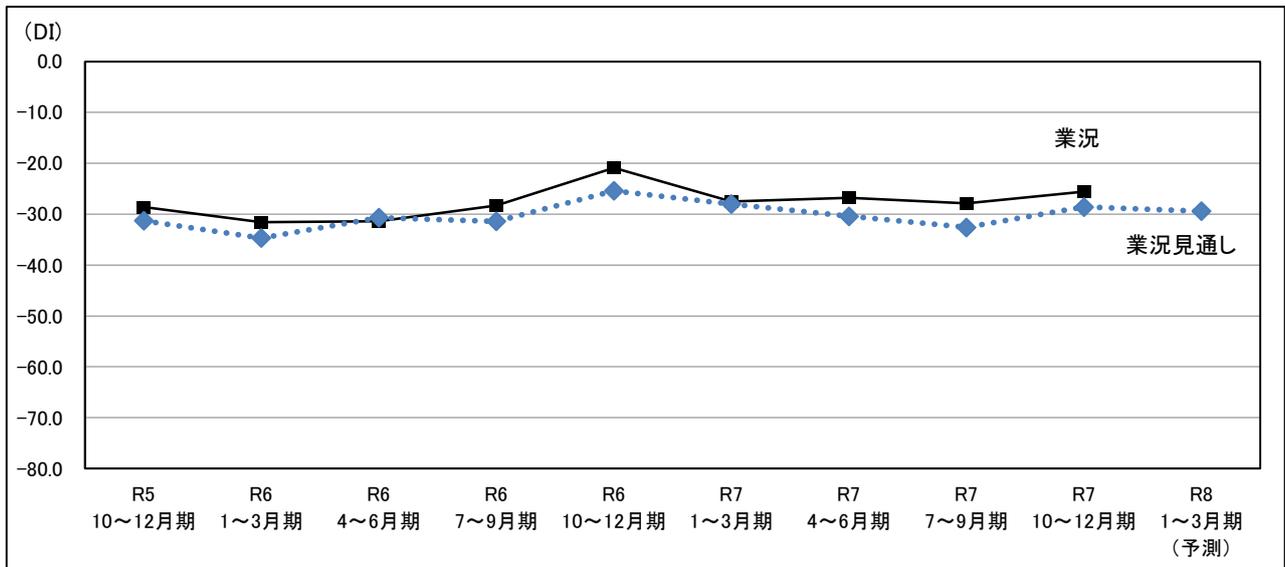
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

葛飾区内中小企業の景況（令和7年10～12月期）

業況：全体ではやや厳しさが和らいだ。小売業・建設業・不動産業は大きく厳しさが和らぎ、製造業・サービス業はやや低調感が強まり、卸売業は大きく低調感が強まった。

見通し：全体ではやや低調感が強まる。製造業は今期並、卸売業・サービス業はやや低調感が強まり、小売業・建設業・不動産業は大きく低調感が強まる見込み。



葛飾区内中小企業の業況DI

	前期 (R7.7~9)	今期 (R7.10~12)	増減	今後3か月間 の見通し
製造業	▲33	▲36	▲3	▲36
卸売業	▲30	▲39	▲9	▲43
小売業	▲49	▲37	12	▲46
サービス業	▲25	▲28	▲3	▲30
建設業	▲20	▲10	10	▲16
不動産業	▲18	▲11	7	▲18
全体	▲28	▲26	2	▲29

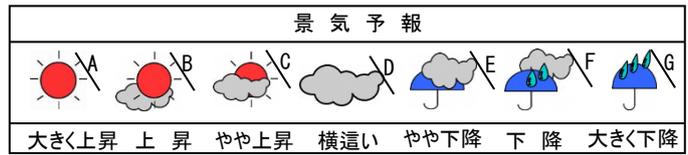
※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

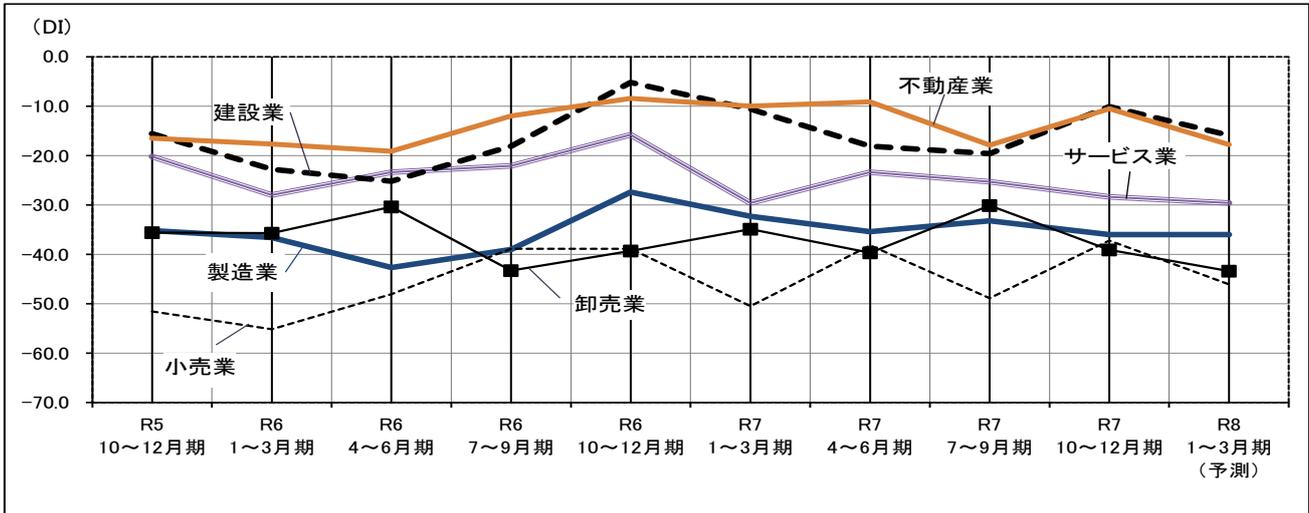
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲26であった。来期（今後3か月間の見通し）においては、やや低調感が強まる見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、小売業・建設業・不動産業は大きく厳しさが和らぎ、製造業・サービス業はやや低調感が強まり、卸売業は大きく低調感が強まった。来期は、製造業は今期並、卸売業・サービス業はやや低調感が強まり、小売業・建設業・不動産業は大きく低調感が強まる見込みとなっている。

葛飾区の業況動向



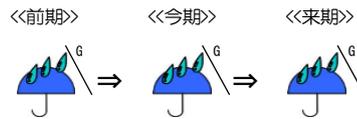
各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



	<p>《前期》 《今期》 《来期》</p>
全体	<p>業況はやや厳しさが和らいだ。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。</p>
製造業	<p> 業況はやや低調感が強まった。来期の業況は今期同様で推移する見込み。</p>
卸売業	<p> 業況は大きく低調感が強まった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。</p>
小売業	<p> 業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。</p>
サービス業	<p> 業況はやや低調感が強まった。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。</p>
建設業	<p> 業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。</p>
不動産業	<p> 業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。</p>

『業種別』 業況動向

製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 33 \rightarrow \Delta 36$) はやや低調感が強まった。売上額 ($\Delta 27 \rightarrow \Delta 25$) はやや減少幅が縮小し、収益 ($\Delta 41 \rightarrow \Delta 29$) は大きく減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は5ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (4→9) はやや上昇傾向が強まり、原材料価格 (50→56) は大きく上昇傾向が強まった。在庫 (5→6) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 17$) はやや窮屈感が緩和し、借入難易度 ($\Delta 2 \rightarrow 3$) は好転した。今期借入をした企業は27%で前期の27%から0ポイントと増減なしとなった。

経営上の問題点・重点経営施策

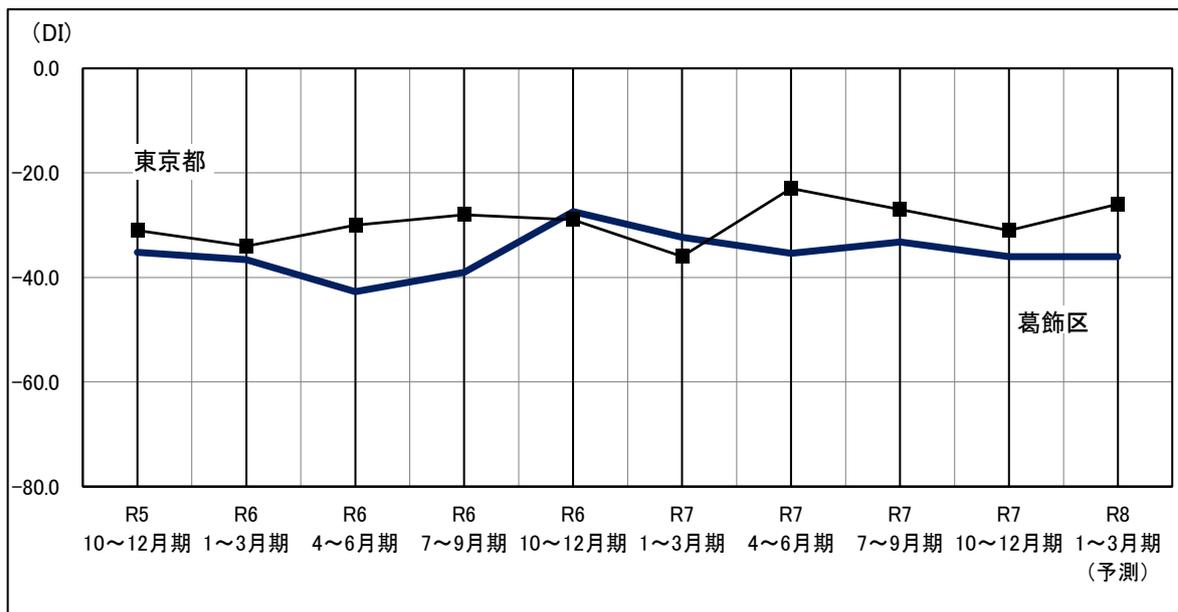
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が46%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が40%、3位は「人件費の増加」が32%となり、上位5位まで前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が39%、2位は「販路を広げる」が36%、3位は「人材を確保する」が26%となり、前期から1位と2位が入れ替わった。

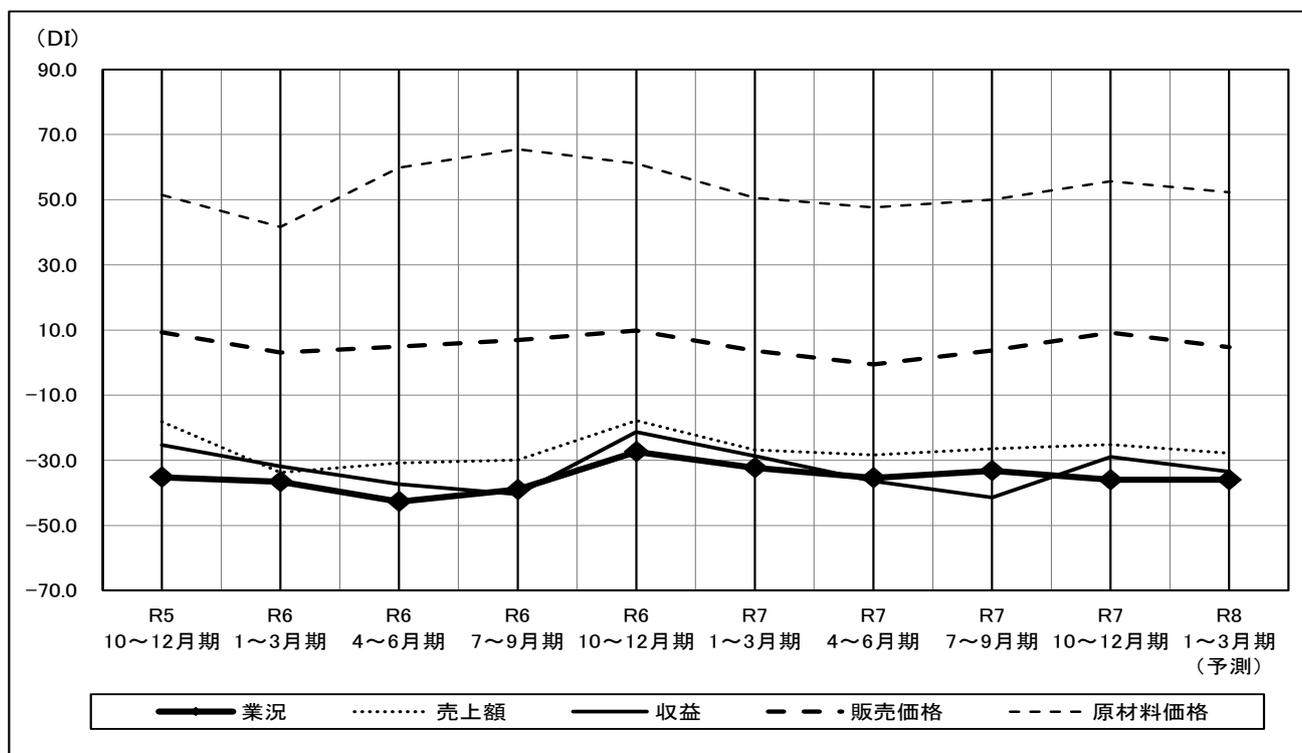
来期の見通し

業況 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 36$) は今期同様に推移する見込み。売上額 ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 28$)、収益 ($\Delta 29 \rightarrow \Delta 34$) はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。

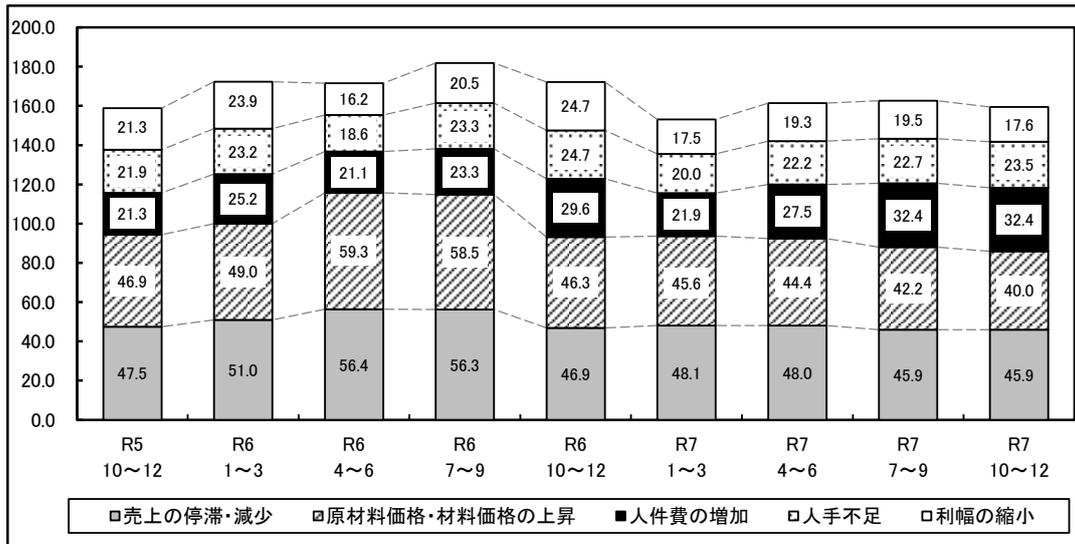
〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



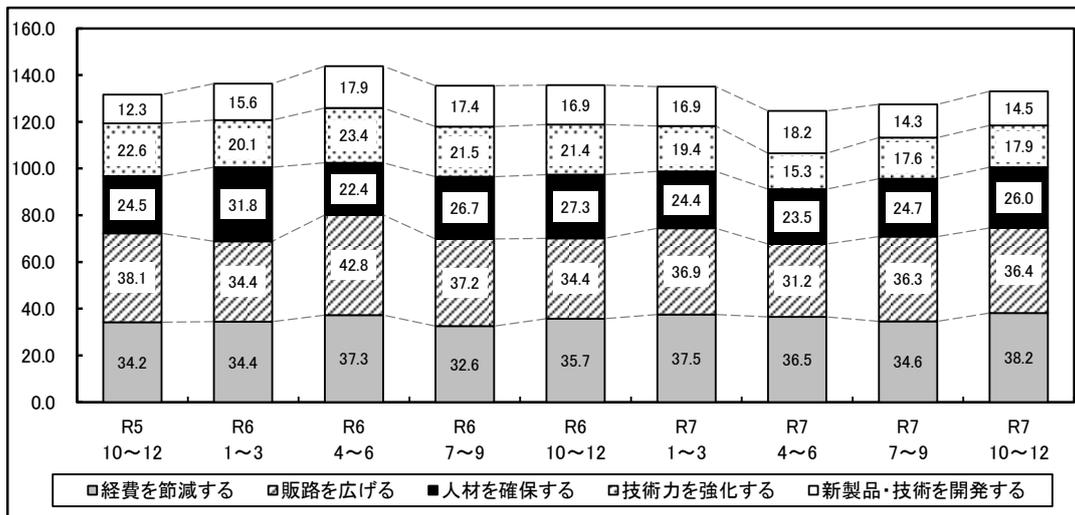
〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	48.1 %	売上の停滞・減少	48.0 %	売上の停滞・減少	45.9 %	売上の停滞・減少	45.9 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	45.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	44.4 %	原材料価格・材料価格の上昇	42.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	40.0 %
第3位	人件費の増加	21.9 %	人件費の増加	27.5 %	人件費の増加	32.4 %	人件費の増加	32.4 %
第4位	人手不足	20.0 %	人手不足	22.2 %	人手不足	22.7 %	人手不足	23.5 %
第5位	取引先の減少	20.0 %						
第5位	利幅の縮小	17.5 %	利幅の縮小	19.3 %	利幅の縮小	19.5 %	利幅の縮小	17.6 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が56.3%で最も多かった。

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	36.5 %	販路を広げる	36.3 %	経費を節減する	38.2 %
第2位	販路を広げる	36.9 %	販路を広げる	31.2 %	経費を節減する	34.6 %	販路を広げる	36.4 %
第3位	人材を確保する	24.4 %	人材を確保する	23.5 %	人材を確保する	24.7 %	人材を確保する	26.0 %
第4位	技術力を強化する	19.4 %	新製品・技術を開発する	18.2 %	技術力を強化する	17.6 %	技術力を強化する	17.9 %
第5位	新製品・技術を開発する	16.9 %	技術力を強化する	15.3 %	新製品・技術を開発する	14.3 %	新製品・技術を開発する	14.5 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「30人以上100人未満」、「100人以上」が50.0%で最も多かった。

製造業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 原材料価格や仕入れからの値上げが続いてもお客様に対しての値上げは難しい
2. 原材料価格の上昇と注文数の減少の為経営困難の状況
3. 外注先の廃業などにより、外注費が上昇した
4. 材料費の高騰により、変動価格を取っている取引先の売上げが上昇。今後長期的には停滞、減少傾向があるので、技術開発にて新しいマーケットを広げておく必要がある
5. 昨年・一昨年に比べれば、材料高騰の理解が進み顧客への見積りが通り易くなった所がある反面、全く理解の無い所もあり、顧客の選別は出来て業務量の調整や利益確保はし易くなったが、売上げの絶対数は減ったので一長一短という所。ただ今年は金型屋の倒産が目立ったので、今後出来る所が減ればまた変わると思う
6. 過度な円安による材料の高騰
7. 原材料の高騰が過去に類を見ないレベルであり、値上げのペースが相場上昇に追いつかず、更に買い控えも起きている
8. 原材料高騰による値上げが認められるが、他の安い商品に取引先が流れ、売上額が減る。販売宣伝力が弱く、HP 等も作り販路拡大をしたいが、HP の維持費、毎月のコストが高く踏み出せない
24. コロナ以降、たくさんの受注がありましたが、このところ注文が下降気味です
25. 公共投資の減少や建設コストの上昇により、2025 年下期の鉄骨需要は引き続き厳しい状況が続いており、鉄骨業界として、通期で最終的に 350 万トン程度の見通しになるのではないかとの声が上がっている。当社も前期に比べ、売上・収益が減少しているが、原材料費やエネルギーコストの高騰、輸送費や人件費の上昇分を、製品価格に十分に上乗せできていない。また、製造業は 2025 年問題の煽りを受け、依然深刻な人手不足に悩まされているが、これにより外注費が増え、利益の減少に繋がっている
26. 取引先の発注数が減少し売上げ、収益両方に影響が出ている

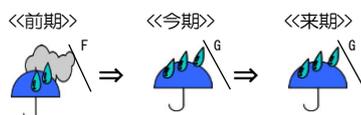
<人材について>

<受注・業況について>

9. 景気が停滞状態で上向きにならない
10. 小口注文多し、利幅減
11. 取引先企業の受注量が減り、売上げが伸びず
12. コンスタントに注文がこないのが困ります
13. 当面は、売上げ減少のまま
14. 受注減少。売上げ、利幅減少
15. 受注量減少、長期化による
16. 来た仕事をこなすだけでは売上げは増えないので、新しい仕事や得意先を開拓する必要があると感じるが難しい
17. 相変わらず受注がない。そのため固定費等の支出が多くなる等資金繰りが大変となっている。宣伝活動を多くすべきだが、本業が疎かとなり、結果、受注が増えない悪循環となっている
18. 得意先の生産が停滞の為受注減
19. 売上げ減少傾向が続いている
20. 同業者との競争激化による売上高の減少が続いている
21. 需要が減少し同業で仕事の取り合いになっている
22. 業界全体が冷え込んでいるため同業との競争が激しい。これに伴い売上・利益とも減少が続いている
23. 夏より続いた高需要が一段落し、先行きが怪しくなってきた
27. 人材の採用が出来ず、将来の事業に不安を感じている
28. IT 対応の技術者、オペレーターを新規採用して、人手不足の解消、技術力の向上を図りたい
29. 現状、売上・利益に大きな変化はないが、ハローワーク等から従業員募集をするが応募なく慢性的な人手不足と賃金上昇による人件費増加、加えて銀行融資金利の急激な上昇が重なって収益を大きく圧迫されはじめ、今後の経営状況悪化が大いに懸念され心配している
30. 受注状況は苦しくないが、現状が底打ちの状況であることを考慮して、今後の立ち上げに遅れないように、人員体制や設備保全の準備を行っています
31. 社員の高齢化が進み、作業内容が暗くて危険で汚いため新規採用が進まず、事業承継は時間の問題となっている
32. 葛飾区周辺の取引先（都内）の倒産と廃業が多い 1 年だった。製造業経験者を採用したので、新たなノウハウやシナジーを生み出したい
33. 受注増の中、採用をしているが人件費が高騰していて、利益が伴わない
34. 人手不足で一部受注の対応ができない
35. 借入金の減少化につとめる
36. 固定費の削減及び売上げの伸びにより利益を確保している

<その他>

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 30 \rightarrow \Delta 39$) は大きく低調感が強まった。売上額 ($\Delta 27 \rightarrow \Delta 33$) は大きく減少幅が拡大し、収益 ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 30$) はやや減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は 12 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($18 \rightarrow 16$) はやや上昇傾向が弱まり、仕入価格 ($49 \rightarrow 48$) は前期並となった。在庫 ($9 \rightarrow 4$) はやや過剰感が改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 18$) はやや窮屈感が強まり、借入難易度 ($3 \rightarrow 0$) はやや容易さが縮小した。今期借入をした企業は 29% で前期の 22% から 7 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

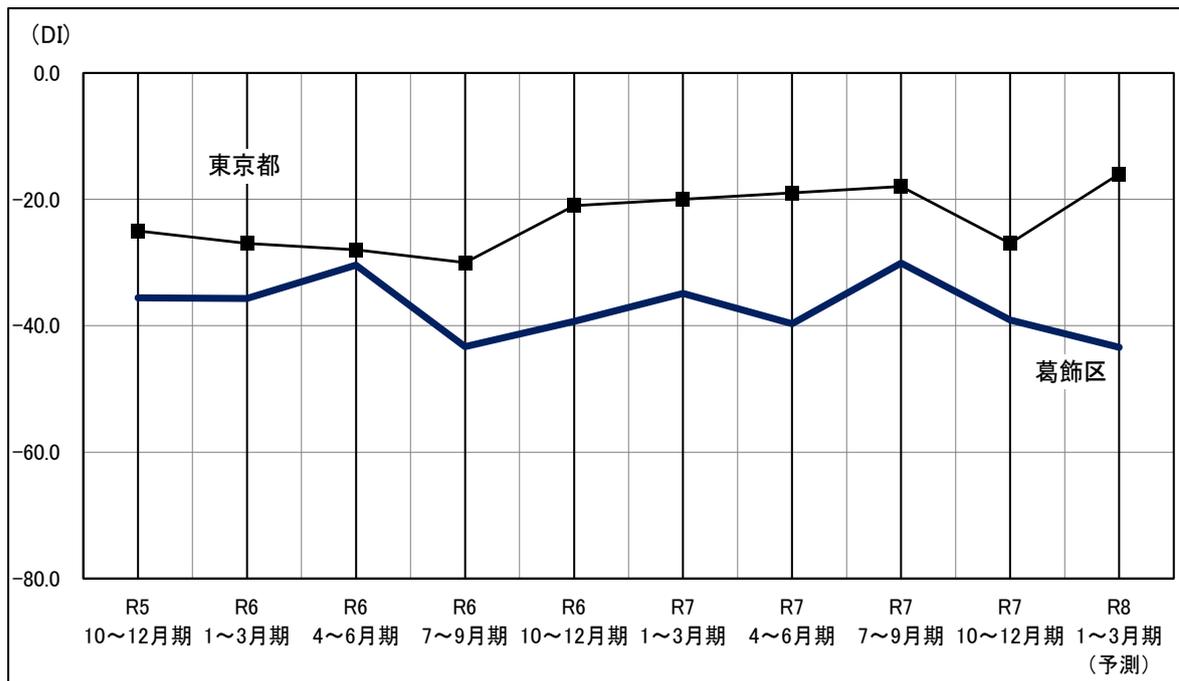
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 54%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 27%、3 位は「取引先の減少」が 25% となり、前期 3 位の「原材料価格・材料価格の上昇」が今期 2 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 56%、2 位は「経費を節減する」が 38%、3 位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が 18% となり、上位 3 位まで前期同様となった。

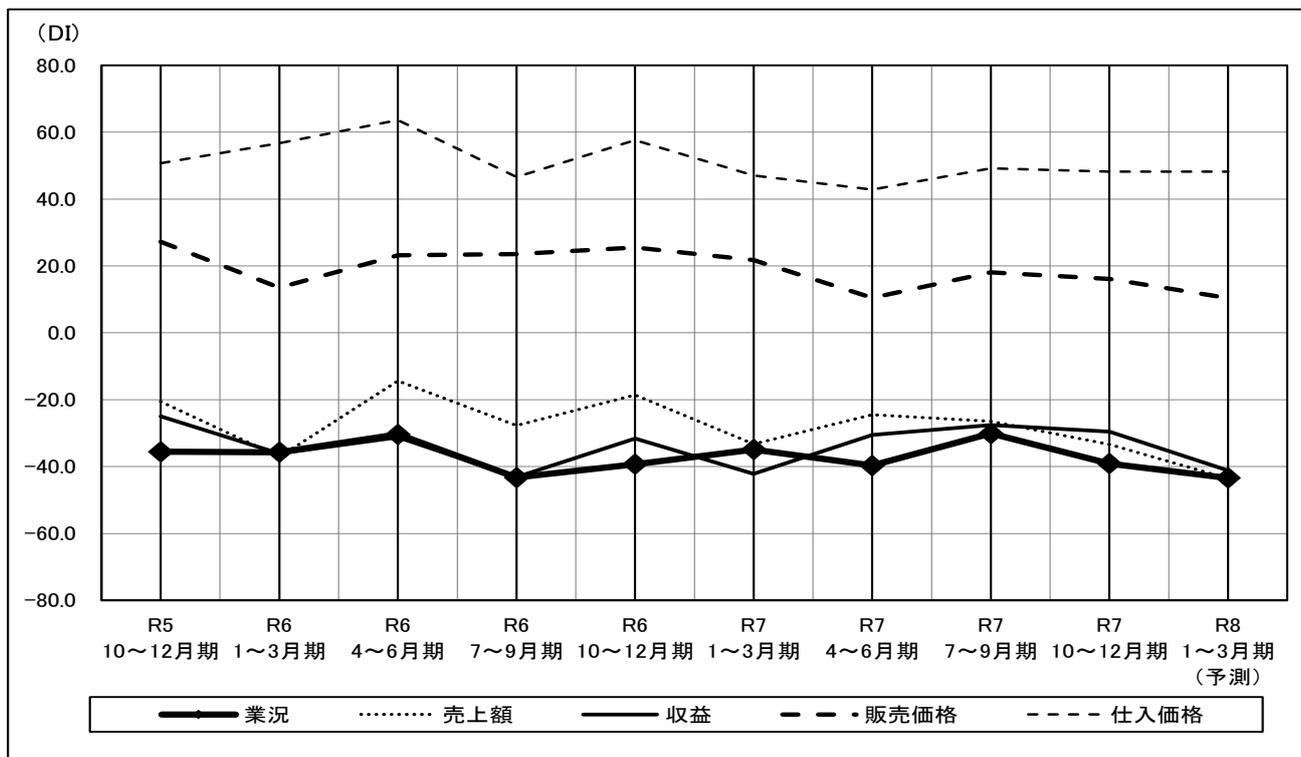
来期の見通し

業況 ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 43$) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 33 \rightarrow \Delta 44$)、収益 ($\Delta 30 \rightarrow \Delta 41$) はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

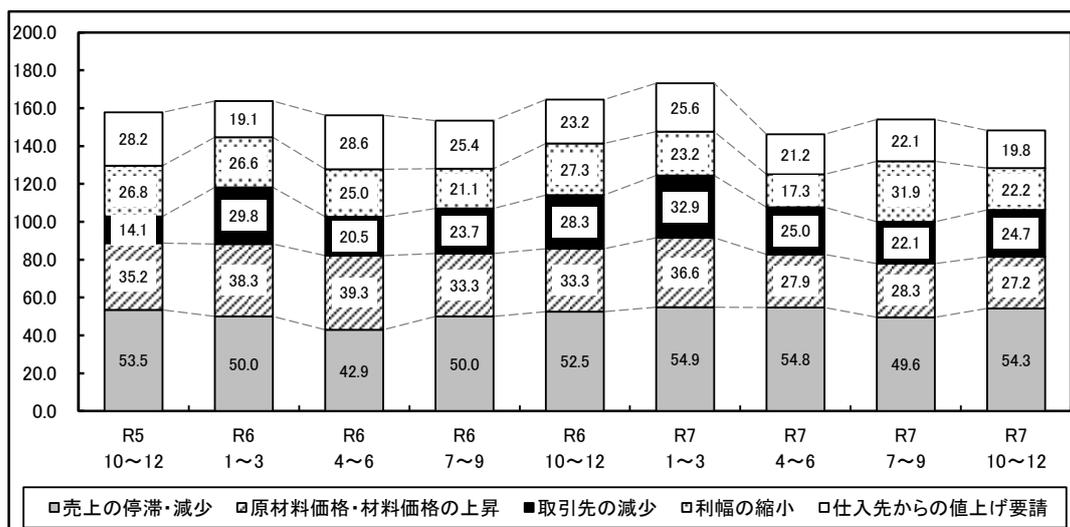
〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



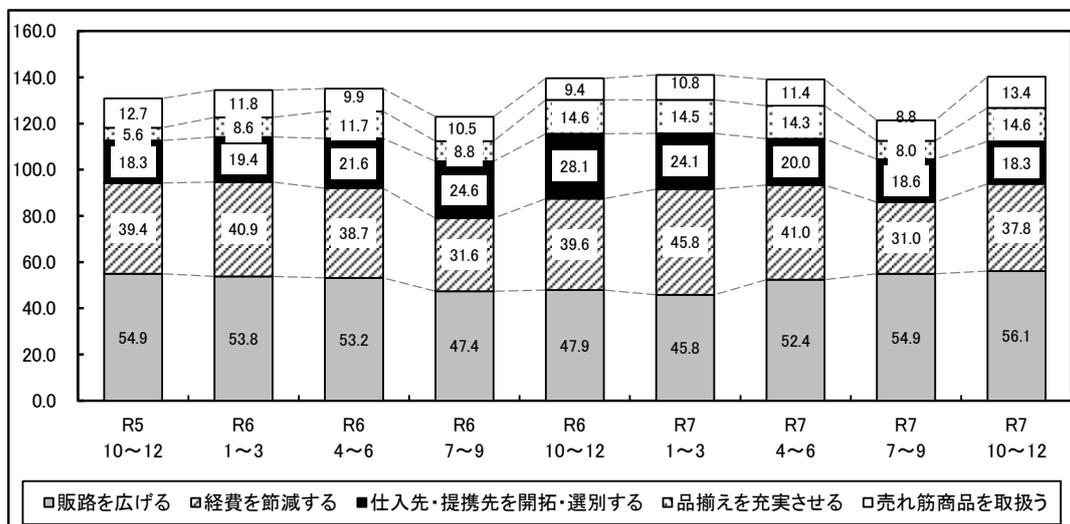
〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	54.9 %	売上の停滞・減少	54.8 %	売上の停滞・減少	49.6 %	売上の停滞・減少	54.3 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	36.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	27.9 %	利幅の縮小	31.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	27.2 %
第3位	取引先の減少	32.9 %	取引先の減少	25.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	28.3 %	取引先の減少	24.7 %
第4位	仕入先からの値上げ要請	25.6 %	仕入先からの値上げ要請	21.2 %	仕入先からの値上げ要請 取引先の減少	22.1 %	利幅の縮小	22.2 %
第5位	利幅の縮小	23.2 %	利幅の縮小	17.3 %	同業者間の競争の激化	20.4 %	仕入先からの値上げ要請	19.8 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が64.7%で最も多かった。

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	販路を広げる 経費を節減する	45.8 %	販路を広げる	52.4 %	販路を広げる	54.9 %	販路を広げる	56.1 %
第2位	仕入先・提携先を開拓・選別する	24.1 %	経費を節減する	41.0 %	経費を節減する	31.0 %	経費を節減する	37.8 %
第3位	品揃えを充実させる	14.5 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	20.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.3 %
第4位	人材を確保する	13.3 %	品揃えを充実させる	14.3 %	新製品・技術を開発する	15.9 %	品揃えを充実させる	14.6 %
第5位	売れ筋商品を取扱う	10.8 %	新しい事業を始める	12.4 %	情報力・宣伝・広報を強化する 人材を確保する	12.4 %	売れ筋商品を取扱う	13.4 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が60.0%で最も多かった。(n数5以下は除く)

卸売業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 原材料は高騰しているが、それを価格に反映されていない
2. 同業者との価格競争が激しい。中国への販売品があるので、昨今の日本と中国首脳部との摩擦の長期化に懸念する
3. 流通運賃の値上がりか経営に響く
4. 金価格の高騰により、仕入金額が増大する
5. 円安の影響により仕入価格が上昇し、価格転嫁の結果、販売力が低下した
6. 同業他社との競争と値上りした分の価格転嫁が出来ていない
7. 新製品を作るのに材料価格が上昇している
8. シルバー製アクセサリーを輸入しているため、円安と地金高騰で商品の企画製造販売が激しい
9. 人工ダイヤモンドの影響を受け、天然ダイヤモンドの値段が下落し続けているため
10. 円安による利益の減少が大きい
11. 仕入れの高騰。上場企業による資金力の差
12. 仕入先からの突然の30%の値上げ、即日実施。2016年以来仕入先は価格改定を実施しておらず、確かに、原材料費、製造コスト、納品コストが上昇しているのは理解できるが、少なくとも、3ヵ月ぐらい前から値上げ予定ありとアナウンスをすべきであった
13. 輸入商品を扱っている関係で為替が円安状態なので減益が続いている
14. 仕入価格の上昇による価格転嫁の厳しさ
15. 得意先の代わりの入力作業が増え、効率が下がり、人件費を有効に使えていない。納入価格を下げなければ、縁がないと切り捨てられそうで、下げざるを得ない

<受注・業況について>

16. 販路が広がり今のところ好調である
17. 受注が減少している（特に消耗品）
18. 設備投資が減少しているが、食品機械関係は良い
19. ホームセンターが増え、ネットでの取扱いがある商品があれば、購入する傾向はあると思います
20. 得意先（建築・土木関連）の仕事量の減少で影響を受けている
21. 公共事業としての土木資材を販売が中心であるトンネル、高速道路等の投資減となり難儀している
22. 受注増の中、増収・増益が続いている
23. 販促品を扱う事業なのでお客の景気次第と思う
24. 需要が減少、増収なし
25. 需要が減り減収・減益が続いている

26. 顧客の設備投資意欲の向上によって、増収になっているが、価格競争が激しいため、増益にはなっていない
27. 物件要素が多く、安定しないものの微増収・増益で推移している
28. 輸出売上げの減少に伴う資金繰りが悪化している
29. 主たる取引先である郵便局が、点呼問題で自身の経費削減計画の結果、弊社への発注が極端に減少している
30. 取引先の在庫調整によって停滞していると思われる、いずれ回復に向かうものと考えています
31. 販路や取扱い製品は増えているが、キャパシティに限界があり営業活動などがこなさきれていない
32. 百貨店にお店を出しているが、革靴の需要が減っている。生産工場の人手不足。納期遅れ多発、売上げ減少
33. 需要減少
34. 需要が増え、売上げは増収傾向にある
35. 小口オーダー増加、ものはあり競争増加、戦略を一つ一つ考え見積もりなど対応する必要あり。利益減となる不安があり。今期は注視したいと思います

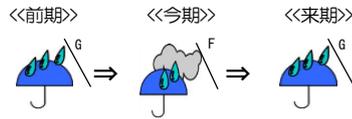
<人材について>

36. 海外経験のある人材の縮小
37. 取引先の廃業及び高齢の為、会社を存続出来ない
38. 取引先の減少もあるが、取引量の増加のある取引先もあり、今のところは現状維持している。人材確保には大変な思いもした。これから先は人材の定着や技術面の強化をしていきたいと思っている

<その他>

39. ドル高円安で輸出企業の我々は良い傾向である
40. 金利の上昇により、（住宅）購入マインドが低下する
41. トランプ関税
42. 経費を節減する為に車などを売却しました
43. 成長著しい国が存在しない中で生き残っていくには、自分たちができる範囲で効率化を図り、確実な利益を上げていくこと
44. 売上げや仕入れは変わらないがインフレ物価高で経費がかかる

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 49 \rightarrow \Delta 37$) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 29$)、収益 ($\Delta 54 \rightarrow \Delta 38$) はともに大きく減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は 2 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($28 \rightarrow 22$) は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格 ($65 \rightarrow 67$) はやや上昇傾向が強まった。在庫 ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 16$) は大きく不足感が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 40 \rightarrow \Delta 28$) は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度 ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 17$) はやや厳しさが強まった。今期借入をした企業は 26% で前期の 20% から 6 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

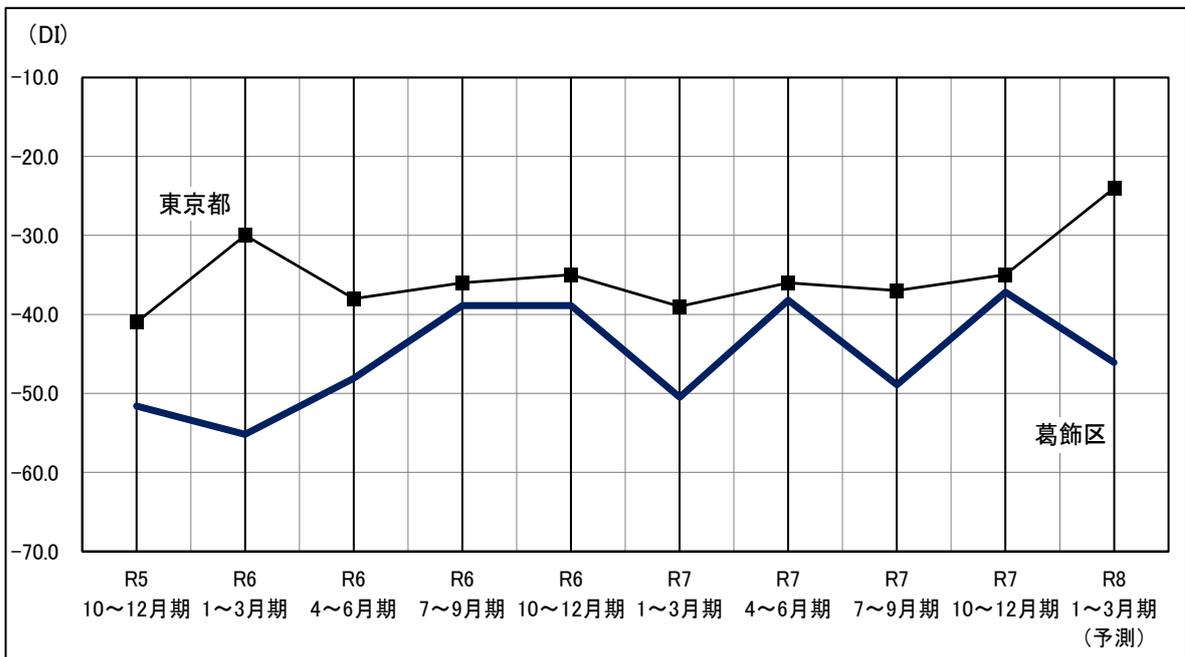
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 59%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 28%、3 位は「利幅の縮小」が 25% となり、前期 3 位の「原材料価格・材料価格の上昇」が今期 2 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 47%、2 位は「販路を広げる」が 38%、3 位は「品揃えを充実させる」が 32% となり、上位 4 位まで前期同様となった。

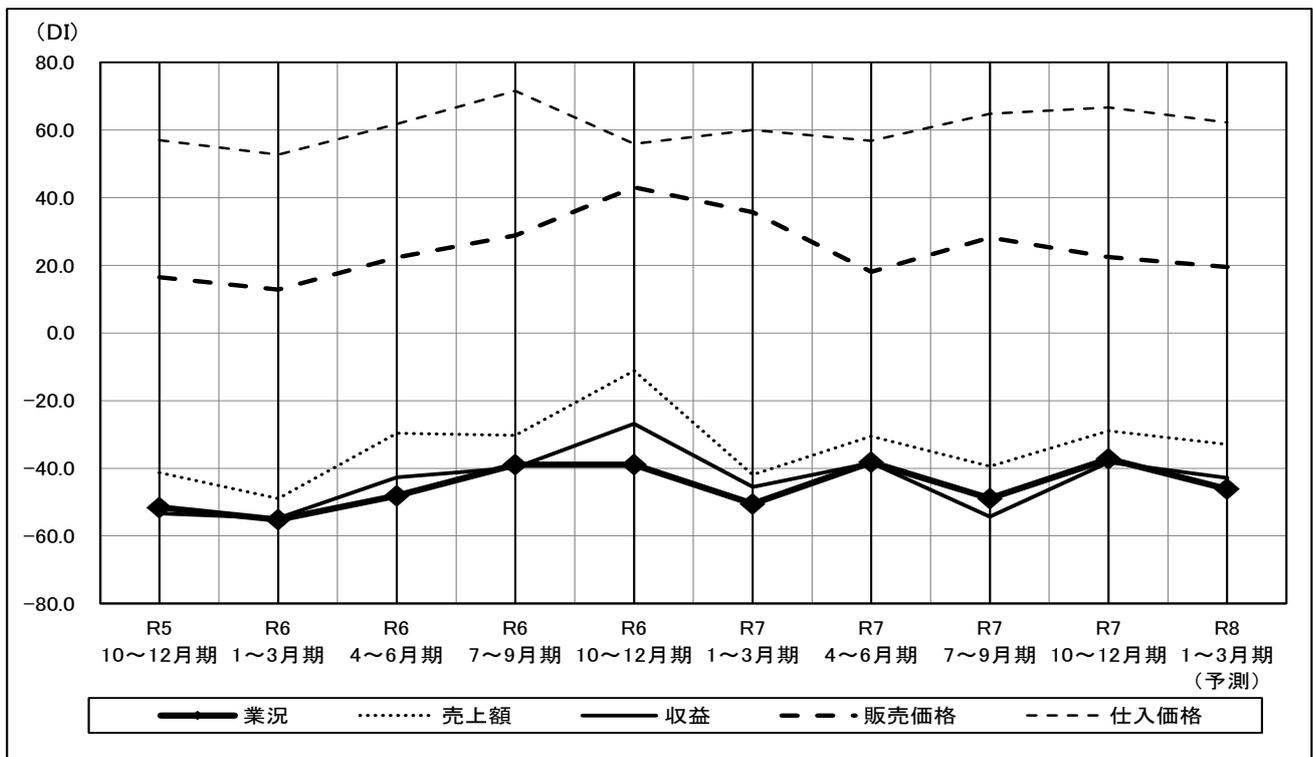
来期の見通し

業況 ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 46$) は大きく低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 29 \rightarrow \Delta 33$)、収益 ($\Delta 38 \rightarrow \Delta 43$) はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。

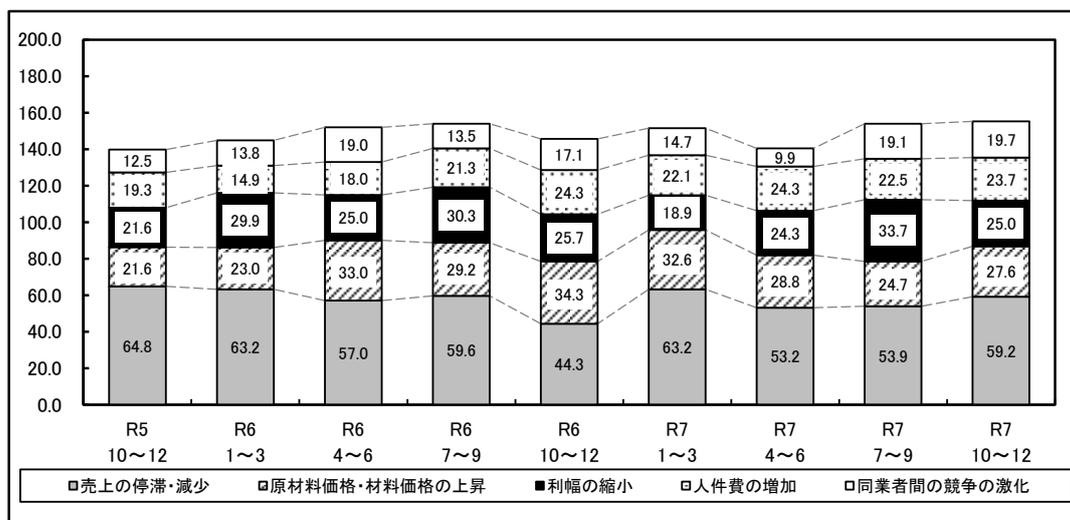
〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



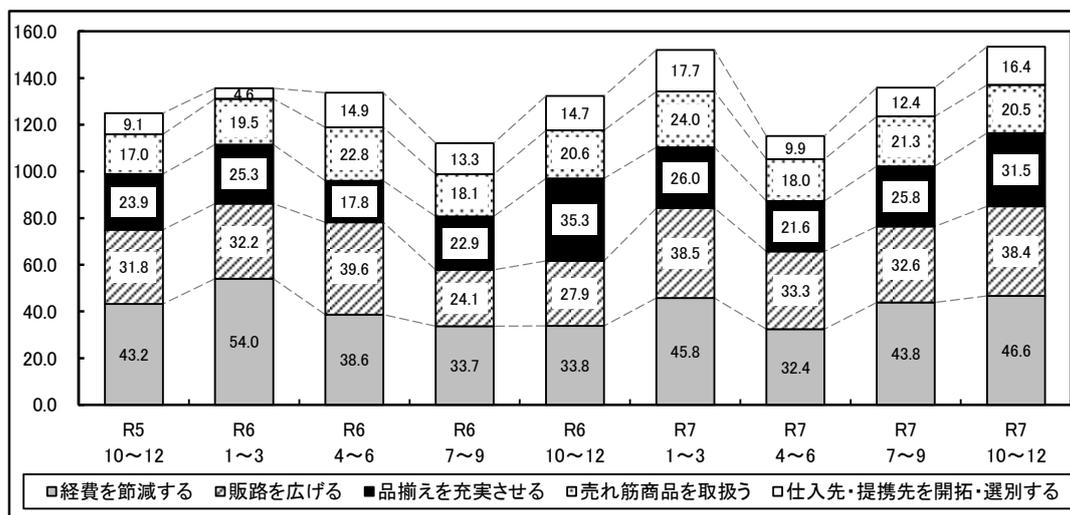
〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	売上停滞・減少	63.2 %	売上停滞・減少	53.2 %	売上停滞・減少	53.9 %	売上停滞・減少	59.2 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	32.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	28.8 %	利幅の縮小	33.7 %	原材料価格・材料価格の上昇	27.6 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	25.3 %	仕入先からの値上げ要請	26.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	24.7 %	利幅の縮小	25.0 %
第4位	人手不足 人件費の増加	22.1 %	利幅の縮小 人件費の増加	24.3 %	人件費の増加	22.5 %	人件費の増加	23.7 %
第5位	利幅の縮小	18.9 %	人手不足	20.7 %	人手不足	21.3 %	同業者間の競争の激化	19.7 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が81.8%で最も多かった。

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	経費を節減する	45.8 %	販路を広げる	33.3 %	経費を節減する	43.8 %	経費を節減する	46.6 %
第2位	販路を広げる	38.5 %	経費を節減する	32.4 %	販路を広げる	32.6 %	販路を広げる	38.4 %
第3位	品揃えを充実させる	26.0 %	品揃えを充実させる	21.6 %	品揃えを充実させる	25.8 %	品揃えを充実させる	31.5 %
第4位	売れ筋商品を取扱う	24.0 %	売れ筋商品を取扱う 人材を確保する	18.0 %	売れ筋商品を取扱う	21.3 %	売れ筋商品を取扱う	20.5 %
第5位	情報力・宣伝・広報を強化する 仕入先・提携先を開拓・選別する	17.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する	15.3 %	人材を確保する	15.7 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 人材を確保する	16.4 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が45.5%で最も多かった。(n数5以下は除く)

小売業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 仕入価格が上昇して、利益が減少している
2. 全体的な原材料高、仕入高で厳しい
3. 原材料・仕入価格・人件費が上がり続け利幅減少がどんどん加速していく
4. カタログ通販に多くの商品を取られ、金額を合わせる様に納品して、利益が少なくなって、又納品数も減っている
5. 原材料費が上がっているが消費者の可処分所得が減っているため、利益を得られる高価格帯のものではなく安い商品価格のものが売れるようになっており、相対的に利益が減っている
6. 原材料価格の高騰による仕入価格の上昇が続いており、それに伴い販売価格も上げざるを得ない。販売価格の上昇と共に顧客の買い控えが発生し、結果として売上げが減少している
7. 原価上昇と人件費が高い
8. 仕入値の上昇が続き、利幅の減少が継続している
9. 仕入れの価格が上がっている
17. 売上げは横ばい傾向になってきている。賃金上昇圧力もあり、経費節減、労働時間の適正化を図りながらの店舗運営が求められる
18. 消費者の耐久消費財に対する購入意欲やより良い暮らしをとという意欲がこの不景気のため、感じられないのが残念
19. 資金不足により厳しい状況
20. 新商品の販売が増えてきて、売上げは上がってきているが、資金が足りずに追加発注が出遅れて、在庫切れが何度も発生している
21. 需要が減少し、減収傾向だがコストダウンで乗り切っている。最低賃金の上昇が最も痛手である
22. 各企業の設備投資が停滞気味で、売上げが伸び悩んでいる
23. 資金不足や単価の上昇により適正在庫の確保が非常に厳しい
24. 新規取引顧客の数よりも既存取引先の減少（倒産や廃業）の方が多く、売上げが伸び悩んでいる
25. 収益が徐々に増加しているが、経費もかかっている

<受注・業況について>

10. 令和7年10月に大型商業施設がオープンし、競合店として商売に影響が出てきている。昨年葛飾区民に好評だった、PayPayなどのポイントバックキャンペーンが今年はなくなったので、これも売上減の要因になっている。足立区はPayPayキャンペーンやるので葛飾区もやってほしいとの声をよく聞く
11. 和楽器を新しくやる方がいない。また、やっている人達で楽器や道具を相手方に差し上げている
12. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
13. アルコール飲料がどこでも買える様になったので、コンビニに人が移動している。価格が違いすぎるのでDS等に行ってしまうので来客数も少ない
14. 業界内の利益配分が改善されず、書店の利益は全く足りず、継続が困難である
15. 物価の高騰が続く中、消費者の買い控えが続いている
16. 米価の高止まりにより消費者の米離れがおきている。米価が下がらないと販売も伸びない

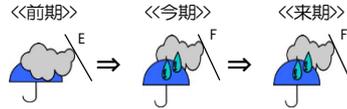
<人材について>

26. 人件費が増加し、売上げが伸びていない
27. アルバイトの確保がとにかく難しい。特に日本人の希望者がほぼいない。それによってスタッフのレベル低下からの顧客満足度の低下、クレームの増加に繋がり、客数減となってしまう

<その他>

28. セキュリティの充実
29. 原告として、裁判を行なっているが、運転資金となる融資を受けられず判決まで資金不足が続いている
30. 弊社は9月に全店舗営業終了いたしました。売上げの減少と驚くほどの原材料の高騰、人件費（時給や年次休暇取得）のため、値上げが必要だったかもしれませんが、小さいお店なので、立て続けに値上げするのは厳しいものがありました。様々なことが現代社会に乗り遅れてしまった部分があると思います
31. 医療保険の改定待ち
32. 国際関係からの影響が主な要因と思います

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 28$) はやや低調感が強まった。売上額 ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 12$)、収益 ($\Delta 27 \rightarrow \Delta 23$) はともにやや減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は7ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格 ($12 \rightarrow 15$) はやや上昇傾向が強まり、材料価格 ($54 \rightarrow 44$) は大きく上昇傾向が弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 23$) は前期並となり、借入難易度 ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 9$) はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は20%で前期の26%から6ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

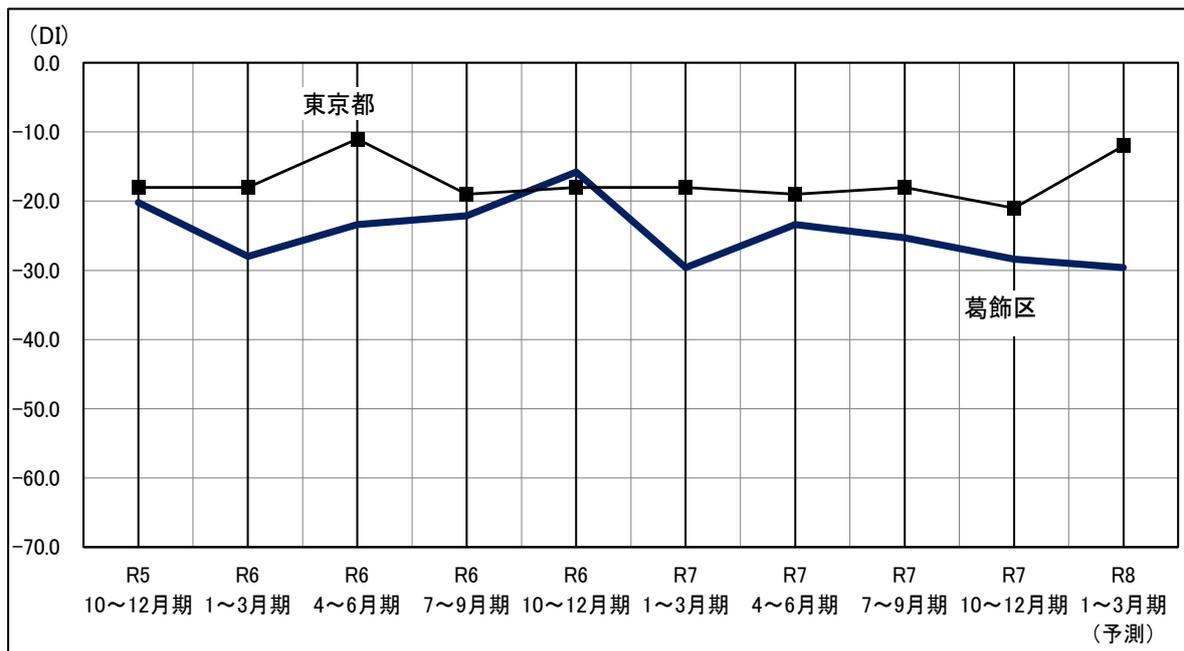
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が47%、2位は「人件費の増加」が33%、3位は「人手不足」が31%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が39%、2位は「販路を広げる」「人材を確保する」がともに34%、3位は「情報力、宣伝・広報を強化する」が15%となり、前期3位の「販路を広げる」が今期2位と順位を上げた。

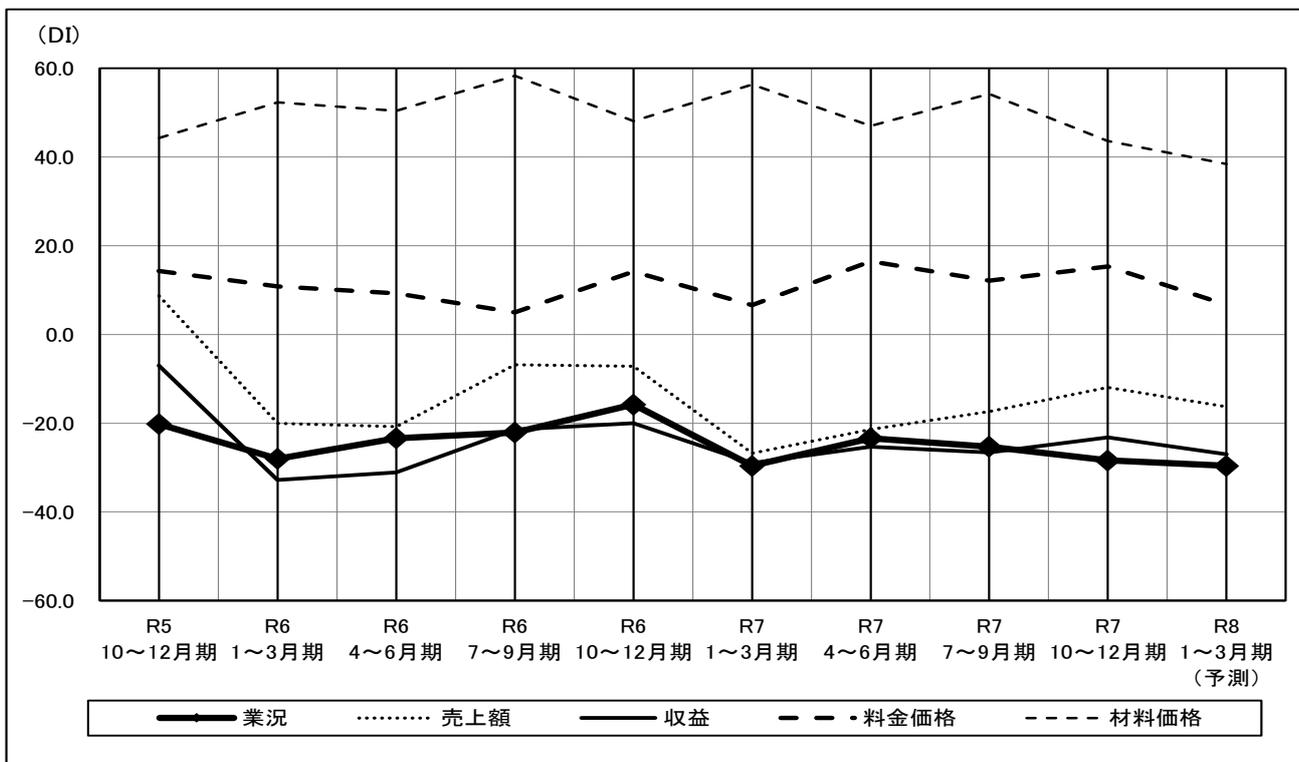
来期の見通し

業況 ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 30$) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 16$)、収益 ($\Delta 23 \rightarrow \Delta 27$) はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。

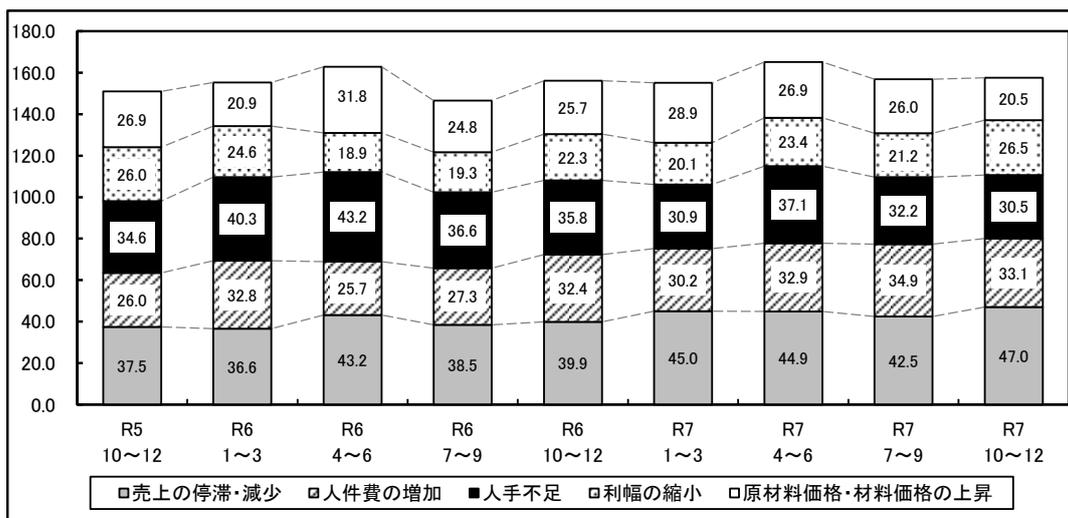
〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



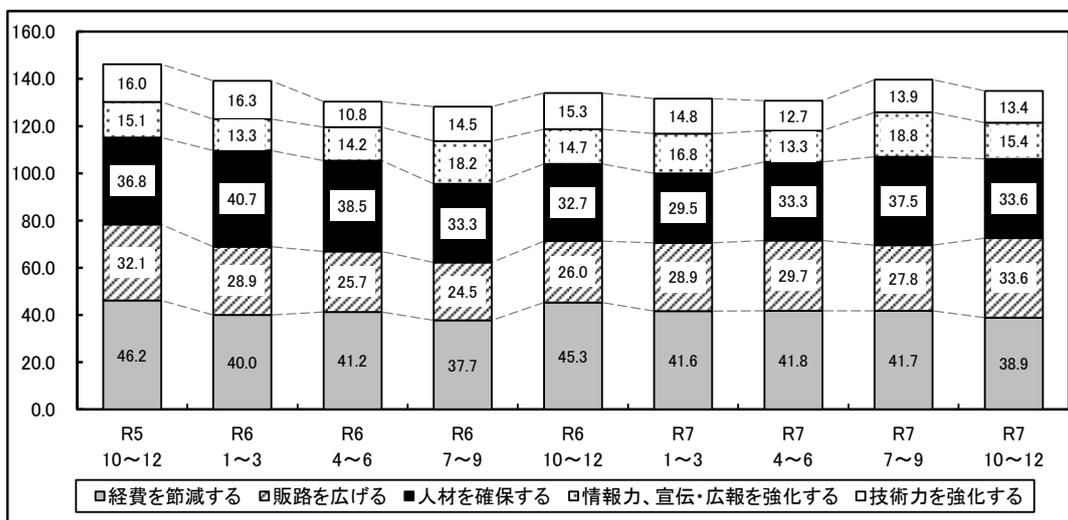
〈サービス業〉 経営上の問題 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	45.0 %	売上の停滞・減少	44.9 %	売上の停滞・減少	42.5 %	売上の停滞・減少	47.0 %
第2位	人手不足	30.9 %	人手不足	37.1 %	人件費の増加	34.9 %	人件費の増加	33.1 %
第3位	人件費の増加	30.2 %	人件費の増加	32.9 %	人手不足	32.2 %	人手不足	30.5 %
第4位	原材料価格・材料価格の上昇	28.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	26.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	26.0 %	利幅の縮小	26.5 %
第5位	利幅の縮小	20.1 %	利幅の縮小	23.4 %	利幅の縮小	21.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	20.5 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が52.3%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈サービス業〉 重点経営施策 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	経費を節減する	41.6 %	経費を節減する	41.8 %	経費を節減する	41.7 %	経費を節減する	38.9 %
第2位	人材を確保する	29.5 %	人材を確保する	33.3 %	人材を確保する	37.5 %	販路を広げる 人材を確保する	33.6 %
第3位	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる	29.7 %	販路を広げる	27.8 %	情報力・宣伝・広報を強化する	15.4 %
第4位	情報力・宣伝・広報を強化する	16.8 %	新しい事業を始める	13.9 %	情報力・宣伝・広報を強化する	18.8 %	技術力を強化する	13.4 %
第5位	技術力を強化する	14.8 %	情報力・宣伝・広報を強化する	13.3 %	技術力を強化する	13.9 %	新しい事業を始める	10.7 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「30人以上100人未満」が53.8%で最も多かった。

サービス業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 物価が上がったらコストを抑えて仕事をしているため、以前と何も変化なし
2. 原材料費の高騰、特に輸入食材が値上がりしている
3. 原材料の上昇により売上げの減少
4. 仕入価格や人件費の増加により利益率が低下している
5. 水道光熱費等の増加による経常利益の減少(赤字化)
6. 原価の増加と収益の減少がいずれも続いている
7. 仕入値の上昇幅に売値がついていけない
8. 原材料の高騰
9. 仕入先からの人件費のアップを要求されている

<受注・業況について>

10. 競争相手が増加し、売上げは減少傾向にある
11. 旅館業を経営していますが、中国人の観光客の日本への規制が入ったため、宿泊率にも影響が出ている点
12. コロナ以前も悪かったが、改善は見えて来ない
13. 需要が少し増え、増収・増益が見込める
14. 顧客単価を上げて、増収できるようになった。メディアへの露出を増やして、新規顧客の獲得をしている。従業員の労働時間を減らして賃金を上げることに成功
15. 景気が悪くて、減収減益が続いている。物価高が続き、原材料価格高すぎる
16. AI導入によりイラスト制作の仕事が激減している
17. 中古車の仕入価格が高く小売販売が難しい。仕入れの車が安くなれば、売上げも上がると思う
18. 元請の業績不振に伴い売上げの大幅減少が続いている
19. 需要が増え、増収・増益傾向。同業(競合)他社が廃業又は人手不足により業界全体の輸送力が低下。相対的に需要が増えていると思われる
20. 同業者の進出により、売上げが減少している(人の入りが悪い)
21. 売上げの伸び悩みにより資金繰りの厳しい状況が続いている
22. 顧客の設備投資案件減少の為、思うように仕事が増えておらず。景気に左右されており、顧客の拡大が急務です

23. サービス販路の拡大に苦戦しており、技術力の強化ともに大きな課題
24. 今年前半に比べると受注額が増加してきており、年間ベースで見れば増収、増益が期待できる
25. 介護報酬が減額され売上げが減収、人件費も増え減益が続いている
26. 受注増の中、入金までの期間の間の立替資金の調達を中心とした資金繰りが厳しくなっている。金融機関はコロナ以降の赤字や、保証協会の枠いっぱいまで融資を受けている影響で取り合ってくれていません
27. 最低賃金上がる中、収益が伸びず、経費が増加して経営を逼迫させています

<人材について>

28. 人材の確保が難しい
29. 若手の採用ができず、高齢化してきており、人手不足となっている
30. 受注は順調であるが、採用が十分に出来ず人手不足の状況が続いている
31. 人材不足で作業を発注してもらえない、仮に発注されても請けられない
32. 人手不足と介護報酬が低く利益が出ない
33. 業界全体で人手不足が続いている。介護報酬が上がらないので賃金改善が十分できず、また利益が圧縮されている
34. 人件費・燃料費・車両購入費・修理費高騰により利益減。質の良い人材確保が課題
35. 依頼が滞り売上げが伸びない。仲介会社を利用して人材確保をしたため、手数料が短期的に支出増となっている。スタッフが介護休業を取得中であり、手に余裕がない
36. 人材確保のための費用が上がっていること。この業種の有効求人倍率が高いこと。人手が減ると売上げも下がるが、業界として人員確保に努めているため、需要と供給のバランスの関係で売上げも減りつつある。世の中の物価高騰の影響により、利用客の減少も要因の一つ

<その他>

37. 廃業を視野に入れている
38. 1人で経営しているので、身の丈にあった範囲で頑張っています

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 10$) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 15$) はやや減少幅が縮小し、収益 ($\Delta 29 \rightarrow \Delta 18$) は大きく減少幅が縮小し、施工高 ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 16$) は前期並となった。

価格・在庫動向

請負価格 ($\Delta 3 \rightarrow 1$) は上昇に転じ、材料価格 (57→57) は前期並となった。在庫 ($\Delta 1 \rightarrow 0$) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 21$) はやや窮屈感が強まり、借入難易度 ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 4$) はやや厳しさが強まった。今期借入をした企業は34%で前期の31%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

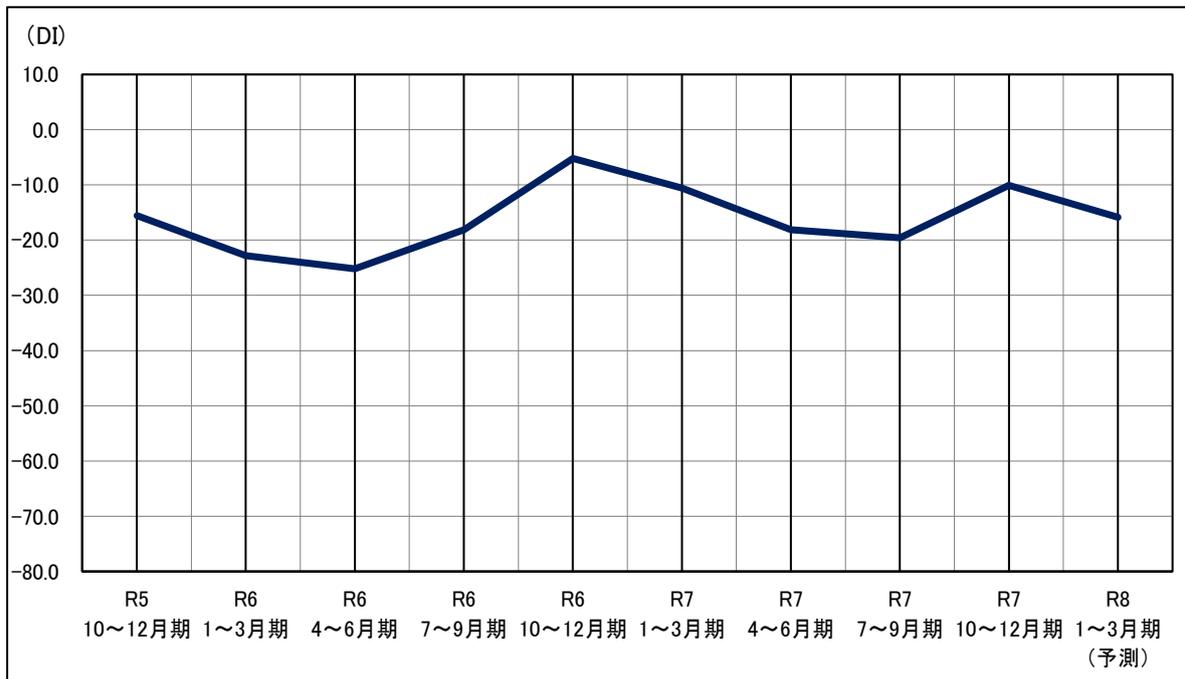
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が54%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が39%、3位は「売上の停滞・減少」が31%となり、上位4位まで前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が52%、2位は「経費を節減する」が38%、3位は「販路を広げる」が26%となり、上位4位まで前期同様となった。

来期の見通し

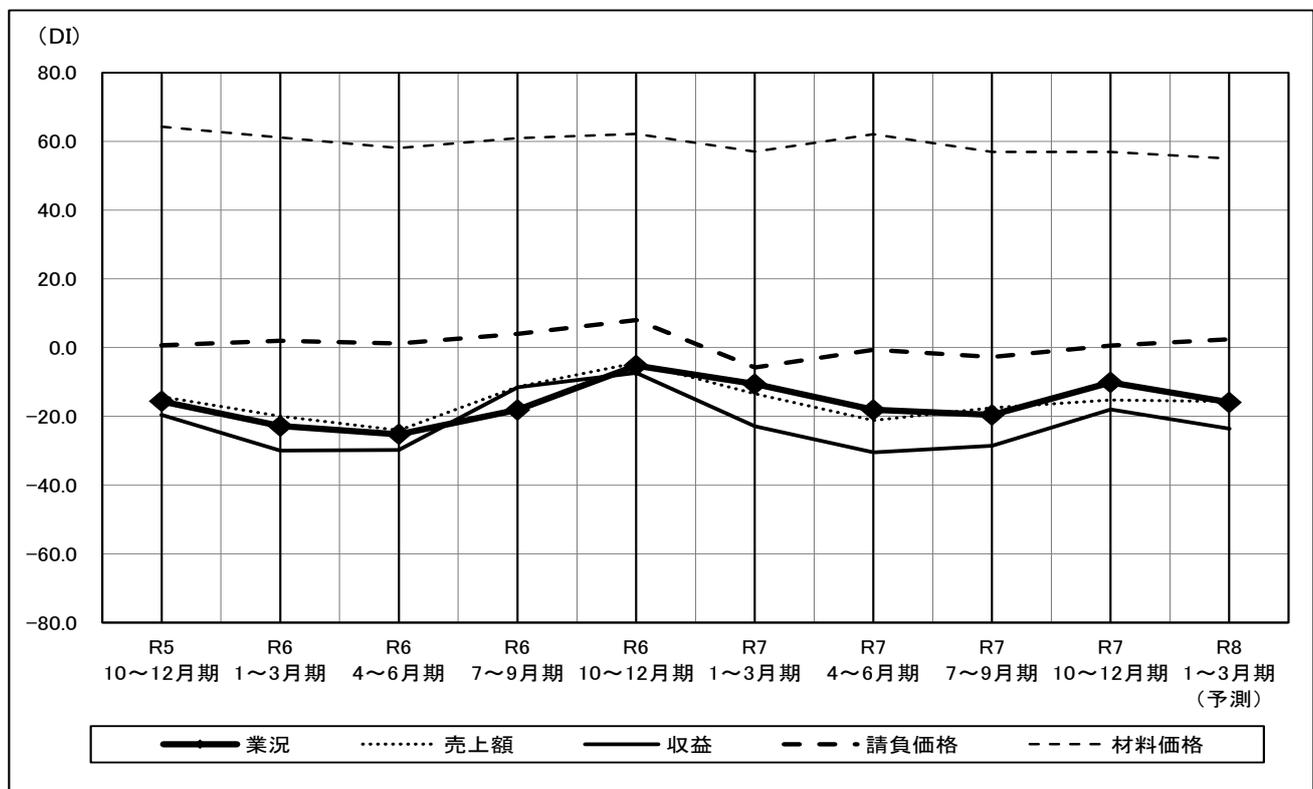
業況 ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 16$) は大きく低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 16$) は今期同様に推移し、収益 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 24$) は大きく減少幅が拡大すると予想されている。

〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

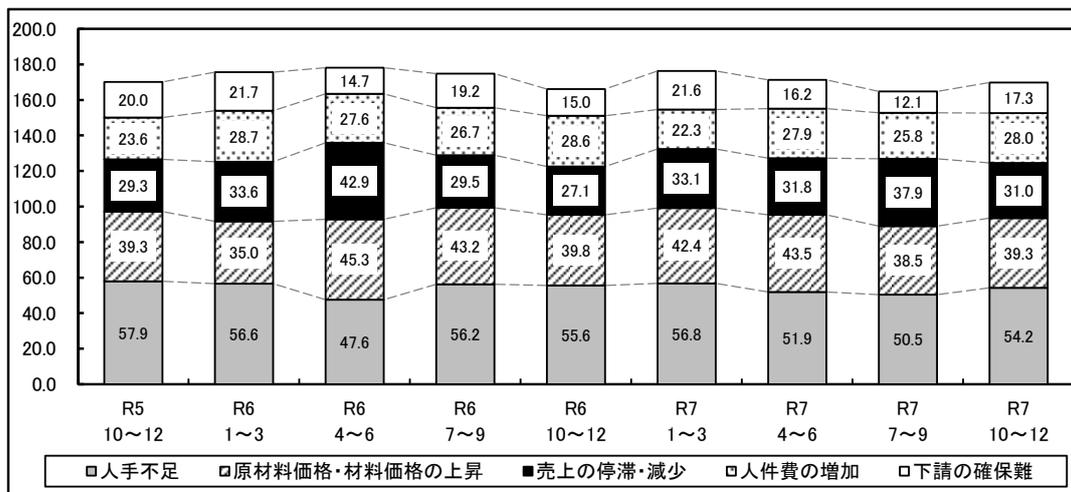


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



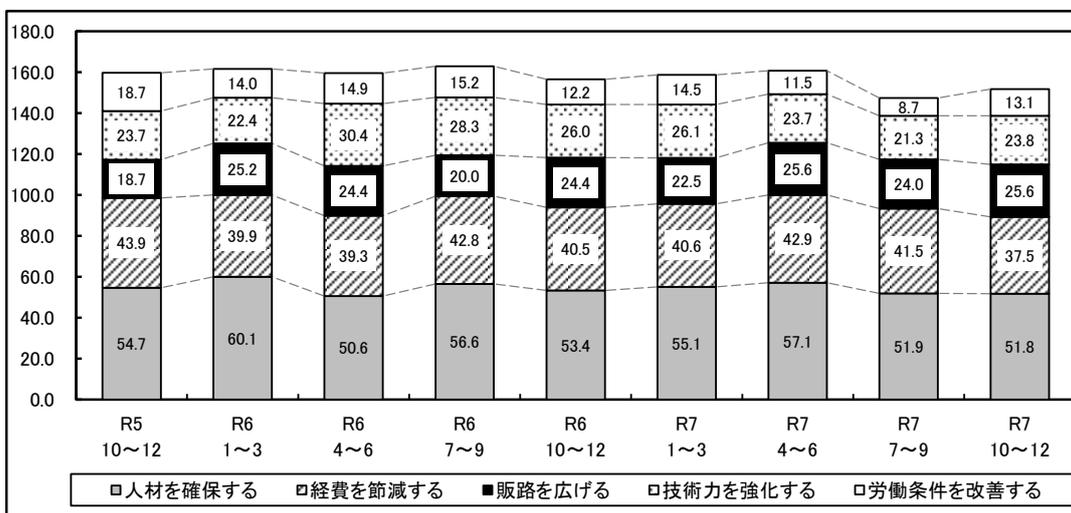
〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	人手不足	56.8 %	人手不足	51.9 %	人手不足	50.5 %	人手不足	54.2 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	42.4 %	原材料価格・材料価格の上昇	43.5 %	原材料価格・材料価格の上昇	38.5 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %
第3位	売上の停滞・減少	33.1 %	売上の停滞・減少	31.8 %	売上の停滞・減少	37.9 %	売上の停滞・減少	31.0 %
第4位	人件費の増加	22.3 %	人件費の増加	27.9 %	人件費の増加	25.8 %	人件費の増加	28.0 %
第5位	下請の確保難	21.6 %	下請の確保難	16.2 %	利幅の縮小	18.1 %	下請の確保難	17.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「30人以上100人未満」が73.3%で最も多かった。(n数5以下除く)

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	人材を確保する	55.1 %	人材を確保する	57.1 %	人材を確保する	51.9 %	人材を確保する	51.8 %
第2位	経費を節減する	40.6 %	経費を節減する	42.9 %	経費を節減する	41.5 %	経費を節減する	37.5 %
第3位	技術力を強化する	26.1 %	販路を広げる	25.6 %	販路を広げる	24.0 %	販路を広げる	25.6 %
第4位	販路を広げる	22.5 %	技術力を強化する	23.7 %	技術力を強化する	21.3 %	技術力を強化する	23.8 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.8 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	12.2 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	16.4 %	労働条件を改善する	13.1 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が70.0%で最も多かった。(n数5以下除く)

建設業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 仕入材料等の価格上昇により、利幅が縮小されているとあって、施主等から値上げを要求できない
2. 販売材料の供給不足
3. 受注単価が上がらないため賃金上げが難しい
4. 需要は増えているが、材料価格の上昇により要望金額と合わないことが多い
5. 原材料、仕入れなどの急激な値上げを見積りに転嫁できず、且つ、社員アップや人件費高騰で、先細りが見えている。比較的安い人件費の外国人などの技術者の雇入れが不可欠。弊社、日本庭園をメインとする職種で、施工や管理に伝統的な技法がつきものだが、今後は、他部門のまったく違う仕事を探すほかないと思っている
6. 原価（仕入れ・外注費等）の値上がりに比例した請求が難しい為、売上げの維持が難しい
7. 物価高もあり従業員の給料、賞与は前年度を上回るように支給してきたがそろそろ限界。12期目で初めて経常利益が若干の赤字になった。これまで労務費のみの受注が多かったが売上げを大きくできる機器材料持ちでの受注を増やしたい
8. 人件費、ガソリン代等の高騰で毎月の固定費が増大になっている

<受注・業況について>

9. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
10. 本業の建築業の受注がまったくない
11. 公共事業の発注減で仕事量が減少している
12. 同業者の増加と、受注の減少に伴い、売上高を確保するのが難しい状況です。原材料価格の上昇（ほぼ毎月）も、利益が減少してしまう要因です
13. 得意先（工務店等）の衰退による受注減
14. 大型工事の予定はあるが、工程が短く、人員は多く、厳しい工事となるが利益には結びつかない。長い期間元請会社は1社依存で営業してきたが、仕事量が少ない時期（端境期）があるため、新たな会社との取引を始めた
15. 受注数はあまり変わらないが、それぞれの単価が減少しており減益につながっている。また、人手不足もあり受注を断ることもたまにあり、会社の減収減益につながっている
16. 現場がなくなり、売上げが無くなった。新規の契約に期待する

17. 受注は順調、人材が入れば増やしてもいけるが、外注費、処分費の高騰、相見積もりが当たり前の中利益を確保しづらい
18. 受注数は増えているが、工事の規模が小さい。また、原材料、下請け業者の価格が高騰していて、施主の予算と合わず工事の縮小になっている

<人材について>

19. 作業員の大半が外国籍人材となってきた。リーダー格となる日本人若手人材の採用が難しく、残る日本人職人の年齢が高くなっており、外国籍人材への技術継承が文化や言葉の壁もあり、大変苦勞している状況
20. 仕事はあるが、人手不足で、断る事が多い
21. 建設業をやりたいと思う人材が少ない
22. 人手不足等による工法の見直しにより受注減少
23. 受注はあるが採用ができない。教育するのに3年かかる。結果人手不足になっている
24. 社員が高齢化しているが新規採用が困難である
25. 採用ができない中、退職者が出たため人手不足。インターネットで誰でも電気部品を買い求めることができ、また、YouTubeなどで本来は電気工事士しかやってはいけない工事のやり方を配信している人がいるため、自分でもなんとか修理しようとする客が増えた
26. 従業員の平均年齢が高く、今後の人材確保の難しさを痛感している。下請けの取り合いもある。とにかく人手が足りない
27. 入札案件があっても人手不足で思うように進まない
28. 増収、増益が続いているが、人員の増員が難しく今後厳しい状況に陥ると思われる
29. 建設業のイメージが悪い為、人材確保ができない
30. 若手社員を採用しても続かない。求人にも費用がかさんでいる

<その他>

31. 停滞気味
32. 株式会社にしたばかりなので、まだよくわかりません

不動産業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 11$) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 10$) は大きく減少幅が縮小し、収益 ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 17$) はやや減少幅が縮小した。

価格・在庫動向

販売価格 (6→2) はやや上昇傾向が弱まり、仕入価格 (28→30) はやや上昇傾向が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 6$) は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度 ($\Delta 3 \rightarrow \Delta 4$) は前期並となった。今期借入をした企業は 19% で前期の 23% から 4 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

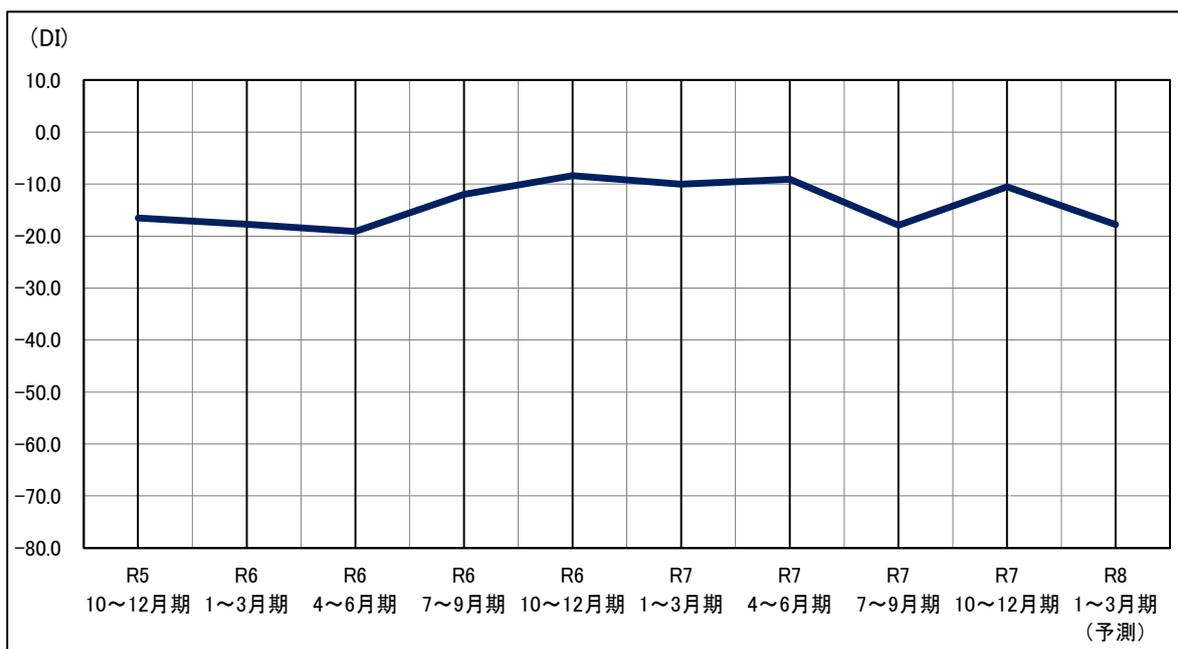
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 29%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 21%、3 位は「同業者間の競争の激化」が 20% となり、前期 3 位の「原材料価格・材料価格の上昇」が今期 2 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 30%、2 位は「不動産の有効活用を図る」が 27%、3 位は「販路を広げる」「仕入先・提携先を開拓・選別する」がともに 13% となり、「仕入先・提携先を開拓・選別する」が今期 3 位と順位を上げた。

来期の見通し

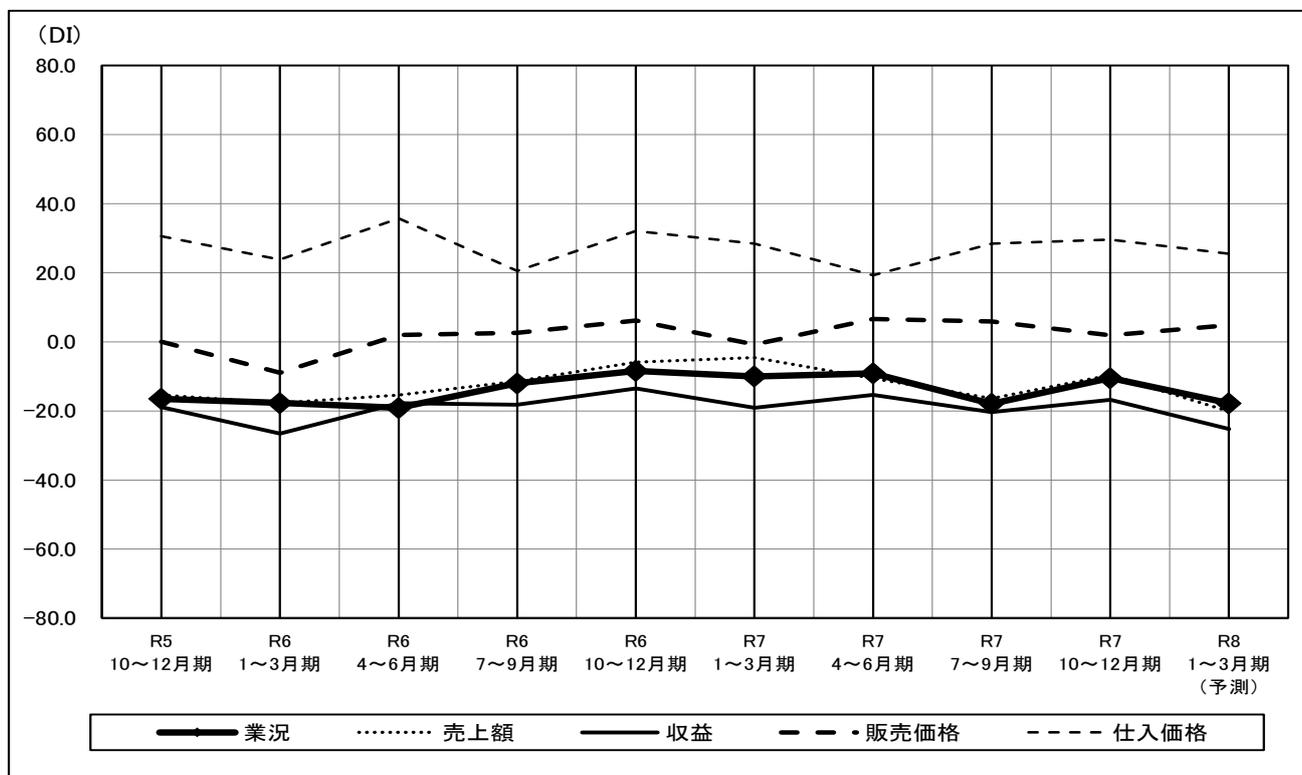
業況 ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$) は大きく低調感が強まる見込み。売上額 ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 20$)、収益 ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 25$) はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

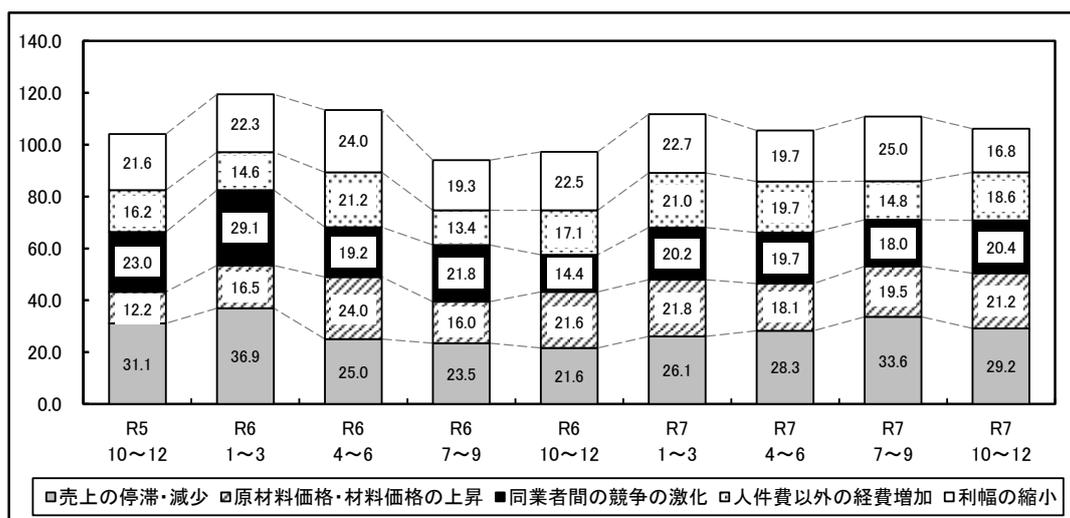


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



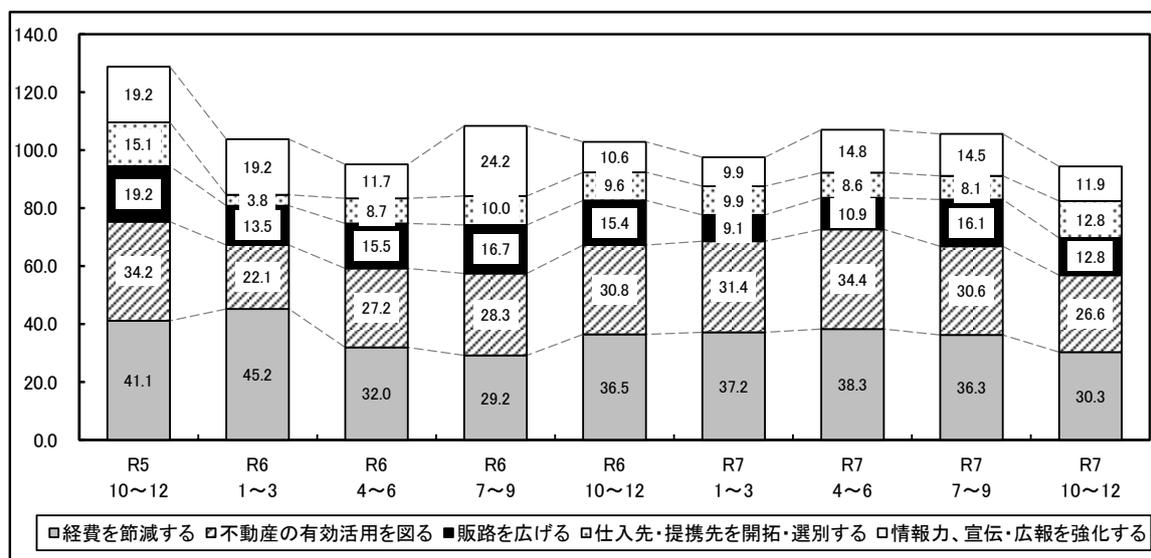
〈不動産業〉 経営上の問題点 (%)



	R7.1~3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	売上上の停滞・減少	26.1 %	売上上の停滞・減少	28.3 %	売上上の停滞・減少	33.6 %	売上上の停滞・減少	29.2 %
第2位	利幅の縮小	22.7 %	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 人件費以外の経費増加	19.7 %	利幅の縮小	25.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	21.2 %
第3位	原材料価格・材料価格の上昇	21.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	18.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	19.5 %	同業者間の競争の激化	20.4 %
第4位	人件費以外の経費増加	21.0 %	販売商品の不足	6.3 %	同業者間の競争の激化	18.0 %	人件費以外の経費増加	18.6 %
第5位	同業者間の競争の激化	20.2 %	工場・店舗の狭小・老朽化	5.5 %	人件費以外の経費増加	14.8 %	利幅の縮小	16.8 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が42.9%で最も多かった。

〈不動産業〉 重点経営施策 (%)



	3月期		R7.4~6月期		R7.7~9月期		R7.10~12月期	
第1位	経費を節減する	37.2 %	経費を節減する	38.3 %	経費を節減する	36.3 %	経費を節減する	30.3 %
第2位	不動産の有効活用を図る	31.4 %	不動産の有効活用を図る	34.4 %	不動産の有効活用を図る	30.6 %	不動産の有効活用を図る	26.6 %
第3位	店舗・設備を改装する	11.6 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.8 %	販路を広げる	16.1 %	販路を広げる 仕入先・提携先を開拓・選別する	12.8 %
第4位	情報力、宣伝・広報を強化する 仕入先・提携先を開拓・選別する	9.9 %	販路を広げる 店舗・設備を改装する	10.9 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.5 %	情報力、宣伝・広報を強化する	11.9 %
第5位	販路を広げる 新しい事業を始める	9.1 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	8.6 %	新しい事業を始める	10.5 %	新しい事業を始める	10.1 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が31.7%で最も多かった。

不動産業 業種別コメント

<仕入れ・価格について>

1. 売上の変化はなく、原材料、人件費の上昇にともなう修繕費が上昇しているため、利益が減少。さらにガソリン税や税金負担により負担が重い
2. 不動産管理業に関して、物価高になり、家賃も値上げしたいが、築年数が30年となり、今後どのようにするのが良いか検討中
3. 設備、光熱費等が上がり利益を圧迫している
4. 退居した時のリフォーム代の増加で売上げが減少する
5. 管理物件が老朽化。経年のためリフォーム費用等増大している。空室期間が増えているので対応を考慮中である
6. 既存取引先との単価は変わらないので、新規取引先との取引単価を上げている
7. 近隣地域にワンルームマンションの建築が続いており集客に大きく影響している
8. 家賃更新のタイミングで賃料を上げる交渉をしているが、インフレ率よりは上昇できていない
9. 物価、金利上昇傾向
10. 物価高で原材料費が高騰し、収益を圧迫。また、設備投資をしたくても、金融機関の融資難易度が高く、借り入れが出来ない
11. リフォーム関係の経費が高騰し、売上げを圧迫しているため、売上・収益ともに減少している
12. 周辺家賃については上昇傾向であるが、一括借上のため反映されるまでタイムラグがある。その間に金利が上昇してきている点が懸念材料である
13. 不動産賃貸料は上げているが金利上昇もあるので楽ではない
14. 賃料相場が微増しているものの、物価高騰による経費増で全体としては利益減
15. 路線価等の上昇による税負担が大きくなってきているが、賃料値上げができない

<受注・業況について>

16. 月極駐車場（8ヶ所・所有）の契約がかなり減少済みである
17. 管理している古いアパートについて、所有者が他の大手不動産業者へ売却したため、今後は管理収入の減少が見込まれている
18. 業務体制の変更による経費の増、売上げの減
19. 古くからの顧客が多いため、代替わりの際に相続人が別の大手不動産業者や親族に物件管理を任せてしまうケースがあり、その分、減収となる場合がある。売上げは横ばい状態であるが脱却はむずかしいので少々困っている

20. 同業者間の競争が激化しており、リフォーム等の投資を行なったことで売上げは安定し、リフォームも一段落したため利益は上昇する見込み
21. 不動産の仲介部門、管理部門は順調ですが買取部門が減少の為利益が減収
22. 金融機関借入金の一本化と自社所有不動産売却により資金繰り改善を達成し財務状況も同時に改善させた（2030年迄の目途が立った）
23. 現状の取引先を失わないよう、より付き合いを太くしていく
24. 需要が減少傾向にあるため売上げは減益である
25. 経営環境に関係なく、弊社は新たな収益物件を開発しつつあり、中長期的には売上げ、利益ともに成長傾向にある。また、優良物件であれば賃料の値上げも可能な時合となり収益力の向上が期待される。一方、金利上昇局面にあって、ここ数ヶ月で地銀、信金、信組の融資施策にはっきりと緊縮傾向が見て取れた。収益物件取得に際してフルローンを得られた時代は過去のものとなりつつある。今後は、自己資本を厚く温存するとともに、過剰な融資依存を控え金利耐性、空室耐性を高める必要があるが、今期は状況の変化に即応できず事業運営上の機動性を損ねたため新規物件の開発が停滞した
26. 紹介からの受注が基本のため、広告費用は抑えられるが安定性が欠けるので常にその時の仕事量に応じた経営になる
27. 収益は少ないが、安定している。事業拡大はしたいものの、後継ぎの問題で躊躇している
28. 四半期ごとの売上げに波があり、今期でプラスに戻ったが来期が読めない
29. 大企業の進出等に、売上げは減少傾向にある

<人材について>

30. 人手不足による売上げ減少

<その他>

31. 築年数が30年を経過したので、エレベーターリニューアル、消防法にもとづく新設置、照明等を交換しました。借入が必要でした
32. 金利上昇が経営を圧迫している
33. 今年設立した。銀行口座の開設が難しく、都市銀行ではすべて口座開設不可となり、営業活動が減少している

日銀短観

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2025年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,686社	5,150社	8,836社	99.4%
うち大企業	910社	803社	1,713社	99.4%
中堅企業	1,034社	1,499社	2,533社	99.3%
中小企業	1,742社	2,848社	4,590社	99.5%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2024年度			2025年度		
		上期	下期		上期	下期	
円/ドル	2025年9月調査	—	—	145.68	145.94	145.41	
	2025年12月調査	—	—	147.06	146.80	147.33	
円/ユーロ	2025年9月調査	—	—	160.65	160.66	160.65	
	2025年12月調査	—	—	164.45	164.00	164.90	

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2024年度		2025年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.0	—	1.2	-0.3
	国内	2.3	—	1.5	-0.4
	輸出	4.4	—	0.5	-0.1
	非製造業	3.9	—	1.8	0.1
	全産業	3.5	—	1.5	-0.1
中堅企業	製造業	3.5	—	2.0	0.1
	非製造業	4.2	—	4.2	0.5
	全産業	4.0	—	3.6	0.4
中小企業	製造業	3.8	—	2.0	0.6
	非製造業	4.0	—	1.0	0.8
	全産業	4.0	—	1.2	0.7
全規模合計	製造業	3.3	—	1.5	-0.1
	非製造業	4.0	—	2.1	0.4
	全産業	3.8	—	1.9	0.3

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2025年9月調査		2025年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
大企業						
製造業	14	12	15	1	15	0
非製造業	34	28	34	0	28	-6
全産業	24	21	24	0	21	-3
中堅企業						
製造業	12	8	16	4	10	-6
非製造業	24	18	25	1	18	-7
全産業	19	14	22	3	15	-7
中小企業						
製造業	1	-1	6	5	2	-4
非製造業	14	10	15	1	10	-5
全産業	9	5	12	3	7	-5
全規模合計						
製造業	7	5	11	4	8	-3
非製造業	21	15	21	0	16	-5
全産業	15	10	17	2	11	-6

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2025年9月調査		2025年12月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-18	-18	-17	1	-17	0
	うち素材業種	-23	-23	-22	1	-22	0
	加工業種	-14	-15	-14	0	-13	1
	非製造業	-9	-9	-7	2	-10	-3
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-15	-15	-15	0	-16	-1
	うち素材業種	-21	-21	-24	-3	-25	-1
	加工業種	-10	-10	-10	0	-10	0
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	14		12	-2		
	うち素材業種	17		15	-2		
	加工業種	12		10	-2		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	13		12	-1		
	うち素材業種	18		17	-1		
	加工業種	10		8	-2		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	25	31	26	1	32	6
	うち素材業種	22	29	23	1	30	7
	加工業種	27	33	28	1	35	7
	非製造業	28	33	26	-2	32	6
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	52	56	54	2	59	5
	うち素材業種	44	50	47	3	52	5
	加工業種	58	61	59	1	62	3
	非製造業	52	57	51	-1	54	3

東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株)東京商工リサーチ

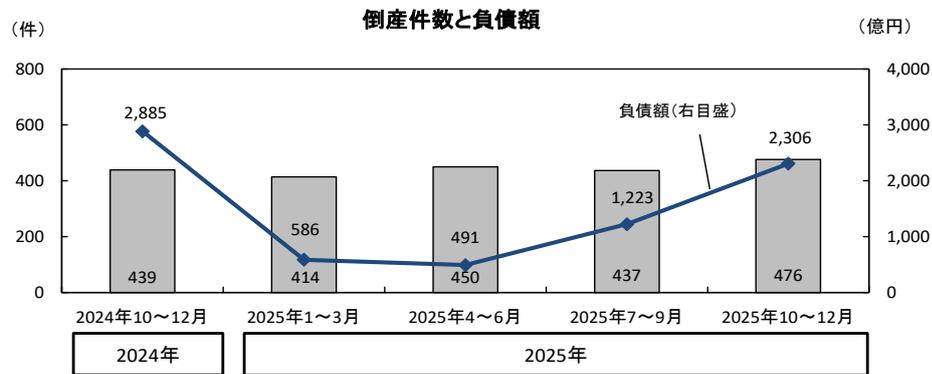
「東京都」の企業倒産動向について（2025年10～12月）

1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が476件、負債額は2,306億7,500万円となった。件数は前期比8.9%増、前年同期比8.4%増となった。負債額は前期比88.5%増、前年同期比20.0%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月		
件数(単位:件)	439	437	476	8.9%	8.4%
負債額(単位:百万円)	288,513	122,376	230,675	88.5%	-20.0%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位: 件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月		
製造業	26	22	29	31.8%	11.5%
卸売業	68	73	64	-12.3%	-5.9%
小売業	51	49	53	8.2%	3.9%
サービス業	109	103	125	21.4%	14.7%
建設業	42	59	45	-23.7%	7.1%
不動産業	15	23	25	8.7%	66.7%
情報通信業・運輸業	61	58	71	22.4%	16.4%
宿泊業・飲食サービス業	36	32	40	25.0%	11.1%
その他	31	18	24	33.3%	-22.6%
合計	439	437	476	8.9%	8.4%
負債額 (単位: 百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月		
製造業	3,188	17,627	8,260	-53.1%	159.1%
卸売業	18,320	21,506	166,382	673.7%	808.2%
小売業	88,348	7,121	5,023	-29.5%	-94.3%
サービス業	36,214	39,022	9,430	-75.8%	-74.0%
建設業	3,097	5,444	14,006	157.3%	352.2%
不動産業	7,549	12,909	6,669	-48.3%	-11.7%
情報通信業・運輸業	7,909	15,875	9,191	-42.1%	16.2%
宿泊業・飲食サービス業	5,676	1,582	3,423	116.4%	-39.7%
その他	118,212	1,290	8,291	542.7%	-93.0%
合計	288,513	122,376	230,675	88.5%	-20.0%

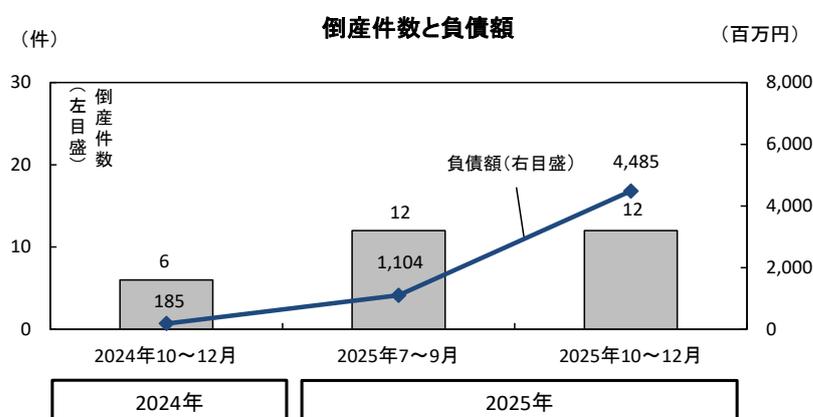
「葛飾区」の企業倒産動向について（2025年10～12月）

1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が12件、負債額は44億8,500万円となった。件数は前期比0.0%、前年同期比100.0%増となった。負債額は前期比306.3%増、前年同期比2,324.3%増となった。業種別の件数では、製造業が3件、サービス業が2件、不動産業が4件、情報通信業・運輸業が1件とともに前期と比べて増加し、卸売業が1件、建設業が1件とともに前期と比べて減少した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	6	12	12	0.0%	100.0%
負債額(単位:百万円)	185	1,104	4,485	306.3%	2,324.3%



2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	0	2	3	50.0%	-
卸売業	2	3	1	-66.7%	-50.0%
小売業	0	2	0	-100.0%	-
サービス業	1	1	2	100.0%	100.0%
建設業	2	3	1	-66.7%	-50.0%
不動産業	0	0	4	-	-
情報通信業・運輸業	0	0	1	-	-
宿泊業,飲食サービス業	0	1	0	-100.0%	-
その他	1	0	0	-	-100.0%
合計	6	12	12	0.0%	100.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2024年10～12月	2025年7～9月	2025年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	0	105	720	585.7%	-
卸売業	85	660	50	-92.4%	-41.2%
小売業	0	64	0	-100.0%	-
サービス業	20	10	45	350.0%	125.0%
建設業	60	85	40	-52.9%	-33.3%
不動産業	0	0	3,580	-	-
情報通信業・運輸業	0	0	50	-	-
宿泊業,飲食サービス業	0	180	0	-100.0%	-
その他	20	0	0	-	-100.0%
合計	185	1,104	4,485	306.3%	2,324.3%

3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		前年同期比(伸び率・%)
	2024年10~12月	2025年7~9月	2025年10~12月	前期比(伸び率・%)	
青戸	0	3	2	-33.3%	-
奥戸	0	0	0	-	-
お花茶屋	0	1	0	-100.0%	-
金町	1	1	0	-100.0%	-100.0%
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	1	0	0	-	-100.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	0	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	1	1	1	0.0%	0.0%
高砂	1	1	0	-100.0%	-100.0%
宝町	1	0	0	-	-100.0%
立石	0	0	1	-	-
新宿	0	1	1	0.0%	-
西亀有	0	1	0	-100.0%	-
西新小岩	1	0	1	-	0.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	0	5	-	-
東新小岩	0	1	1	0.0%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	0	1	0	-100.0%	-
水元	0	1	0	-100.0%	-
南水元	0	0	0	-	-
四つ木	0	0	0	-	-
合計	6	12	12	0.0%	100.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		前年同期比(伸び率・%)
	2024年10~12月	2025年7~9月	2025年10~12月	前期比(伸び率・%)	
青戸	0	625	650	4.0%	-
奥戸	0	0	0	-	-
お花茶屋	0	60	0	-100.0%	-
金町	30	180	0	-100.0%	-100.0%
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	55	0	0	-	-100.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	0	0	-	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	20	10	10	0.0%	-50.0%
高砂	20	70	0	-100.0%	-100.0%
宝町	40	0	0	-	-100.0%
立石	0	0	300	-	-
新宿	0	60	50	-16.7%	-
西亀有	0	15	0	-100.0%	-
西新小岩	20	0	40	-	100.0%
西水元	0	0	0	-	-
東金町	0	0	3,385	-	-
東新小岩	0	11	50	354.5%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	0	20	0	-100.0%	-
水元	0	53	0	-100.0%	-
南水元	0	0	0	-	-
四つ木	0	0	0	-	-
合計	185	1,104	4,485	306.3%	2,324.3%

東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により 1 四半期前の情報を掲載

「東京都」の新設法人について (2025 年 7~9 月)

1. 概況

2025 年 7~9 月の東京都内の新設法人数は 12,745 件で、前期比 2.8%増、前年同期比 7.6%増となった。業種別では、卸売業、小売業、建設業、不動産業、情報通信業・運輸業、宿泊業、飲食サービス業、その他で前期比・前年同期比ともに増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件数)	前年同期 2024年7~9月	前期 2025年4~6月	当期		
			2025年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	620	732	708	-3.3%	14.2%
卸売業	616	601	739	23.0%	20.0%
小売業	809	789	851	7.9%	5.2%
サービス業	3,949	4,313	4,218	-2.2%	6.8%
建設業	410	466	468	0.4%	14.1%
不動産業	1,274	1,313	1,392	6.0%	9.3%
情報通信業・運輸業	1,934	2,063	2,083	1.0%	7.7%
宿泊業、飲食サービス業	833	790	880	11.4%	5.6%
その他	1,404	1,336	1,406	5.2%	0.1%
合計	11,849	12,403	12,745	2.8%	7.6%

「葛飾区」の新設法人について (2025 年 7~9 月)

1. 概況

2025 年 7~9 月の葛飾区内の新設法人数は 187 件で前期比 1.1%増、前年同期比 4.5%増となった。業種別では、卸売業、サービス業、不動産業で前期比・前年同期比ともに増となった。地域別では、お花茶屋、金町、鎌倉、柴又、高砂、東堀切、東四つ木で前期比・前年同期比ともに増となった。

2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2024年7~9月	前期 2025年4~6月	当期		
			2025年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	11	18	10	-44.4%	-9.1%
卸売業	13	13	16	23.1%	23.1%
小売業	17	20	18	-10.0%	5.9%
サービス業	42	51	58	13.7%	38.1%
建設業	18	21	19	-9.5%	5.6%
不動産業	19	12	20	66.7%	5.3%
情報通信業・運輸業	21	23	19	-17.4%	-9.5%
宿泊業、飲食サービス業	20	17	13	-23.5%	-35.0%
その他	18	10	14	40.0%	-22.2%
合計	179	185	187	1.1%	4.5%

3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2024年7~9月	前期 2025年4~6月	当期 2025年7~9月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	12	8	10	25.0%	-16.7%
奥戸	9	4	5	25.0%	-44.4%
お花茶屋	1	2	5	150.0%	400.0%
金町	6	9	13	44.4%	116.7%
鎌倉	6	5	8	60.0%	33.3%
亀有	12	16	12	-25.0%	0.0%
小菅	2	6	5	-16.7%	150.0%
柴又	7	6	9	50.0%	28.6%
白鳥	4	3	3	0.0%	-25.0%
新小岩	11	10	10	0.0%	-9.1%
高砂	4	4	5	25.0%	25.0%
宝町	3	0	2	-	-33.3%
立石	9	8	8	0.0%	-11.1%
新宿	7	9	3	-66.7%	-57.1%
西亀有	6	2	4	100.0%	-33.3%
西新小岩	12	12	7	-41.7%	-41.7%
西水元	3	5	5	0.0%	66.7%
東金町	10	16	14	-12.5%	40.0%
東新小岩	8	15	9	-40.0%	12.5%
東立石	3	5	3	-40.0%	0.0%
東堀切	1	1	5	400.0%	400.0%
東水元	3	2	3	50.0%	0.0%
東四つ木	4	2	7	250.0%	75.0%
細田	3	4	2	-50.0%	-33.3%
堀切	19	15	18	20.0%	-5.3%
水元	3	6	6	0.0%	100.0%
南水元	3	0	3	-	0.0%
四つ木	8	10	3	-70.0%	-62.5%
合計	179	185	187	1.1%	4.5%

4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2024年7~9月	前期 2025年4~6月	当期 2025年7~9月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	150	149	148	-0.7%	-1.3%
女性	28	35	39	11.4%	39.3%
法人	1	1	0	-100.0%	-100.0%
不明	0	0	0	-	-
合計	179	185	187	1.1%	4.5%

特別調査「賃上げについて」

- ① 令和7年度10月の最低賃金アップに伴う賃上げについては、正規雇用では「最低賃金に抵触しないため賃上げしなかった」が32.4%で最多。パート雇用(非正規)では「パート雇用の社員はいない」が52.0%で最多。
- ② 賃上げ前と比べて、どのくらい賃上げしたかについては、正規雇用では「3~5%未満」が43.9%で最多。パート雇用(非正規)では「3~5%未満」が40.0%で最多。
- ③ 賃上げした理由については、正規雇用では「従業員のやる気アップ・生産性向上」が52.9%で最多。パート雇用(非正規)では「最低賃金対応」が51.9%で最多。
- ④ 葛飾区に求める賃上げに関する支援については、「賃上げに関する奨励金」が58.3%で最多。

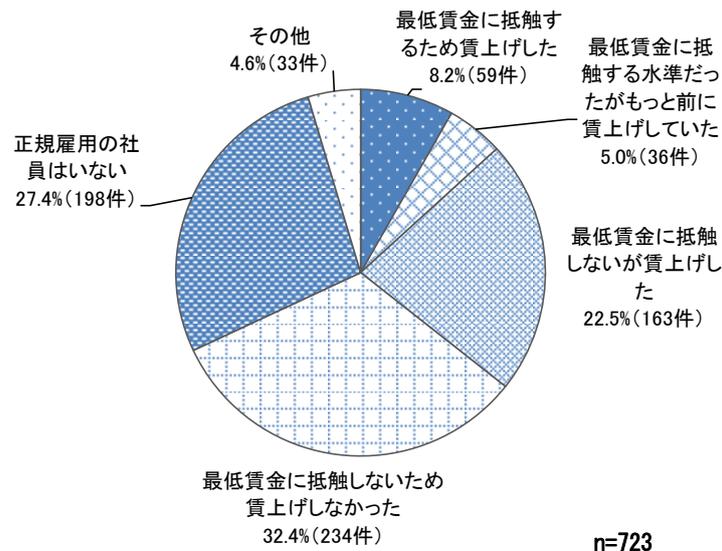
問1. 令和7年度10月の最低賃金アップに伴う賃上げについてお答えください

(それぞれ〇は1つのみ)

① 正規雇用

令和7年度10月の最低賃金アップに伴う賃上げについて、全体では「最低賃金に抵触しないため賃上げしなかった」が32.4%で最も高く、次いで「正規雇用の社員はいない」が27.4%、「最低賃金に抵触しないが賃上げした」が22.5%となった。

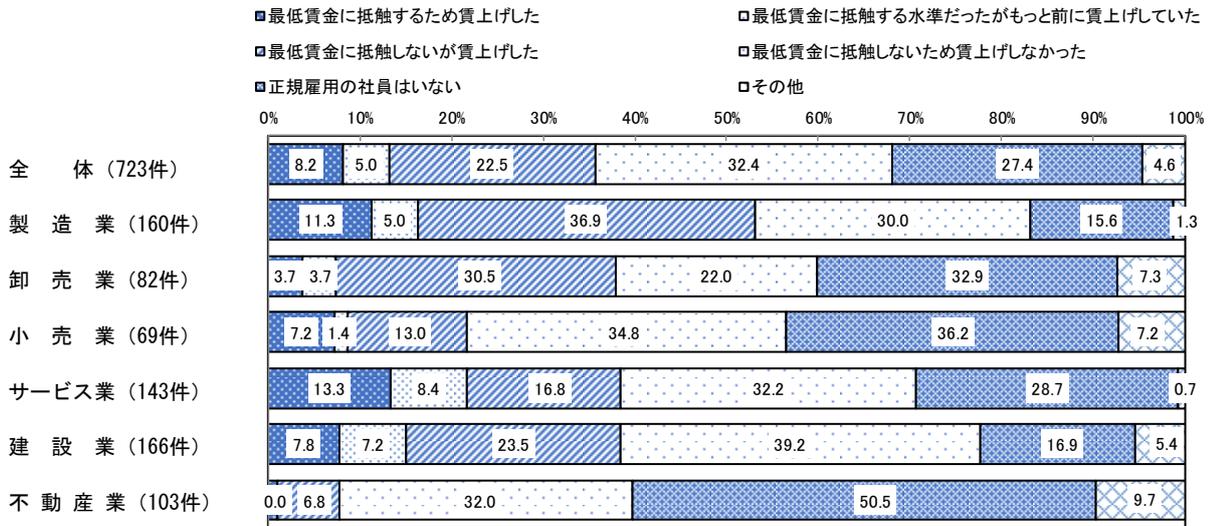
業種別にみると、製造業では「最低賃金に抵触しないが賃上げした」が、サービス業、建設業では「最低賃金に抵触しないため賃上げしなかった」が、卸売業、小売業、不動産業では「正規雇用の社員はいない」が、それぞれ最も高くなっている。



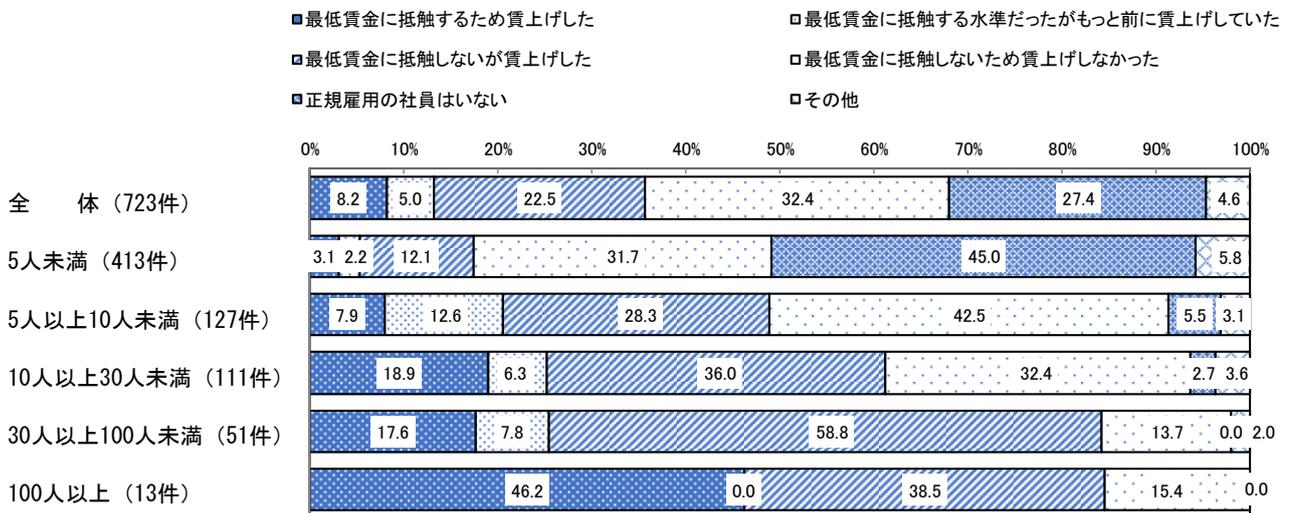
【その他の意見】

- 売上がないため何もできない(製造業)
- 一人で仕事をしている(卸売業)
- 賃上げは4月(ベースアップ)(卸売業)
- 経営が良くないから、賃上げする力無し(卸売業)
- 個人企業のため 社員は居ない(卸売業)
- 家族経営なので(小売業)
- 役員のみで2人で経営していて、収入減で賃上げ等出来ない(小売業)
- 役員のみ(小売業)
- 10个月前に賃上げ済み(サービス業)
- 減給予定(建設業)
- 4月にアップ(建設業)
- 来年4月に定期昇給実施予定(建設業)
- 昨年に引き続き賃上げを行った(建設業)
- 役員として2名12月入社(建設業)
- 職人不足の為、毎年休みや賃上げは必須(建設業)
- 抵触しないし毎年一定のベースアップをしている(建設業)
- 物価高に見合うように賃上げした(建設業)
- 賃上げしなかった(不動産業)
- 役員のみ(不動産業)
- 賃上げはしない(不動産業)
- 社員は雇っていません(不動産業)

【業種別】



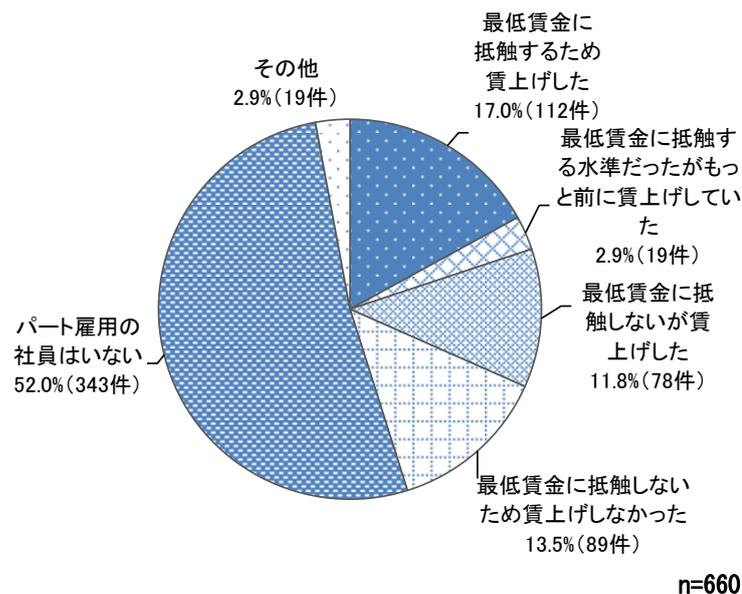
【従業員規模別】



②パート雇用（非正規）

令和 7 年度 10 月の最低賃金アップに伴う賃上げについて、全体では「パート雇用の社員はいない」が 52.0%で最も高く、次いで「最低賃金に抵触するため賃上げした」が 17.0%、「最低賃金に抵触しないため賃上げしなかった」が 13.5%となった。

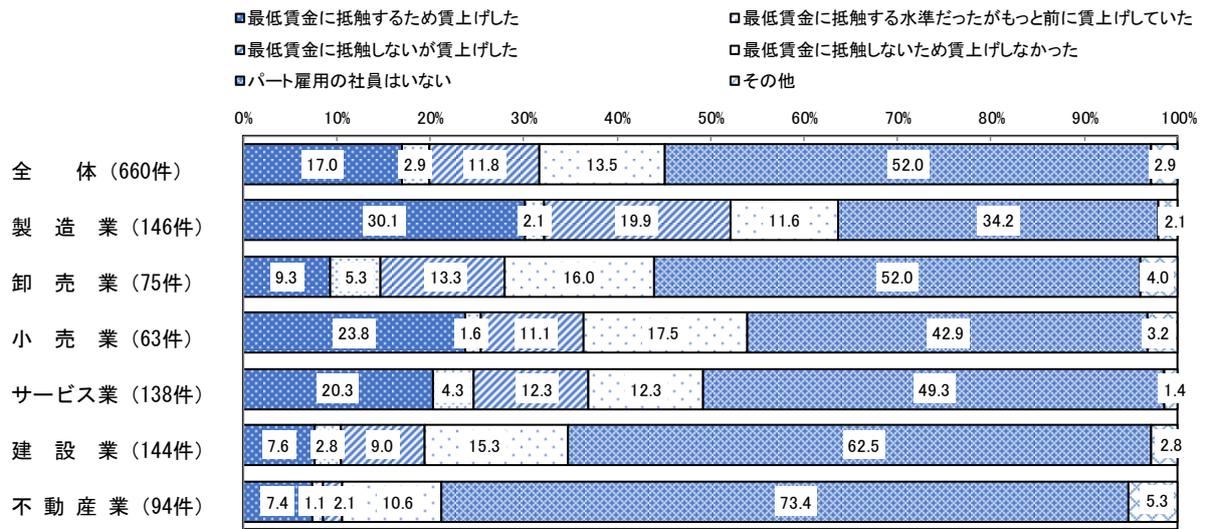
業種別にみると、全ての業種で「パート雇用の社員はいない」が最も高く、不動産業（73.4%）と製造業（34.2%）では、約 40 ポイントの差がみられる。製造業では「最低賃金に抵触するため賃上げした」が 30.1%と他の業種より高くなっている。



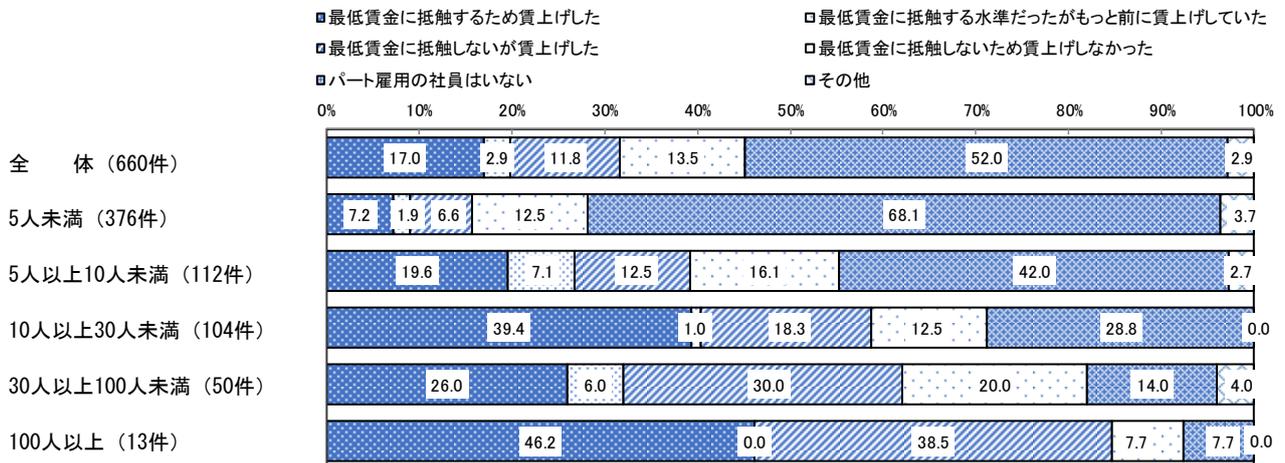
【その他の意見】

- 新しく雇用した為、賃上げはなし(製造業)
- 最低賃金の人もいればそうでない人もいる。一律最低賃金上昇額を昇給させた(製造業)
- 賃上げは4月（ベースアップ）(卸売業)
- 3月に賃上げする予定(卸売業)
- 賃上げする余裕がありません(小売業)
- 外注(サービス業)
- 最低賃金に抵触しないがもっと前に賃上げしている(サービス業)
- パートは雇用していない(建設業)
- 賃上げして時給 1500 円以上にしても来ない(建設業)
- 基礎控除が上がったぶん賃上げした(建設業)
- 2025年4月設立の為将来的には考える(不動産業)
- パート社員は雇っていません(不動産業)

【業種別】



【従業員規模別】



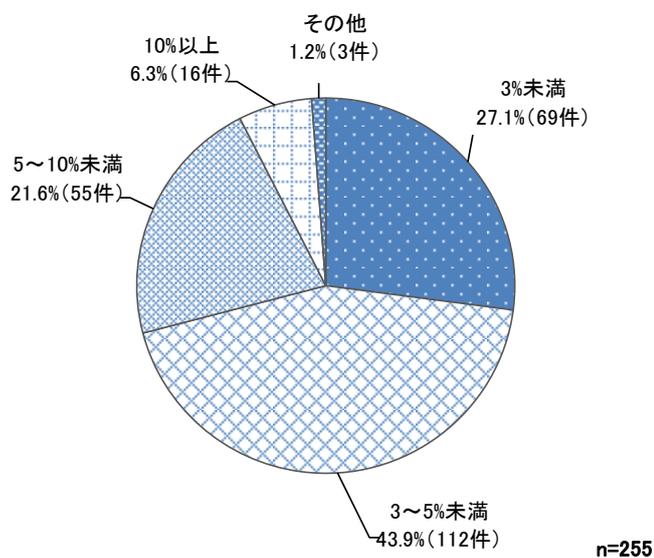
問2. 賃上げ前と比べて、どのくらい賃上げしたかについてお答えください

(それぞれ〇は1つのみ)

①正規雇用

賃上げ前と比べて、どのくらい賃上げしたかについて、全体では「3～5%未満」が43.9%で最も高く、次いで「3%未満」が27.1%、「5～10%未満」が21.6%となった。

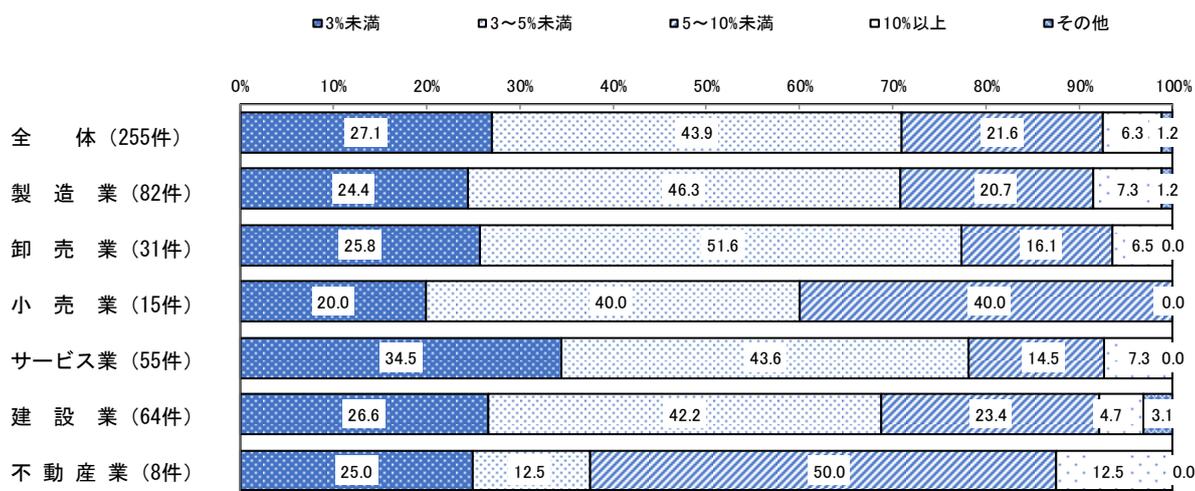
業種別にみると、不動産業では、「5～10%未満」が、小売業では「3～5%未満」と「5～10%未満」も同率で最も高くなっている。それ以外の業種では「3～5%未満」がそれぞれ最も高くなっている。



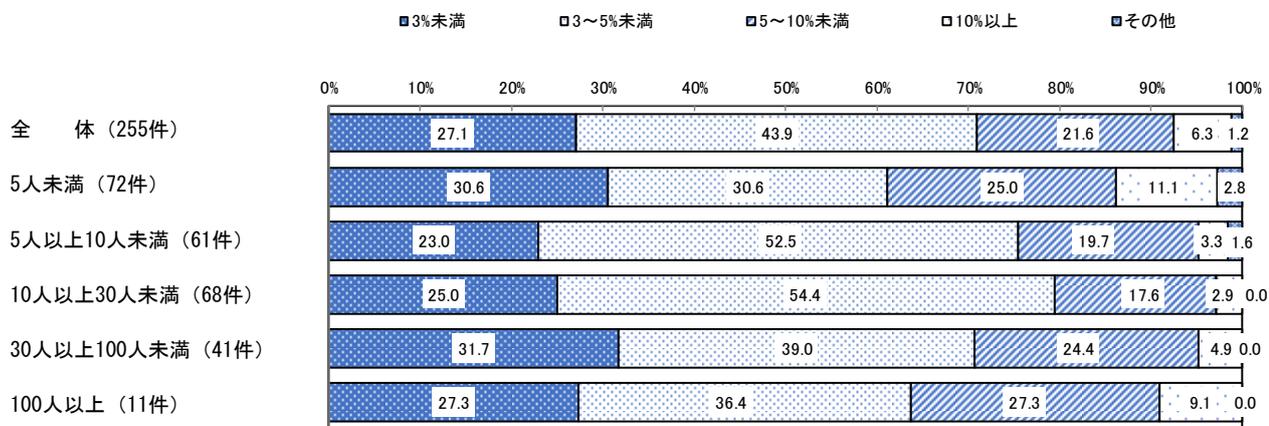
【その他の意見】

- 未払い給料支給で支払っている(建設業)

【業種別】



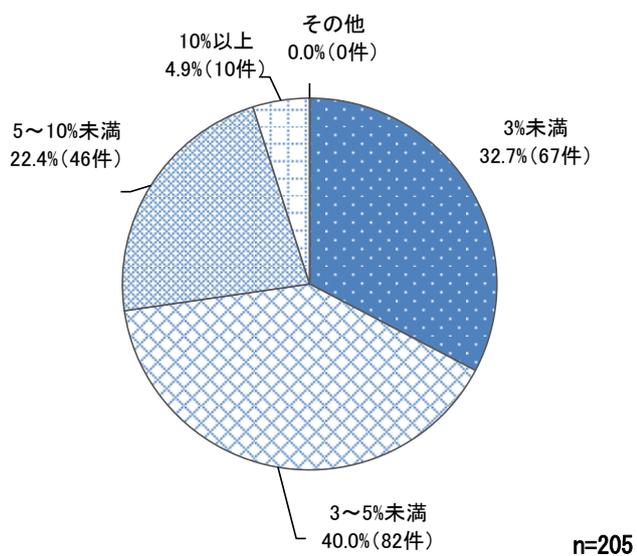
【従業員規模別】



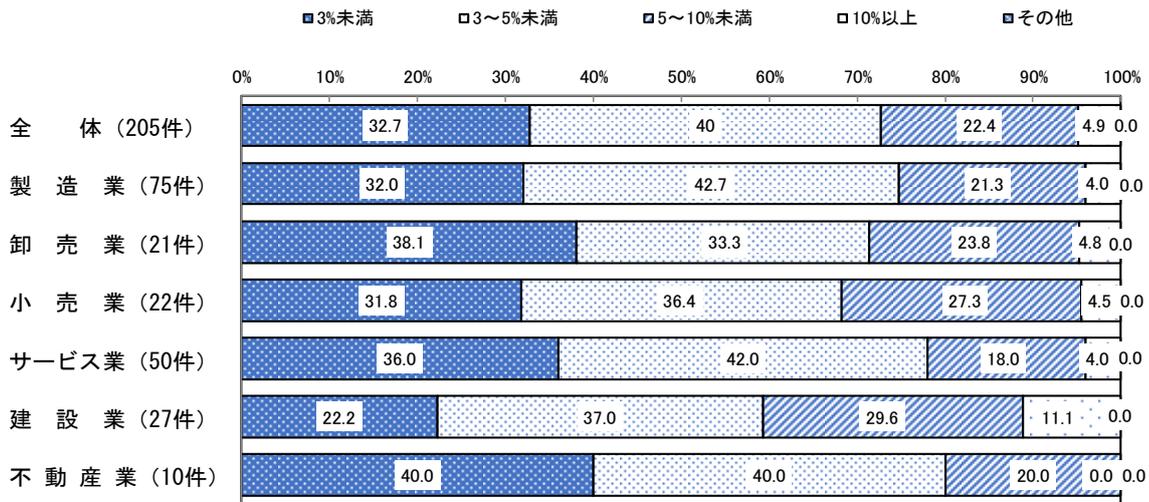
②パート雇用（非正規）

賃上げ前と比べて、どのくらい賃上げしたかについて、全体では「3～5%未満」が40.0%で最も高く、次いで「3%未満」が32.7%、「5～10%未満」が22.4%となった。

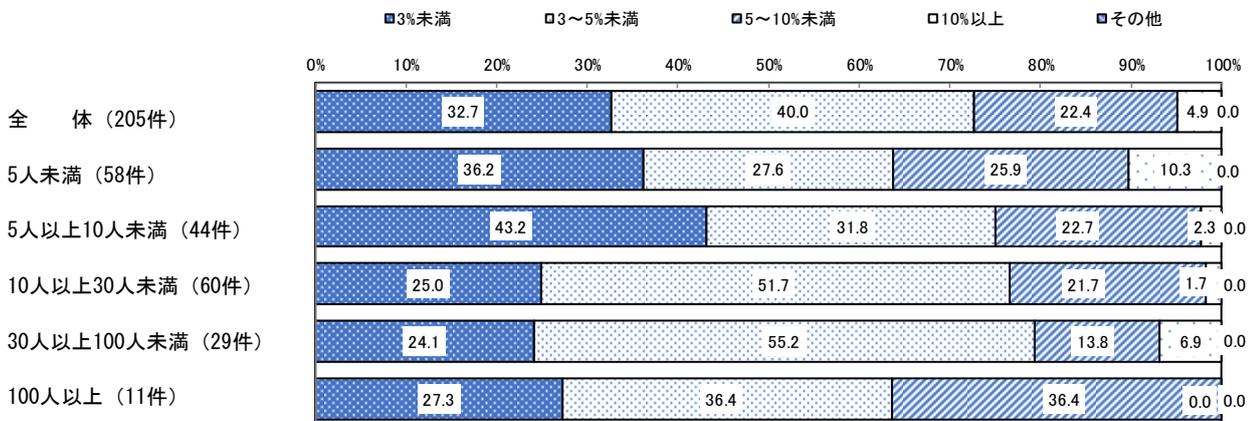
業種別にみると、卸売業を除く業種では「3～5%未満」が高く、3割半ばから4割台となっている。卸売業では「3%未満」が、不動産業では「3%未満」と「3～5%未満」が同率でそれぞれ最も高くなっている。



【業種別】



【従業員規模別】

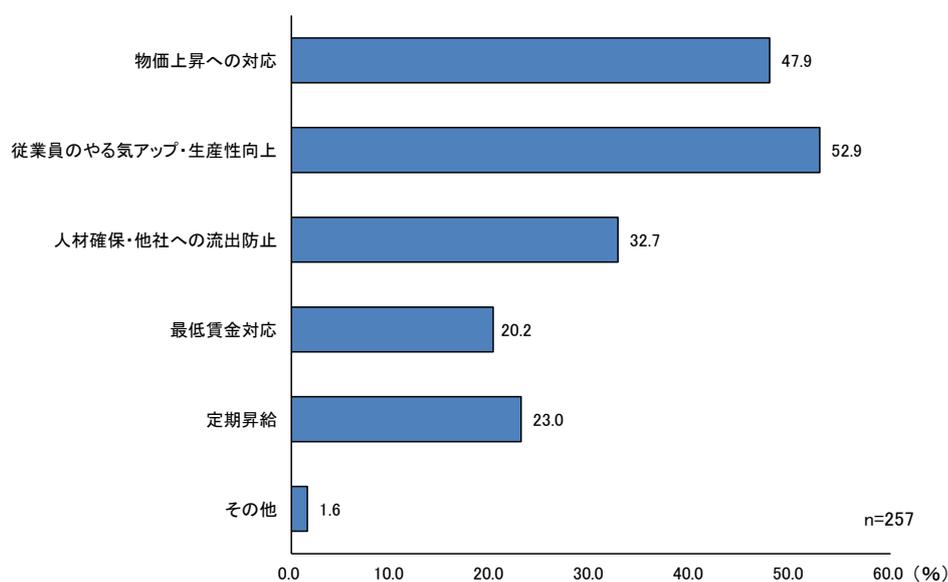


問3. 賃上げした理由についてお答えください（それぞれ〇はいくつでも）

①正規雇用

賃上げした理由については、全体では「従業員のやる気アップ・生産性向上」が52.9%と最も高く、次いで「物価上昇への対応」が47.9%、「人材確保・他社への流出防止」が32.7%となった。

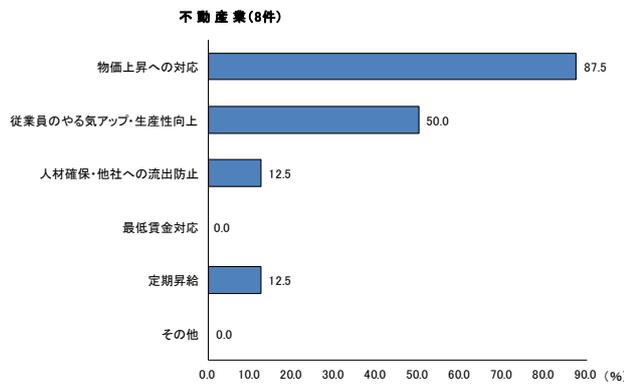
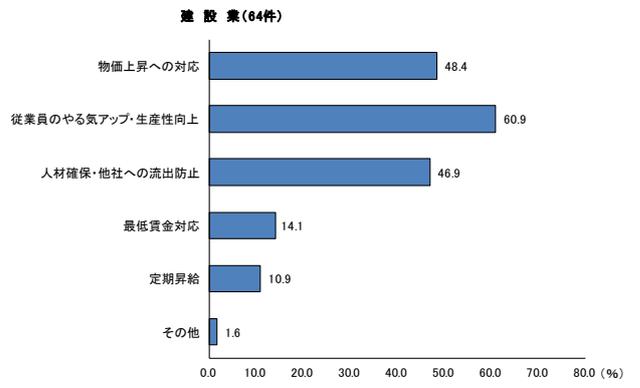
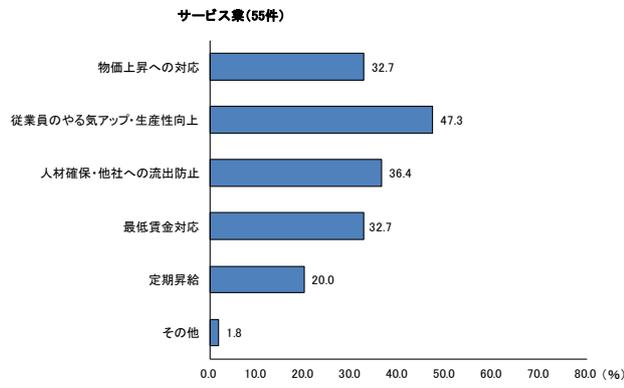
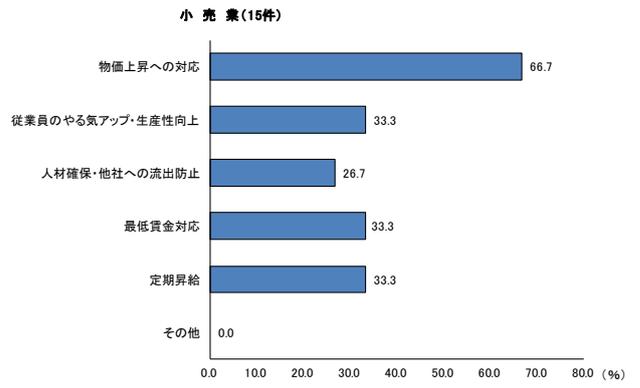
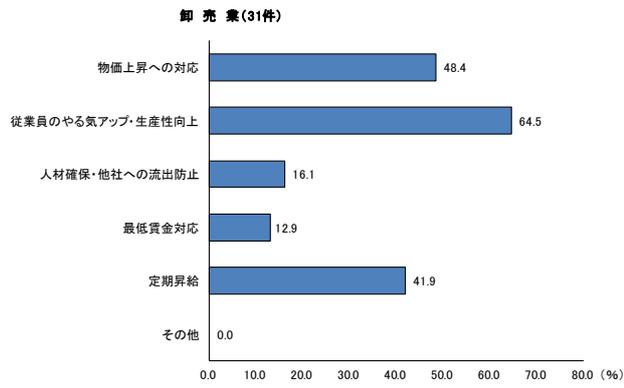
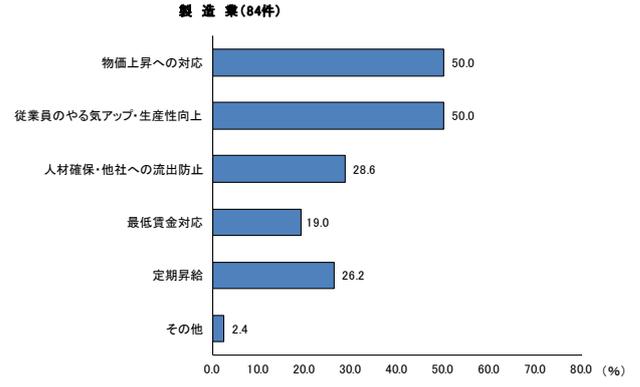
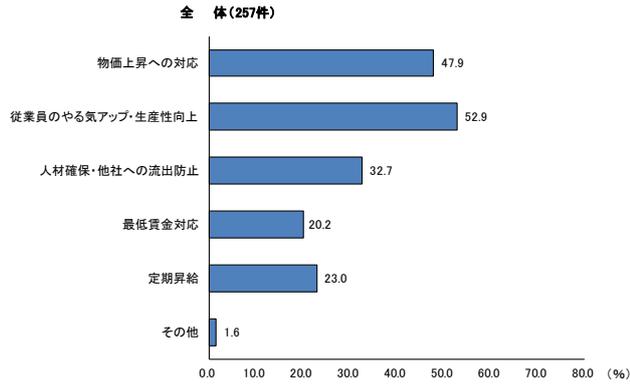
業種別にみると、小売業、不動産業では「物価上昇への対応」が、それ以外の業種では「従業員のやる気アップ・生産性向上」が最も高く、卸売業、建設業では6割を超えている。製造業では「物価上昇への対応」と「従業員のやる気アップ・生産性向上」が同率で最も高くなっている。



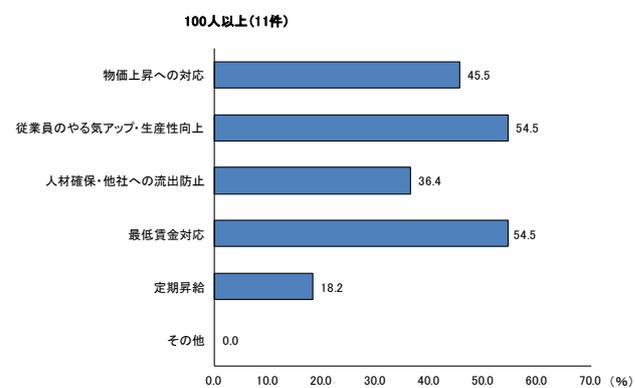
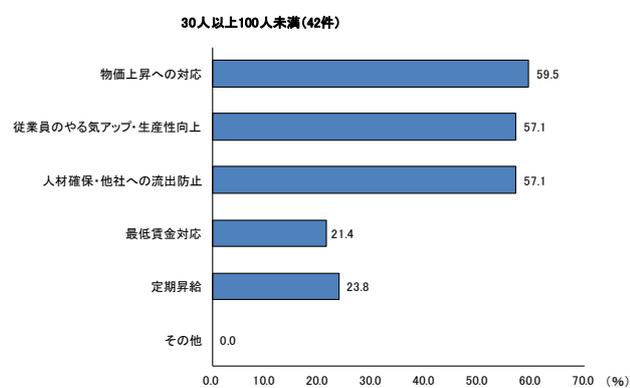
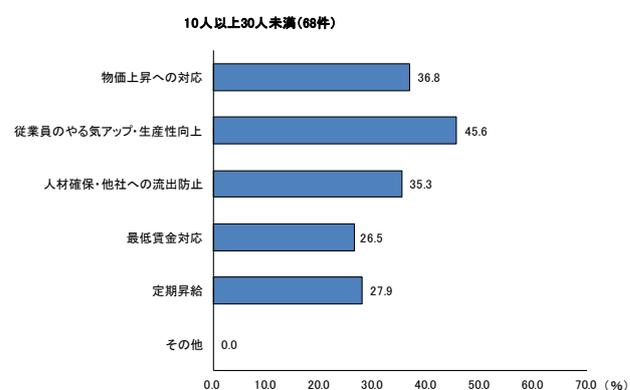
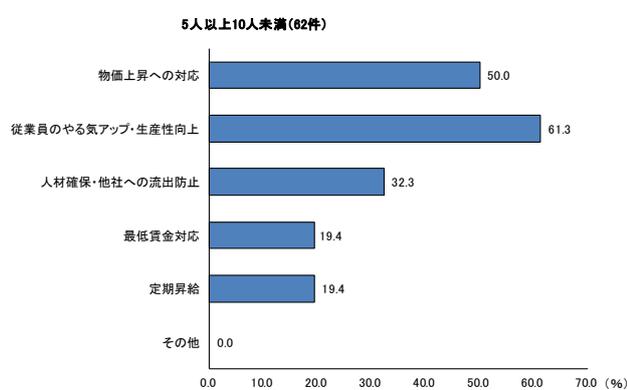
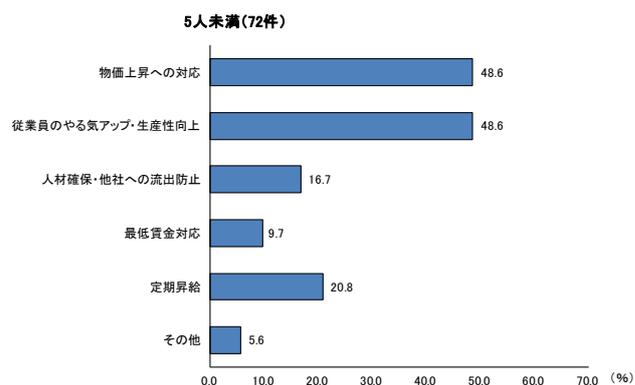
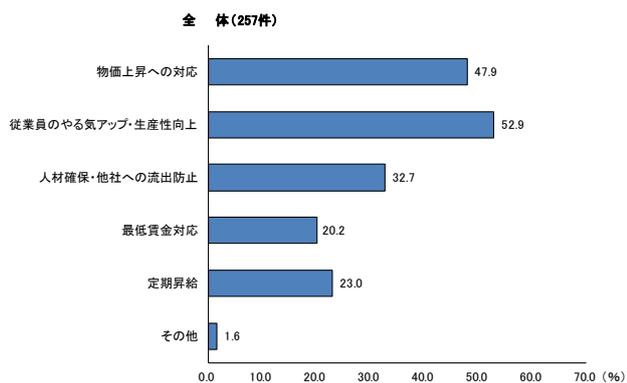
【その他の意見】

- 累積欠損解消見込みのため(製造業)
- 上げないことでやる気ダウンの抑止(サービス業)
- 成果に応じたもの(建設業)

【業種別】



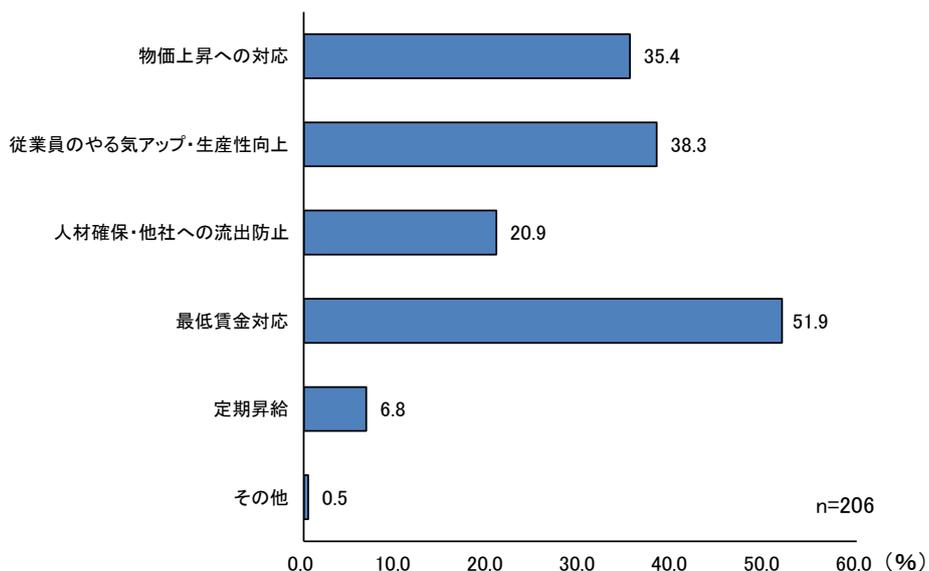
【従業員規模別】



②パート雇用（非正規）

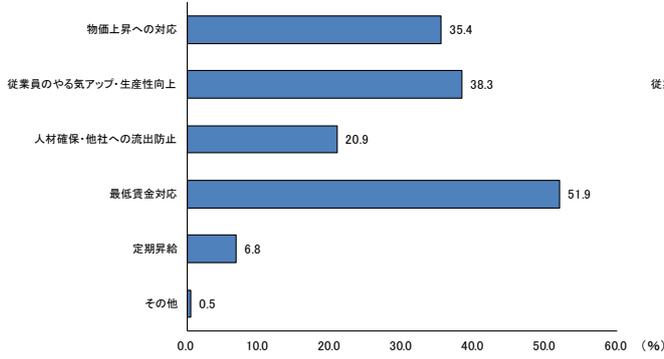
賃上げした理由については、全体では「最低賃金対応」が51.9%と最も高く、次いで「従業員のやる気アップ・生産性向上」が38.3%、「物価上昇への対応」が35.4%となった。

業種別にみると、建設業では「従業員のやる気アップ・生産性向上」が、不動産業では「物価上昇への対応」と「最低賃金対応」が最も高くなっている。それ以外の業種では「最低賃金対応」がそれぞれ最も高く、5割半ばから6割半ばとなっている。

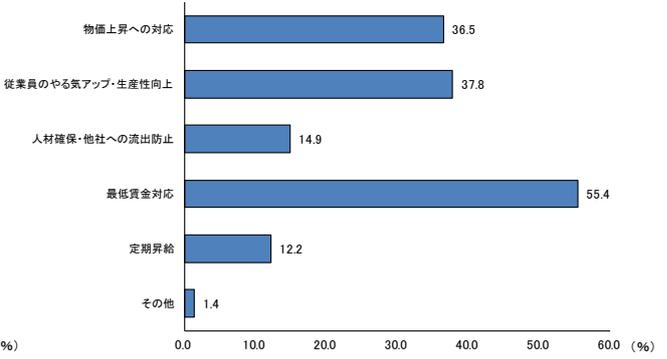


【業種別】

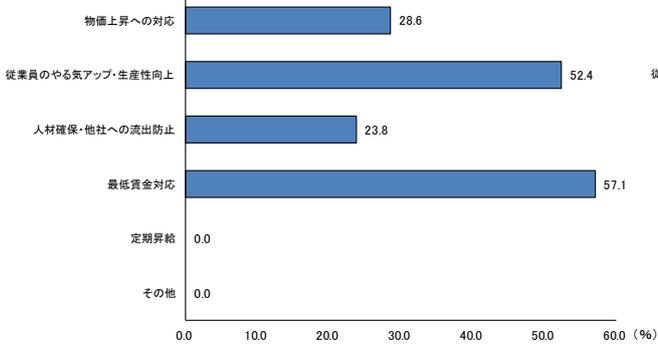
全体(206件)



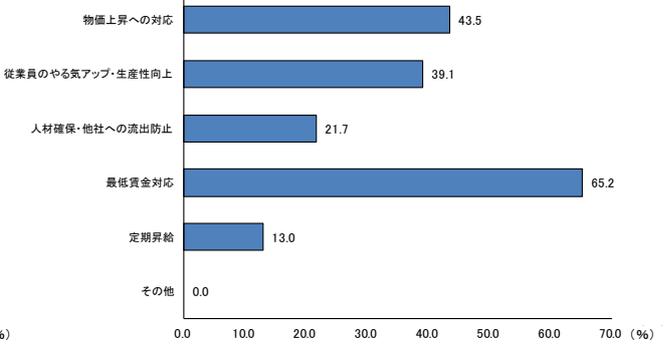
製造業(74件)



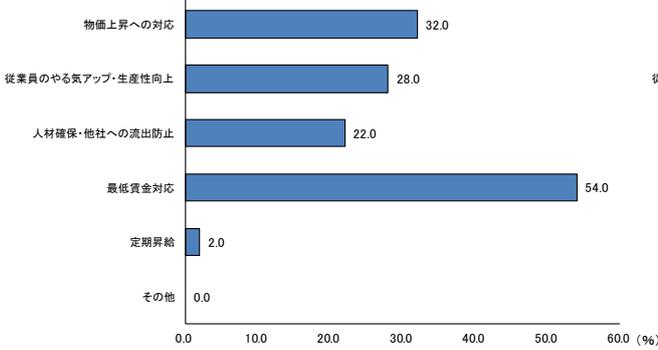
卸売業(21件)



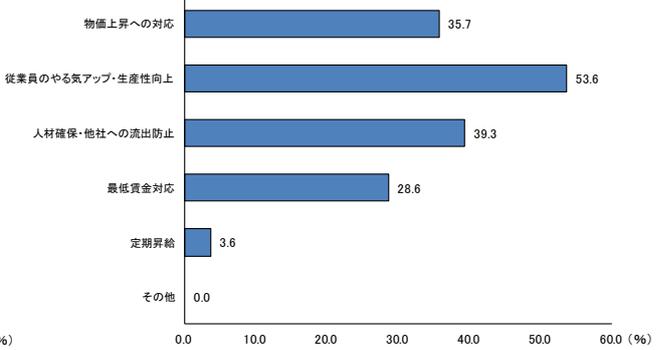
小売業(23件)



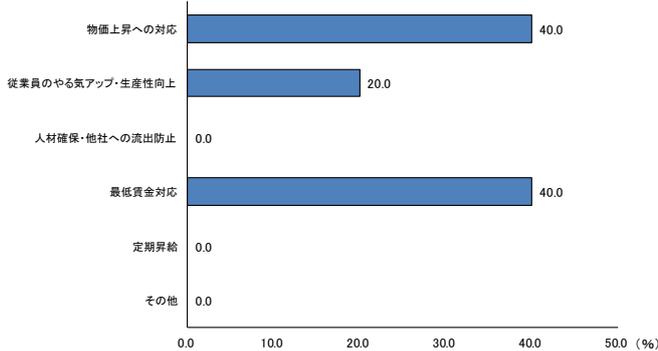
サービス業(50件)



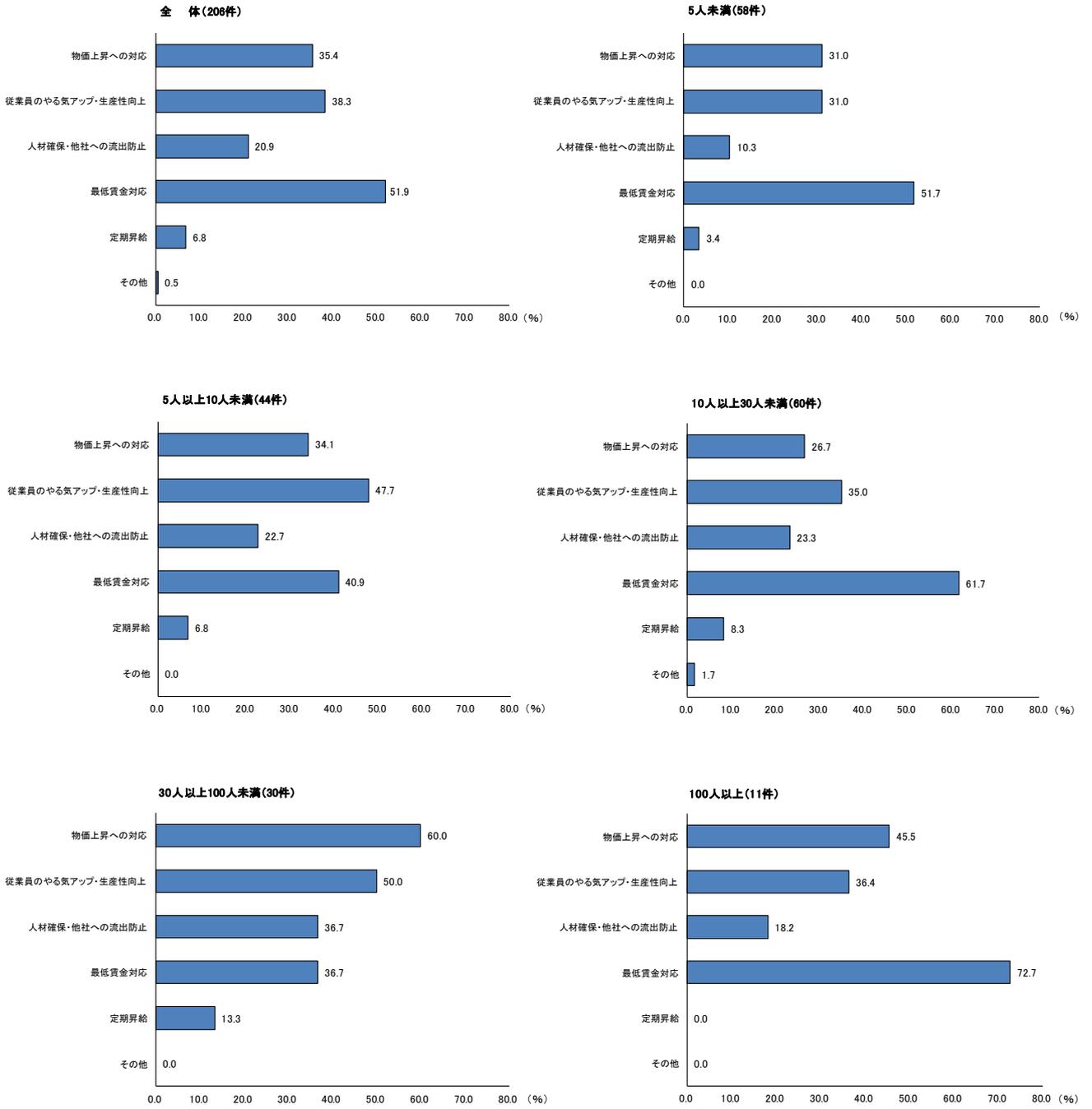
建設業(28件)



不動産業(10件)



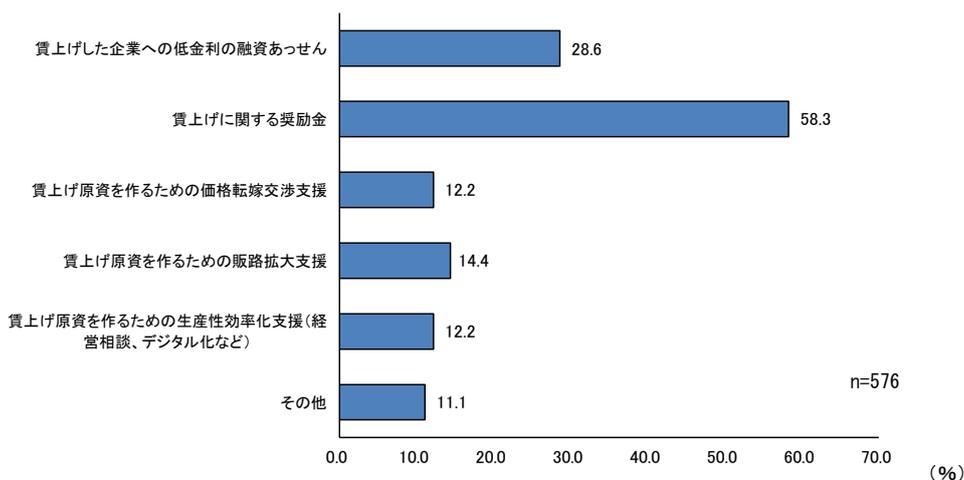
【従業員規模別】



問4. 葛飾区に求める賃上げに関する支援についてお答えください（〇はいくつでも）

葛飾区に求める賃上げに関する支援について、全体では「賃上げに関する奨励金」が58.3%と最も高く、次いで「賃上げした企業への低金利の融資あっせん」が28.6%、「賃上げ原資を作るための販路拡大支援」が14.4%となった。

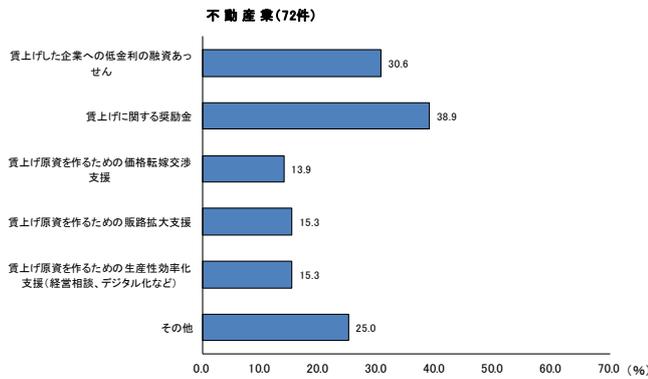
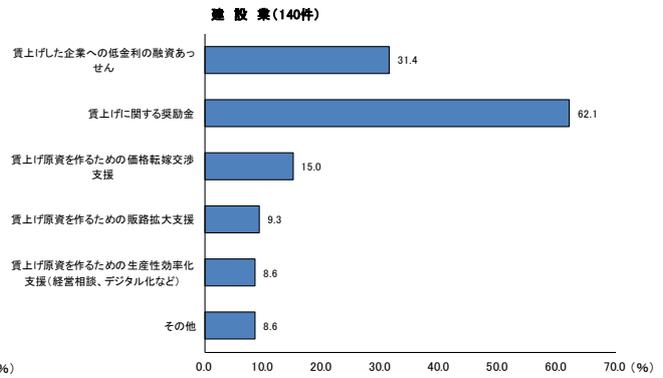
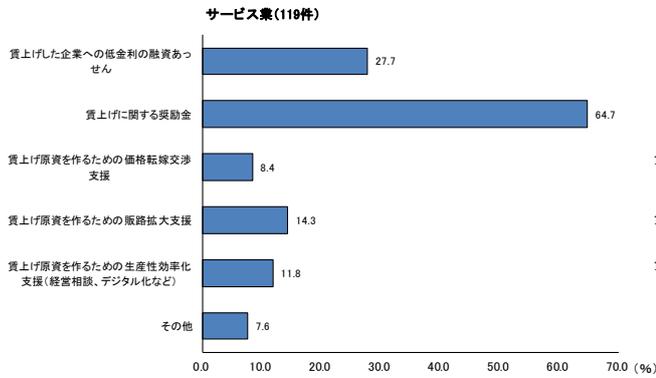
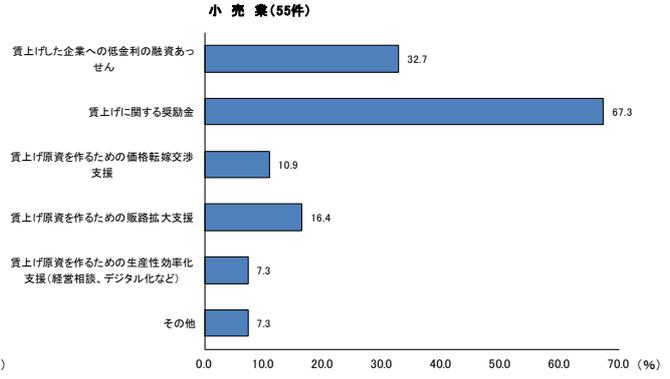
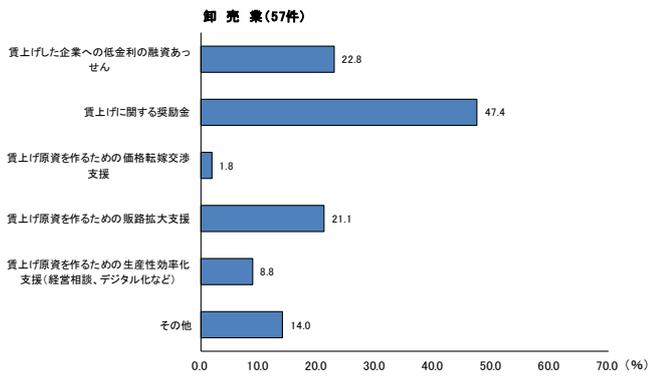
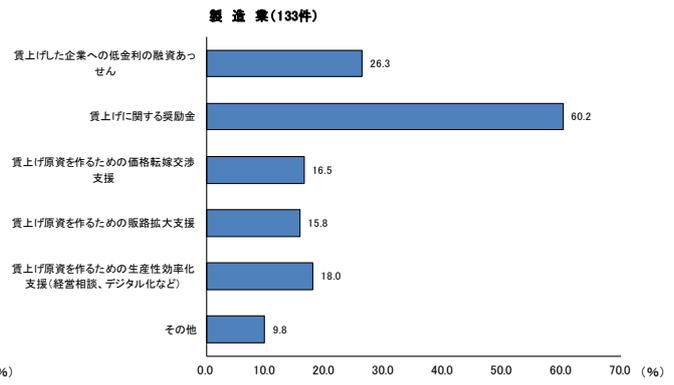
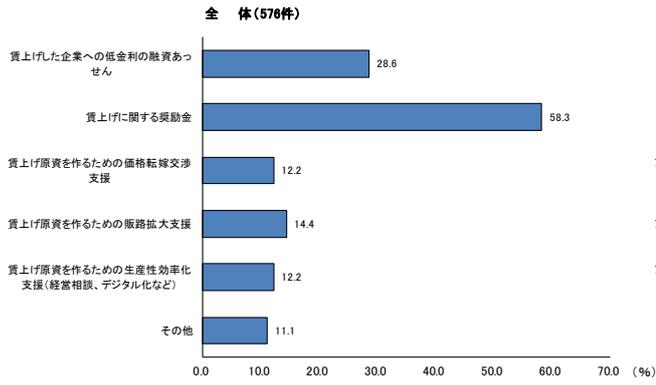
業種別にみると、全ての業種で「賃上げに関する奨励金」が最も高いが、小売業（67.3%）と不動産業（38.9%）では、28ポイント以上の差がみられる。



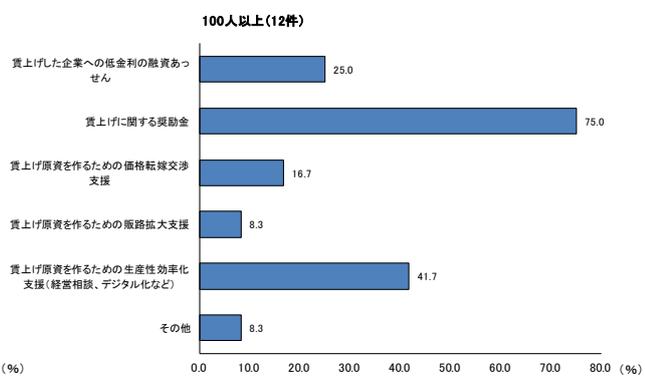
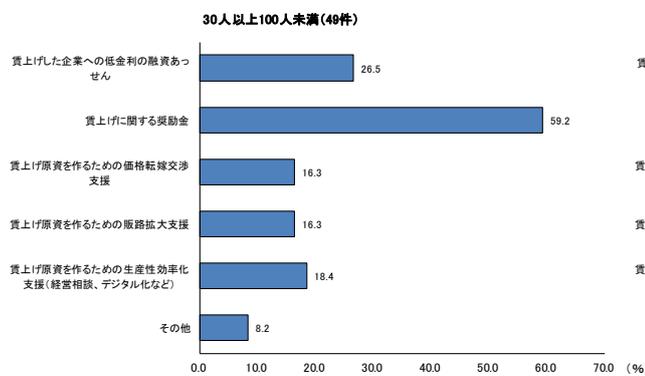
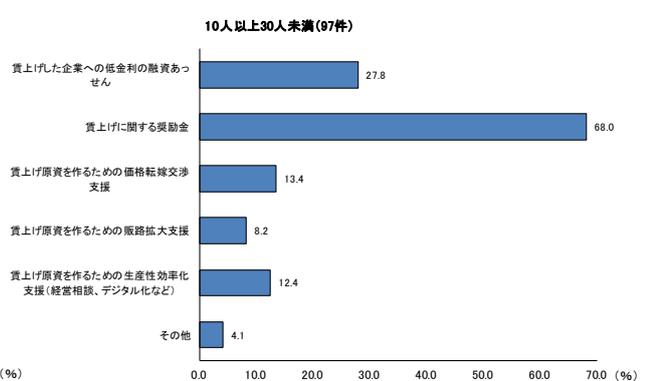
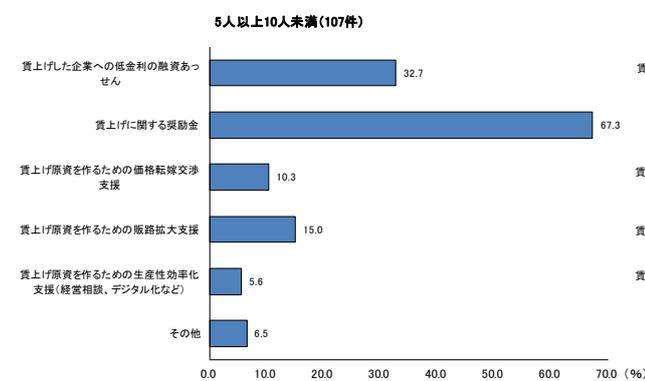
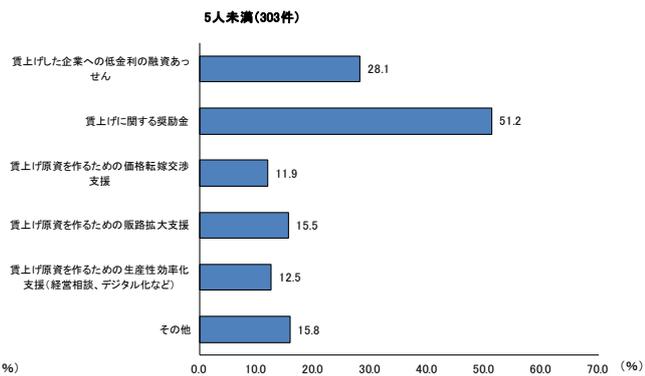
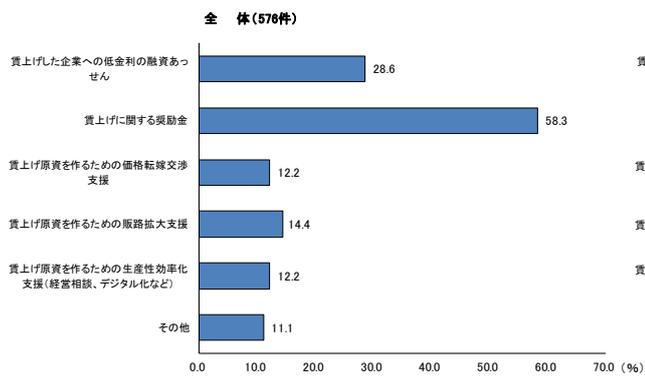
【その他の意見】

- 現状なし(製造業)
- 補助金制度の拡大(製造業)
- 必要ない(製造業)
- 補助金の支援(製造業)
- 中小企業枠ではないのでむずかしいかと思いません(みなし大企業のため)(卸売業)
- 支援金をお願いしたい(卸売業)
- 区内の同業他社の平均給与額の開示(卸売業)
- 小規模事業者が生き残れる施策を!(小売業)
- 採用の予定はない(小売業)
- 法人税減税(小売業)
- 賃上げできる状況じゃないため、運転資金の借入をしたい(サービス業)
- 区の商店会補助が助かっている(サービス業)
- 令和7年度も物価高騰緊急対策支援金の実施をお願いいたします(サービス業)
- 必要なし(サービス業)
- 現金支給(サービス業)
- 支援は必要なし(建設業)
- 支援よりも減税、景気好循環で所得が増える施策を(建設業)
- 人材育成、イベントによる啓発運動(建設業)
- 家族経営のため賃上げ支援は不要(建設業)
- 従業員採用予定なし(建設業)
- DX支援(不動産業)
- 賃上げできない企業への助成金をお願いしたいです(不動産業)
- 銀行口座開設支援(不動産業)
- 他の事に支援して欲しい(不動産業)
- 企業が収益を上げて賃上げすべきなので、支援によって上げることに疑問があります(不動産業)

【業種別】



【従業員規模別】



中小企業景況調査 転記表

製造業
地域名: 葛飾区
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月~12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R5 10~12月期		R6 1~3月期		R6 4~6月期		R6 7~9月期		R6 10~12月期		R7 1~3月期		R7 4~6月期		R7 7~9月期		R7 10~12月期		対前期 比	R8 1~3月期 (予測)
業況	良い	10.3	5.8	14.3	3.8	8.3	8.2	10.2	4.9	15.5	4.6	13.8	7.3	8.6	5.5	9.3	8.0	10.1	8.9		6.3
	普通	44.2	48.4	34.8	50.0	40.8	41.8	40.7	46.8	41.7	52.6	40.1	49.4	47.4	50.6	48.2	39.4	43.8	50.5		51.4
	悪い	45.5	45.8	50.9	46.3	51.0	50.0	49.2	48.3	42.9	42.9	46.1	43.3	44.0	43.9	42.5	52.6	46.1	40.5		42.3
	D-I	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-42.7	-41.8	-39.0	-43.4	-27.4	-38.3	-32.3	-36.0	-35.4	-38.4	-33.2	-44.6	-36.0	-31.6	-2.8	
売上額	増加	21.2	8.8	16.0	9.8	16.7	9.9	13.6	8.8	18.3	13.7	15.5	13.7	18.2	13.5	15.5	15.4	17.3	14.1		10.8
	変わらず	39.4	51.6	34.4	48.5	35.8	43.8	42.9	50.2	45.6	54.9	42.3	43.5	35.2	46.0	42.5	34.3	40.2	46.1		50.6
	減少	39.4	39.6	49.7	41.7	47.5	46.3	43.5	41.0	36.1	31.4	42.3	42.9	46.6	40.5	42.0	50.3	42.5	39.8		38.6
	D-I	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-30.8	-36.4	-29.9	-32.2	-17.8	-17.7	-26.8	-29.2	-28.4	-27.0	-26.5	-34.9	-25.2	-25.7	1.3	
受注残	増加	13.0	8.4	15.0	8.8	9.5	8.8	10.4	7.9	16.4	10.4	13.7	12.3	15.2	8.2	8.5	11.7	12.5	10.7		9.9
	変わらず	42.2	52.3	43.1	50.9	41.5	50.9	53.8	49.5	46.1	56.1	53.4	49.1	48.0	55.1	54.3	45.0	50.0	55.6		53.5
	減少	44.7	39.4	41.9	40.3	49.0	40.3	35.8	42.6	37.6	33.5	32.9	38.7	36.8	36.7	37.2	43.3	37.5	33.7		36.6
	D-I	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	-39.5	-31.5	-29.4	-34.7	-21.2	-23.1	-19.2	-26.4	-21.6	-28.5	-28.7	-31.6	-25.0	-23.0	3.7	
収益	増加	18.5	10.3	15.6	8.2	13.4	8.2	10.2	10.8	18.9	12.1	15.2	11.0	15.9	11.8	9.9	10.9	16.3	11.6		9.0
	変わらず	37.7	39.7	36.9	41.8	35.8	48.4	39.2	40.2	40.9	50.6	40.9	42.9	31.8	41.6	38.7	39.4	38.4	46.3		48.5
	減少	43.8	50.0	47.5	50.0	50.7	43.4	50.6	49.0	40.2	37.4	43.9	46.0	52.3	46.6	51.3	49.7	45.3	42.1		42.5
	D-I	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-37.3	-35.2	-40.4	-38.2	-21.3	-25.3	-28.7	-35.0	-36.4	-34.8	-41.4	-38.8	-29.0	-30.5	12.4	
販売価格	上昇	20.4	17.3	13.9	15.5	14.7	12.1	14.9	18.1	18.3	16.7	14.6	19.8	10.8	16.0	14.4	12.0	15.6	16.8		13.5
	変わらず	68.5	73.7	75.3	70.2	75.5	75.8	77.1	71.6	73.2	77.0	74.4	70.4	77.8	73.6	74.9	76.6	78.0	71.9		77.8
	下降	11.1	9.0	10.8	14.3	9.8	12.1	8.0	10.3	8.5	6.3	11.0	9.9	11.4	10.4	10.7	11.4	6.4	11.4		8.8
	D-I	9.3	8.3	3.1	1.2	4.9	0.0	6.9	7.8	9.8	10.4	3.6	9.9	-0.6	5.6	3.7	0.6	9.2	5.4	5.5	
原価率	上昇	53.4	58.7	44.1	50.0	63.7	41.8	65.5	60.3	63.6	62.4	54.9	59.0	51.7	53.5	53.2	45.6	56.3	54.9		52.9
	変わらず	44.7	36.8	53.4	48.1	32.4	55.7	34.5	35.8	34.0	35.9	40.7	38.5	44.2	42.1	43.5	52.1	43.2	42.9		46.6
	下降	1.9	4.5	2.5	1.9	3.9	2.5	0.0	3.9	2.5	1.8	4.3	2.5	4.1	4.4	3.2	2.4	0.6	2.2		0.6
	D-I	51.5	54.2	41.6	48.1	59.8	39.3	65.5	56.4	61.1	60.6	50.6	56.5	47.6	49.1	50.0	43.2	55.7	52.7	5.7	
在庫	過剰	10.1	13.9	14.6	8.4	10.0	10.2	13.5	9.0	11.6	11.7	10.1	10.5	14.9	7.1	9.1	11.2	13.1	8.2		11.0
	適正	83.5	79.7	77.2	86.4	86.1	82.2	81.9	86.6	84.8	83.6	82.4	85.8	78.2	85.9	86.6	83.5	79.4	87.5		81.4
	不足	6.3	6.3	8.2	5.2	4.0	7.6	4.7	4.5	3.7	4.7	7.5	3.7	6.9	7.1	4.3	5.3	7.4	4.3		7.6
	D-I	3.8	7.6	6.4	3.2	6.0	2.6	8.8	4.5	7.9	7.0	2.6	6.8	8.0	0.0	4.8	5.9	5.7	3.9	0.9	
資金繰り	差	7.9	5.6	7.4	6.2	7.3	5.6	7.3	6.3	9.8	7.5	7.8	8.0	6.8	7.4	7.9	8.0	10.1	7.9		9.1
	変わらず	64.2	68.3	71.2	63.4	65.4	67.3	59.3	62.4	61.0	59.2	62.0	61.3	61.4	61.3	65.4	60.0	63.1	61.1		60.8
	苦しい	27.9	26.1	21.5	30.4	27.3	27.2	33.3	31.2	29.3	33.3	30.1	30.7	31.8	31.3	26.7	32.0	26.8	31.1		30.1
	D-I	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	-20.0	-21.6	-26.0	-24.9	-19.5	-25.8	-22.3	-22.7	-25.0	-23.9	-18.8	-24.0	-16.7	-23.2	2.1	
同前年 対比	売上額	-19.6		-26.5		-23.4		-25.3		-17.7		-17.7		-18.3		-28.1		-28.2			
	収益	-28.8		-30.5		-34.8		-36.2		-30.3		-29.0		-29.6		-40.0		-41.2			
雇用 人手	前年比残業時間	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6	-17.6	-11.8	-22.6	-14.8	-12.3	-16.8	-6.1	-13.5	-5.8	-10.4	-8.6	-9.3	-6.9	-11.4		-12.7
		-22.5	-22.2	-19.8	-24.6	-18.1	-23.0	-16.2	-19.1	-20.1	-21.0	-13.9	-20.9	-15.4	-16.5	-22.1	-13.8	-21.0	-21.7		-19.5
借入金	借入をした(%)	33.5	14.4	25.2	13.8	31.5	13.9	33.1	16.8	31.7	15.6	29.1	18.1	28.4	15.5	26.6	15.5	27.0	14.6		13.2
	借入をしない(%)	66.5	85.6	74.8	86.2	68.5	86.1	66.9	83.2	68.3	84.4	70.9	81.9	71.6	84.5	73.4	84.5	73.0	85.4		86.8
	借入難易度	4.4		5.8		5.6		5.9		8.7		6.2		0.0		-1.6		2.9			
有効回答事業所数	165		164		206		178		169		168		177		193		179				

製造業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		R7 4～6月期		R7 7～9月期		R7 10～12月期		対前期 比	R8 1～3月期 (予測)
設備投資 投資動向 (%)	現在の設備	-10.1	-10.2	-3.2	-12.7	-8.5	-5.7	-8.1	-8.6	-3.7	-9.2	-4.2	-5.7	-7.6	-6.2	-5.8	-8.2	-11.0	-6.4		-14.3
	実施した	54.8	42.3	47.7	53.3	43.0	40.4	37.5	37.2	52.8	35.9	45.0	47.2	41.4	40.6	43.2	39.4	46.3	39.5		42.6
	事業用地・建物	6.7	7.2	6.5	10.5	7.4	6.1	4.7	6.8	7.2	4.7	4.7	6.5	5.7	1.6	4.1	3.5	3.7	4.1		3.7
	機械・設備の新・増設	21.2	18.9	18.7	19.0	16.1	20.2	11.7	16.9	9.6	14.8	12.4	14.6	15.7	13.3	12.3	16.2	15.4	11.6		14.0
	機械・設備の更改	18.3	21.6	12.1	21.9	20.1	18.2	17.2	16.9	20.0	15.6	20.9	23.6	22.1	21.1	18.5	22.5	19.1	17.0		22.8
	事務機器	16.3	9.0	20.6	11.4	12.8	10.1	13.3	9.5	17.6	6.3	21.7	8.9	11.4	12.5	15.1	8.5	16.9	6.8		11.8
	車両	12.5	8.1	15.0	20.0	9.4	8.1	6.3	10.1	14.4	8.6	9.3	12.2	11.4	12.5	14.4	10.6	11.0	12.2		8.8
	その他	3.8	3.6	5.6	2.9	2.0	4.0	1.6	0.7	2.4	1.6	0.8	2.4	0.7	0.8	0.7	0.7	2.2	1.4		0.0
	実施しない	45.2	57.7	52.3	46.7	57.0	59.6	62.5	62.8	47.2	64.1	55.0	52.8	58.6	59.4	56.8	60.6	53.7	60.5		57.4
	売上の停滞・減少	47.5		51.0		56.4		56.3		46.9		48.1		48.0		45.9		45.9			
経営上の 問題点 (%)	人手不足	21.9		23.2		18.6		23.3		24.7		20.0		22.2		22.7		23.5			
	大手企業・大型店との競争の激化	1.3		2.6		3.4		1.1		1.2		1.3		0.6		0.5		1.2			
	同業者間の競争の激化	5.0		7.7		6.4		5.7		6.8		6.9		5.3		7.0		5.9			
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		1.3		0.5		0.0		0.6		1.3		0.0		0.0		1.2			
	合理化の不足	2.5		4.5		2.9		1.1		3.1		4.4		2.9		3.2		3.5			
	利幅の縮小	21.3		23.9		16.2		20.5		24.7		17.5		19.3		19.5		17.6			
	小口注文・多頻度配送の増加	1.9		1.9		2.9		4.5		4.3		3.1		3.5		2.7		4.1			
	販売商品の不足	0.6		0.0		2.0		0.0		1.2		0.6		1.8		1.1		0.6			
	原材料価格・材料価格の上昇	46.9		49.0		59.3		58.5		46.3		45.6		44.4		42.2		40.0			
	販売納入先からの値下げ要請	1.3		0.6		1.5		1.7		0.6		0.6		1.2		1.6		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	10.6		8.4		15.2		8.5		13.6		9.4		9.9		9.7		8.8			
	人件費の増加	21.3		25.2		21.1		23.3		29.6		21.9		27.5		32.4		32.4			
	人件費以外の経費増加	12.5		8.4		11.3		8.5		8.6		10.6		14.6		13.5		8.2			
	工場・店舗の狭小・老朽化	13.8		11.6		8.3		8.0		11.1		11.3		12.3		13.5		10.6			
	生産能力・技術力の不足	10.6		11.6		5.9		8.0		4.9		5.0		7.0		8.1		9.4			
	取引先の減少	14.4		14.8		14.2		10.8		17.9		20.0		17.5		14.6		14.7			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.5		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	下請の確保難	8.8		7.7		6.9		10.2		8.0		7.5		10.5		5.9		2.4			
	駐車場・資材置場の確保難	1.3		0.6		1.0		0.6		1.2		0.6		0.0		1.6		2.9			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.3		1.3		0.5		1.7		1.2		1.9		1.8		0.5		0.6			
重点経営 施策 (%)	その他	1.9		2.6		1.5		1.1		0.6		1.9		2.3		2.2		4.7			
	問題なし	3.8		3.9		3.4		2.3		4.9		6.9		3.5		5.9		6.5			
	販路を広げる	38.1		34.4		42.8		37.2		34.4		36.9		31.2		36.3		36.4			
	経費を削減する	34.2		34.4		37.3		32.6		35.7		37.5		36.5		34.6		38.2			
	品揃えを充実させる	1.3		3.2		1.5		0.6		0.0		0.6		1.2		0.5		2.9			
	情報力・宣伝・広報を強化する	7.1		5.2		6.5		7.6		10.4		10.6		8.8		9.3		6.4			
	新製品・技術を開発する	12.3		15.6		17.9		17.4		16.9		16.9		18.2		14.3		14.5			
	新しい工法を導入する	5.8		4.5		4.0		3.5		6.5		3.1		4.7		4.9		4.6			
	新しい事業を始める	7.1		6.5		5.0		7.0		3.9		5.0		4.7		4.4		7.5			
	不採算部門を整理・縮小する	5.8		4.5		5.0		4.7		3.9		5.6		6.5		3.8		4.0			
店舗・設備を改装する	2.6		0.6		0.5		1.7		0.6		0.6		2.4		1.6		1.7				
仕入先・提携先を開拓・選別する	11.6		14.3		13.4		11.6		12.3		16.3		11.2		13.2		9.2				
営業時間を延長する	0.6		1.3		1.0		1.2		0.0		1.3		0.6		0.0		0.0				
売れ筋商品を取扱う	3.2		1.9		4.5		2.3		1.3		1.9		0.6		4.9		1.2				
商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
機械化を推進する	9.0		11.0		8.5		8.7		9.7		6.3		13.5		7.1		8.1				
技術力を強化する	22.6		20.1		23.4		21.5		21.4		19.4		15.3		17.6		17.9				
人材を確保する	24.5		31.8		22.4		26.7		27.3		24.4		23.5		24.7		26.0				
パート化を図る	2.6		1.9		2.0		3.5		0.6		0.0		1.8		2.2		0.6				
教育訓練を強化する	3.9		5.2		4.5		5.8		2.6		4.4		5.3		4.9		2.9				
労働条件を改善する	3.2		7.8		5.0		5.2		6.5		5.0		5.3		7.1		5.2				
工場・機械を増設・移転する	4.5		4.5		5.5		3.5		3.2		3.1		5.9		1.6		5.2				
流通経路の見直しをする	0.6		1.3		1.5		0.6		1.9		0.6		0.0		1.1		1.7				
取引先を支援する	0.6		1.9		1.0		2.9		3.2		0.6		2.4		0.5		0.0				
輸入品の取扱いを増やす	0.6		0.6		1.0		0.0		0.0		0.6		0.0		0.5		0.0				
不動産の有効活用を図る	1.3		1.9		2.5		1.7		2.6		2.5		2.9		3.3		1.2				
その他	0.0		0.6		1.5		0.6		0.6		2.5		1.8		2.7		0.6				
特になし	11.6		11.7		9.0		11.0		13.0		13.8		11.2		13.2		15.0				
有効回答事業所数	165		164		206		178		169		168		177		193		179				

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月～12月期

卸売業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期																
業況	良い	9.6	9.9	10.2	5.6	12.5	8.6	6.7	9.9	7.8	9.4	9.3	8.2	7.5	6.0	12.1	6.7	9.2	6.1			3.6	
	普通	45.2	40.8	43.9	50.0	44.6	50.5	43.3	49.5	45.1	53.0	46.5	43.3	45.3	53.0	45.7	50.0	42.5	54.8			49.4	
	悪い	45.2	49.3	45.9	44.4	42.9	40.9	50.0	40.5	47.1	37.6	44.2	48.5	47.2	41.0	42.2	43.3	48.3	39.1			47.0	
	D-I	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-30.4	-32.3	-43.3	-30.6	-39.3	-28.2	-34.9	-40.3	-39.7	-35.0	-30.1	-36.6	-39.1	-33.0	-9.0			-43.4
売上額	増加	20.5	12.2	13.4	11.1	20.7	8.5	16.8	16.8	19.6	18.2	16.1	11.1	12.3	11.8	17.1	8.6	17.2	12.1				3.5
	変わらず	38.4	48.6	36.1	43.1	44.1	51.1	38.7	48.7	42.2	44.6	34.5	48.5	50.9	45.9	39.3	52.4	32.2	51.7				49.4
	減少	41.1	39.2	50.5	45.8	35.1	40.4	44.5	34.5	38.2	37.2	49.4	40.4	36.8	42.4	43.6	39.0	50.6	36.2				47.1
	D-I	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-14.4	-31.9	-27.7	-17.7	-18.6	-19.0	-33.3	-29.3	-24.5	-30.6	-26.5	-30.4	-33.4	-24.1	-6.9			
収益	増加	22.2	9.6	14.4	8.3	12.5	5.4	9.3	11.6	13.9	15.1	8.4	6.1	10.5	8.4	13.8	6.7	17.0	9.5				5.9
	変わらず	30.6	42.5	35.1	38.9	43.8	49.5	38.1	47.3	40.6	42.9	41.0	42.4	48.6	50.6	44.8	52.4	36.4	53.4				47.1
	減少	47.2	47.9	50.5	52.8	43.8	45.2	52.5	41.1	45.5	42.0	50.6	51.5	41.0	41.0	41.4	41.0	46.6	37.1				47.1
	D-I	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-31.3	-39.8	-43.2	-29.5	-31.6	-26.9	-42.2	-45.4	-30.5	-32.6	-27.6	-34.3	-29.6	-27.6	-2.0			
販売価格	上昇	34.3	33.3	26.0	31.4	33.0	26.1	33.6	27.7	36.3	39.2	33.7	27.3	23.8	30.1	28.4	22.1	26.4	26.1				20.9
	変わらず	58.6	53.3	61.5	57.1	57.1	66.3	56.3	61.6	52.9	53.3	54.2	61.6	62.9	60.2	61.2	62.5	63.2	59.1				68.6
	下降	7.1	13.3	12.5	11.4	9.8	7.6	10.1	10.7	10.8	7.5	12.0	11.1	13.3	9.6	10.3	15.4	10.3	14.8				10.5
	D-I	27.2	20.0	13.5	20.0	23.2	18.5	23.5	17.0	25.5	31.7	21.7	16.2	10.5	20.5	18.1	6.7	16.1	11.3	-2.0			
仕入価格	上昇	56.5	58.9	60.8	47.8	69.2	61.3	59.3	63.0	66.7	57.6	58.8	63.9	51.5	59.5	55.2	42.6	54.2	53.0				53.1
	変わらず	37.7	30.1	35.1	46.4	25.2	35.5	28.0	30.6	24.2	34.7	29.4	28.9	39.8	33.3	38.8	50.5	39.8	40.9				42.0
	下降	5.8	11.0	4.1	5.8	5.6	3.2	12.7	6.5	9.1	7.6	11.8	7.2	8.7	7.1	6.0	6.9	6.0	6.1				4.9
	D-I	50.7	47.9	56.7	42.0	63.6	58.1	46.6	56.5	57.6	50.0	47.0	56.7	42.8	52.4	49.2	35.7	48.2	46.9	-1.0			
在庫	過剰	21.7	10.3	17.2	18.8	17.0	14.3	15.2	15.1	14.0	11.6	18.4	13.0	11.3	16.0	15.2	12.5	13.8	13.5				14.1
	適正	72.5	77.9	75.3	73.9	71.7	76.9	74.1	74.5	71.0	76.8	69.7	71.7	81.4	72.0	78.1	79.2	76.3	79.8				75.6
	不足	5.8	11.8	7.5	7.2	11.3	8.8	10.7	10.4	15.1	11.6	11.8	15.2	7.2	12.0	6.7	8.3	10.0	6.7				10.3
	D-I	15.9	-1.5	9.7	11.6	5.7	5.5	4.5	4.7	-1.1	0.0	6.6	-2.2	4.1	4.0	8.5	4.2	3.8	6.8	-4.7			
資金繰り	楽	6.9	6.8	9.4	5.6	6.3	6.4	4.2	6.3	7.9	5.8	1.2	8.1	8.5	1.2	10.3	8.5	8.1	10.4				9.4
	変わらず	69.4	62.2	62.5	69.4	72.3	61.7	70.6	70.5	63.4	72.7	71.4	65.7	64.2	70.2	65.5	62.3	66.3	65.2				65.9
	苦しい	23.6	31.1	28.1	25.0	21.4	31.9	25.2	23.2	28.7	21.5	27.4	26.3	27.4	28.6	24.1	29.2	25.6	24.3				24.7
	D-I	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-15.1	-25.5	-21.0	-16.9	-20.8	-15.7	-26.2	-18.2	-18.9	-27.4	-13.8	-20.7	-17.5	-13.9	-3.7			
前年 同期比	売上額	-25.4		-16.9		-13.1		-24.6		-16.2		-21.7		-30.8		-12.3		-22.9					
	収益	-32.9		-28.5		-30.1		-40.1		-39.2		-39.5		-36.5		-24.6		-32.1					
	販売価格	31.9		34.0		21.1		24.2		27.7		31.8		13.2		19.2		22.8					
雇用	前年比残業時間	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3	-14.1	-15.7	-13.6	-15.0	-8.0	-7.7	-8.3	-9.9	-7.6	-7.1	-9.5	-12.5	-13.1	-6.2				-7.1
	人手	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6	-25.6	-10.5	-16.1	-26.5	-16.7	-21.2	-16.9	-18.6	-14.2	-19.5	-21.7	-14.1	-15.7	-24.7				-18.1
借入金	借入をした(%)	38.9	8.7	31.6	10.0	27.0	17.5	33.1	14.4	23.8	11.2	11.9	5.2	19.8	8.1	22.1	9.9	28.9	10.0				12.0
	借入をしない(%)	61.1	91.3	68.4	90.0	73.0	82.5	66.9	85.6	76.2	88.8	88.1	94.8	80.2	91.9	77.9	90.1	71.1	90.0				88.0
	借入難易度	4.2		0.0		-0.9		2.5		-5.1		-7.2		-1.9		2.5		0.0					
有効回答事業所数	74		99		113		121		102		87		107		117		88						

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期				
現在の設備	-17.2	-7.7	-8.9	-20.3	-10.1	-9.1	-11.6	-12.1	-6.2	-11.7	-10.8	-7.2	-10.8	-12.1	-6.1	-8.9	-4.8	-6.3	-6.0
実施した	41.7	41.2	33.3	35.4	32.9	39.2	37.6	24.7	33.8	33.3	13.6	31.6	24.7	23.1	33.0	39.0	33.3	25.6	28.8
事業用地・建物	8.3	5.9	2.0	4.2	3.7	2.0	5.9	4.9	3.9	3.6	1.5	3.9	1.2	4.6	2.2	3.7	3.0	4.4	3.0
機械・設備の新・増設	4.2	14.7	3.9	10.4	3.7	0.0	8.2	2.5	6.5	3.6	3.0	2.6	1.2	6.2	7.7	1.2	1.5	3.3	3.0
機械・設備の更改	6.3	5.9	2.0	4.2	6.1	3.9	5.9	4.9	6.5	2.4	1.5	5.3	3.7	1.5	3.3	3.7	1.5	2.2	3.0
事務機器	18.8	17.6	19.6	10.4	15.9	19.6	15.3	7.4	15.6	13.1	3.0	21.1	16.0	4.6	16.5	19.5	21.2	10.0	13.6
車両	25.0	8.8	19.6	18.8	17.1	25.5	17.6	14.8	15.6	19.0	10.6	14.5	8.6	15.4	18.7	20.7	16.7	13.3	12.1
その他	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.4	1.2	1.3	1.2	0.0	2.6	2.5	0.0	0.0	3.7	1.5	0.0	1.5
実施しない	58.3	58.8	66.7	64.6	67.1	60.8	62.4	75.3	66.2	66.7	86.4	68.4	75.3	76.9	67.0	61.0	66.7	74.4	71.2
売上の停滞・減少	53.5		50.0		42.9		50.0		52.5		54.9		54.8		49.6				54.3
人手不足	16.9		12.8		15.2		12.3		12.1		11.0		9.6		18.6				11.1
大手企業・大型店との競争の激化	1.4		2.1		6.3		4.4		7.1		4.9		4.8		4.4				6.2
同業者間の競争の激化	11.3		12.8		12.5		13.2		10.1		15.9		14.4		20.4				13.6
流通経路の変化による競争の激化	2.8		2.1		3.6		6.1		5.1		2.4		3.8		3.5				2.5
合理化の不足	4.2		3.2		1.8		2.6		6.1		6.1		2.9		1.8				4.9
利幅の縮小	26.8		26.6		25.0		21.1		27.3		23.2		17.3		31.9				22.2
小口注文・多頻度配送の増加	4.2		3.2		4.5		3.5		3.0		1.2		6.7		2.7				7.4
販売商品の不足	4.2		3.2		5.4		7.9		11.1		7.3		5.8		4.4				7.4
原材料価格・材料価格の上昇	35.2		38.3		39.3		33.3		33.3		36.6		27.9		28.3				27.2
販売納入先からの値下げ要請	0.0		1.1		0.0		2.6		2.0		0.0		1.9		3.5				1.2
仕入先からの値上げ要請	28.2		19.1		28.6		25.4		23.2		25.6		21.2		22.1				19.8
人件費の増加	9.9		13.8		18.8		12.3		12.1		17.1		16.3		11.5				13.6
人件費以外の経費増加	9.9		13.8		8.9		7.9		7.1		12.2		10.6		6.2				9.9
工場・店舗の狭小・老朽化	4.2		3.2		3.6		6.1		2.0		2.4		2.9		3.5				1.2
生産能力・技術力の不足	1.4		0.0		1.8		0.9		1.0		0.0		0.0		3.5				0.0
取引先の減少	14.1		29.8		20.5		23.7		28.3		32.9		25.0		22.1				24.7
商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0		1.0		0.0				1.2
下請の確保難	2.8		2.1		2.7		1.8		2.0		1.2		3.8		2.7				1.2
駐車場・資材置場の確保難	1.4		1.1		0.9		2.6		1.0		2.4		1.9		0.0				0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	2.8		3.2		1.8		0.0		3.0		0.0		2.9		0.0				1.2
その他	7.0		1.1		4.5		1.8		1.0		1.2		1.9		2.7				3.7
問題なし	2.8		5.3		4.5		5.3		5.1		3.7		7.7		7.1				8.6
販路を広げる	54.9		53.8		53.2		47.4		47.9		45.8		52.4		54.9				56.1
経費を削減する	39.4		40.9		38.7		31.6		39.6		45.8		41.0		31.0				37.8
品揃えを充実させる	5.6		8.6		11.7		8.8		14.6		14.5		14.3		8.0				14.6
情報力・宣伝・広報を強化する	12.7		14.0		14.4		10.5		13.5		8.4		3.8		12.4				9.8
新製品・技術を開発する	7.0		9.7		9.9		10.5		5.2		7.2		8.6		15.9				8.5
新しい工法を導入する	0.0		1.1		0.9		0.9		2.1		1.2		0.0		0.0				1.2
新しい事業を始める	9.9		6.5		9.9		7.9		10.4		8.4		12.4		11.5				9.8
不採算部門を整理・縮小する	5.6		5.4		4.5		4.4		5.2		4.8		6.7		5.3				1.2
店舗・設備を改装する	0.0		1.1		0.9		1.8		0.0		0.0		1.9		0.0				1.2
仕入先・提携先を開拓・選別する	18.3		19.4		21.6		24.6		28.1		24.1		20.0		18.6				18.3
営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.9		1.0		0.0		1.0		0.0				0.0
売れ筋商品を取扱う	12.7		11.8		9.9		10.5		9.4		10.8		11.4		8.8				13.4
商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.9		0.0		0.0		0.0		1.8				1.2
機械化を推進する	2.8		1.1		3.6		2.6		3.1		2.4		1.0		0.0				1.2
技術力を強化する	4.2		7.5		4.5		3.5		4.2		3.6		2.9		1.8				3.7
人材を確保する	18.3		15.1		11.7		16.7		6.3		13.3		8.6		12.4				8.5
パート化を図る	1.4		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0		0.0		2.7				0.0
教育訓練を強化する	2.8		2.2		0.9		2.6		3.1		2.4		4.8		2.7				4.9
労働条件を改善する	1.4		4.3		4.5		2.6		2.1		0.0		1.0		1.8				1.2
工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.9		0.0		0.0		0.0		1.0		0.9				4.9
流通経路の見直しをする	5.6		9.7		5.4		6.1		4.2		3.6		4.8		4.4				0.0
取引先を支援する	0.0		2.2		3.6		7.0		5.2		2.4		2.9		7.1				2.4
輸入品の取扱いを増やす	2.8		3.2		2.7		2.6		2.1		3.6		1.0		3.5				1.2
不動産の有効活用を図る	0.0		1.1		1.8		0.0		1.0		2.4		1.9		0.9				0.0
その他	2.8		1.1		0.9		0.0		1.0		0.0		1.9		0.9				3.7
特になし	9.9		10.8		9.9		14.9		15.6		9.6		12.4		11.5				12.2
有効回答事業所数	74		99		113		121		102		87		107		117				88

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月～12月期

小売業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期								
業況	良い	5.5	5.3	7.3	4.7	4.8	5.3	11.1	5.0	11.1	8.0	7.2	9.9	11.0	5.1	6.4	6.1	11.5	4.4		9.2
	普通	37.4	38.2	30.2	31.4	42.3	41.5	38.9	41.6	38.9	43.2	35.1	38.0	39.8	43.9	38.3	43.5	39.7	45.1		35.5
	悪い	57.1	56.6	62.5	64.0	52.9	53.2	50.0	53.5	50.0	48.9	57.7	52.1	49.2	51.0	55.3	50.4	48.7	50.5		55.3
	D-I	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-48.1	-47.9	-38.9	-48.5	-38.9	-40.9	-50.5	-42.2	-38.2	-45.9	-48.9	-44.3	-37.2	-46.1	11.7	-46.1
売上額	増加	9.8	13.2	9.4	8.7	17.1	8.5	18.0	12.6	29.2	13.3	11.2	16.9	17.8	8.2	14.9	10.3	15.8	14.0		13.2
	変わらず	39.1	42.1	32.3	40.2	36.2	43.6	33.7	44.7	30.6	42.2	35.7	32.4	33.9	42.3	30.9	41.4	39.5	40.9		40.8
	減少	51.1	44.7	58.3	51.1	46.7	47.9	48.3	42.7	40.3	44.4	53.1	50.7	48.3	49.5	54.3	48.3	44.7	45.2		46.1
	D-I	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-29.6	-39.4	-30.3	-30.1	-11.1	-31.1	-41.9	-33.8	-30.5	-41.3	-39.4	-38.0	-28.9	-31.2	10.5	-32.9
収益	増加	6.5	9.5	9.7	7.6	11.7	8.7	12.5	8.9	19.7	11.4	11.1	15.7	13.7	9.1	9.8	8.5	17.1	10.9		10.4
	変わらず	33.7	36.5	25.8	30.4	34.0	34.8	35.2	40.6	33.8	39.8	32.3	31.4	34.2	36.4	26.1	39.3	27.6	38.0		36.4
	減少	59.8	54.1	64.5	62.0	54.4	56.5	52.3	50.5	46.5	48.9	56.6	52.9	52.1	54.5	64.1	52.1	55.3	51.1		53.2
	D-I	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-42.7	-47.8	-39.8	-41.6	-26.8	-37.5	-45.5	-37.2	-38.4	-45.4	-54.3	-43.6	-38.2	-40.2	16.1	-42.8
販売価格	上昇	41.8	38.4	33.0	33.0	39.8	35.5	43.7	40.2	54.2	40.2	52.0	51.4	35.3	47.5	38.0	38.3	39.5	36.3		37.7
	変わらず	33.0	41.1	46.8	37.4	42.7	50.5	41.4	43.1	34.7	43.7	31.6	37.1	47.4	38.4	52.2	46.1	43.4	57.1		44.2
	下降	25.3	20.5	20.2	29.7	17.5	14.0	14.9	16.7	11.1	16.1	16.3	11.4	17.2	14.1	9.8	15.7	17.1	6.6		18.2
	D-I	16.5	17.9	12.8	3.3	22.3	21.5	28.8	23.5	43.1	24.1	35.7	40.0	18.1	33.4	28.2	22.6	22.4	29.7	-5.8	19.5
仕入価格	上昇	66.3	56.0	62.6	52.3	67.0	63.3	75.0	64.6	69.1	73.9	70.5	68.7	63.1	66.3	68.1	63.0	74.7	64.4		70.3
	変わらず	24.4	29.3	27.5	37.2	27.8	30.0	21.6	30.2	17.6	23.9	18.9	20.9	30.6	24.2	28.6	32.4	17.3	31.1		21.6
	下降	9.3	14.7	9.9	10.5	5.2	6.7	3.4	5.2	13.2	2.3	10.5	10.4	6.3	9.5	3.3	4.6	8.0	4.4		8.1
	D-I	57.0	41.3	52.7	41.8	61.8	56.6	71.6	59.4	55.9	71.6	60.0	58.3	56.8	56.8	64.8	58.4	66.7	60.0	1.9	62.2
在庫	過剰	7.4	3.2	11.2	6.2	6.2	9.2	7.1	3.1	6.1	6.0	9.8	6.1	8.0	6.5	6.7	8.0	2.6	5.7		2.6
	適正	72.8	74.2	74.2	71.6	77.3	75.9	77.4	80.4	83.3	79.8	70.7	83.3	74.1	72.8	77.5	74.1	78.9	79.5		78.9
	不足	19.8	22.6	14.6	22.2	16.5	14.9	15.5	16.5	10.6	14.3	19.6	10.6	17.9	20.7	15.7	17.9	18.4	14.8		18.4
	D-I	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	-10.3	-5.7	-8.4	-13.4	-4.5	-8.3	-9.8	-4.5	-9.9	-14.2	-9.0	-9.9	-15.8	-9.1	-6.8	
資金繰り	楽	2.2	6.7	4.3	2.2	6.9	2.2	7.0	6.0	4.3	8.1	0.0	2.8	6.0	1.0	6.5	7.8	5.3	5.4		5.3
	変わらず	48.4	53.3	47.9	50.0	50.5	51.6	54.7	48.0	58.6	52.3	60.2	60.6	52.6	59.2	47.3	53.0	61.8	51.1		63.2
	苦しい	49.5	40.0	47.9	47.8	42.6	46.2	38.4	46.0	37.1	39.5	39.8	36.6	41.4	39.8	46.2	39.1	32.9	43.5		31.6
	D-I	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	-35.7	-44.0	-31.4	-40.0	-32.8	-31.4	-39.8	-33.8	-35.4	-38.8	-39.7	-31.3	-27.6	-38.1	12.1	-26.3
同前年比	売上額	-30.8		-36.5		-17.7		-17.7		-8.8		-28.1		-23.7		-30.1		-29.7			
	収益	-53.8		-54.3		-40.6		-41.6		-39.3		-44.6		-39.8		-47.8		-49.3			
	販売価格	35.5		16.5		34.0		26.2		36.3		40.0		33.9		14.0		18.7			
雇用	前年比残業時間	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8	-11.0	-16.1	-13.7	-11.1	-10.1	-13.8	-17.5	-14.5	-6.1	-16.9	-11.9	-7.8	-6.9	-11.3		-6.9
	人手	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6	-21.0	-32.6	-22.8	-19.2	-29.0	-27.6	-33.0	-33.3	-23.4	-33.3	-19.5	-22.8	-26.7	-23.6		-26.7
借入金	借入をした(%)	27.8	13.0	21.3	11.4	29.0	7.9	25.3	9.3	21.1	4.9	23.2	10.6	22.0	13.2	19.8	13.4	26.3	12.2		13.0
	借入をしな(%)	72.2	87.0	78.7	88.6	71.0	92.1	74.7	90.7	78.9	95.1	76.8	89.4	78.0	86.8	80.2	86.6	73.7	87.8		87.0
	借入難易度	-5.5		-5.6		-7.0		-6.9		-20.9		-15.9		-5.3		-14.6		-16.5			
有効回答事業所数	92		96		105		91		72		99		119		94		78				

小売業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)			
	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期								
設備	現在の設備	-22.9	-13.2	-16.3	-24.1	-11.7	-19.3	-13.4	-11.8	-11.1	-16.0	-13.7	-9.5	-5.6	-14.7	-15.6	-6.8	-16.2	-14.8	-16.4	
投資	実施した	47.6	38.5	37.5	38.1	36.1	34.7	30.6	29.7	31.9	27.4	32.9	35.4	41.0	35.6	31.3	32.5	21.4	35.4	22.6	
投資動向(%)	事業用地・建物	4.8	5.1	0.0	4.8	6.9	2.0	6.5	5.4	8.5	4.8	4.1	8.3	6.0	2.7	3.0	6.3	3.6	6.2	3.8	
	機械・設備の新・増設	14.3	10.3	10.4	11.9	5.6	16.3	8.1	8.1	2.1	4.8	5.5	12.5	8.4	6.8	6.0	10.0	1.8	12.3	1.9	
	機械・設備の更改	21.4	17.9	16.7	23.8	18.1	14.3	12.9	13.5	17.0	11.3	8.2	10.4	15.7	6.8	10.4	11.3	7.1	10.8	11.3	
	事務機器	16.7	10.3	22.9	14.3	22.2	16.3	16.1	12.2	10.6	14.5	23.3	16.7	18.1	20.5	13.4	11.3	10.7	12.3	7.5	
	車両	4.8	20.5	14.6	14.3	12.5	12.2	8.1	9.5	8.5	9.7	11.0	10.4	13.3	8.2	11.9	12.5	12.5	13.8	15.1	
その他	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.4	1.4	3.0	2.5	3.6	0.0	3.8		
	実施しない	52.4	61.5	62.5	61.9	63.9	65.3	69.4	70.3	68.1	72.6	67.1	64.6	59.0	64.4	68.7	67.5	78.6	64.6	77.4	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	64.8		63.2		57.0		59.6		44.3		63.2		53.2		53.9		59.2			
	人手不足	25.0		26.4		15.0		21.3		21.4		22.1		20.7		21.3		15.8			
	大手企業・大型店との競争の激化	10.2		17.2		14.0		13.5		12.9		13.7		9.9		12.4		13.2			
	同業者間の競争の激化	12.5		13.8		19.0		13.5		17.1		14.7		9.9		19.1		19.7			
	流通経路の変化による競争の激化	4.5		3.4		3.0		2.2		2.9		1.1		3.6		6.7		2.6			
	合理化の不足	1.1		1.1		4.0		2.2		1.4		2.1		1.8		3.4		0.0			
	利幅の縮小	21.6		29.9		25.0		30.3		25.7		18.9		24.3		33.7		25.0			
	小口注文・多頻度配達増加	0.0		2.3		1.0		0.0		0.0		0.0		5.4		3.4		3.9			
	販売商品の不足	6.8		6.9		11.0		11.2		5.7		12.6		5.4		9.0		2.6			
	原材料価格・材料価格の上昇	21.6		23.0		33.0		29.2		34.3		32.6		28.8		24.7		27.6			
	販売納入先からの値下げ要請	1.1		0.0		0.0		1.1		1.4		1.1		0.9		1.1		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	15.9		13.8		18.0		24.7		18.6		25.3		26.1		18.0		13.2			
	人件費の増加	19.3		14.9		18.0		21.3		24.3		22.1		24.3		22.5		23.7			
	人件費以外の経費増加	12.5		11.5		6.0		5.6		5.7		10.5		11.7		7.9		11.8			
	工場・店舗の狭小・老朽化	3.4		2.3		3.0		3.4		2.9		2.1		1.8		1.1		2.6			
	生産能力・技術力の不足	2.3		4.6		1.0		2.2		0.0		2.1		2.7		1.1		1.3			
	取引先の減少	11.4		12.6		12.0		7.9		10.0		9.5		14.4		13.5		13.2			
	商店街の集客力の低下	10.2		13.8		12.0		12.4		12.9		8.4		9.9		4.5		0.0			
	下請の確保難	0.0		2.3		1.0		3.4		0.0		1.1		0.0		0.0		1.3			
	駐車場・資材置場の確保難	0.0		0.0		1.0		0.0		2.9		1.1		1.8		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	その他	2.3		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		4.5		2.6			
	問題なし	3.4		1.1		3.0		2.2		5.7		1.1		2.7		0.0		2.6			
	重点経営施策(%)	販路を広げる	31.8		32.2		39.6		24.1		27.9		38.5		33.3		32.6		38.4		
		経費を削減する	43.2		54.0		38.6		33.7		33.8		45.8		32.4		43.8		46.6		
品揃えを充実させる		23.9		25.3		17.8		22.9		35.3		26.0		21.6		25.8		31.5			
情報力・宣伝・広報を強化する		17.0		10.3		16.8		15.7		13.2		17.7		15.3		7.9		9.6			
新製品・技術を開発する		5.7		2.3		9.9		7.2		2.9		4.2		9.0		5.6		1.4			
新しい工法を導入する		1.1		1.1		1.0		1.2		0.0		3.1		1.8		1.1		0.0			
新しい事業を始める		8.0		11.5		10.9		4.8		2.9		5.2		9.0		10.1		6.8			
不採算部門を整理・縮小する		2.3		1.1		1.0		3.6		4.4		3.1		3.6		6.7		2.7			
店舗・設備を改装する		6.8		5.7		4.0		7.2		7.4		3.1		3.6		4.5		2.7			
仕入先・提携先を開拓・選別する		9.1		4.6		14.9		13.3		14.7		17.7		9.9		12.4		16.4			
営業時間を延長する		2.3		1.1		2.0		2.4		2.9		3.1		0.0		4.5		1.4			
赤れん商品を取扱う		17.0		19.5		22.8		18.1		20.6		24.0		18.0		21.3		20.5			
商店街事業を活性化させる		1.1		9.2		5.0		10.8		10.3		7.3		5.4		0.0		4.1			
機械化を推進する		1.1		3.4		0.0		1.2		1.5		2.1		2.7		3.4		2.7			
技術力を強化する		6.8		4.6		5.0		6.0		7.4		1.0		4.5		5.6		2.7			
人材を確保する		25.0		23.0		17.8		22.9		19.1		14.6		18.0		15.7		16.4			
パート化を図る		2.3		0.0		5.0		1.2		1.5		3.1		3.6		2.2		0.0			
教育訓練を強化する		3.4		3.4		3.0		4.8		2.9		2.1		2.7		0.0		0.0			
労働条件を改善する		3.4		1.1		6.9		6.0		2.9		8.3		4.5		1.1		5.5			
工場・機械を増設・移転する		1.1		0.0		0.0		1.2		0.0		1.0		0.9		1.1		0.0			
流通経路の見直しをする		2.3		4.6		3.0		3.6		2.9		2.1		2.7		2.2		1.4			
取引先を支援する		2.3		2.3		1.0		1.2		0.0		1.0		1.8		1.1		0.0			
輸入品の取扱いを増やす		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		0.0		2.7		0.0		1.4			
不動産の有効活用を図る		3.4		2.3		2.0		2.4		1.5		1.0		2.7		3.4		0.0			
その他		1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		3.4		2.7			
特になし	6.8		6.9		8.9		9.6		14.7		5.2		14.4		3.4		6.8				
有効回答事業所数	92		96		105		91		72		99		119		94		78				

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月～12月期

サービス業
 地域名:葛飾区
 中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期			10～12月期
業況	良い	6.1	9.0	9.4	8.2	8.4	9.8	13.5	6.5	12.5	12.4	9.2	10.1	12.7	11.3	10.0	9.0	9.3	10.1		8.7
	普通	67.5	67.0	53.2	58.2	59.7	55.6	50.9	66.7	59.2	59.0	52.0	53.4	51.2	52.7	54.7	56.6	53.0	54.7		53.0
	悪い	26.3	24.0	37.4	33.6	31.8	34.6	35.6	26.8	28.3	28.6	38.8	36.5	36.1	36.0	35.3	34.3	37.7	35.1		38.3
	D・I	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-23.4	-24.8	-22.1	-20.3	-15.8	-16.2	-29.6	-26.4	-23.4	-24.7	-25.3	-25.3	-28.4	-25.0	-3.1	
売上額	増加	27.0	17.8	17.1	14.0	15.6	17.0	22.8	14.4	22.4	16.3	16.3	15.5	16.7	17.8	17.3	10.2	19.9	20.9		15.5
	変わらず	54.8	60.4	45.7	57.0	48.1	54.1	47.5	56.9	48.0	55.6	40.5	49.3	45.2	46.7	48.0	57.2	48.3	47.3		52.7
	減少	18.3	21.8	37.1	28.9	36.4	28.9	29.6	28.8	29.6	28.1	43.1	35.1	38.1	35.5	34.7	32.5	31.8	31.8		31.8
	D・I	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-20.8	-11.9	-6.8	-14.4	-7.2	-11.8	-26.8	-19.6	-21.4	-17.7	-17.4	-22.3	-11.9	-10.9	5.5	
収益	増加	20.0	13.0	12.9	7.0	14.6	14.1	19.5	14.8	18.7	14.5	16.4	14.6	15.7	15.0	14.7	8.4	15.2	15.5		12.2
	変わらず	53.0	56.0	41.4	57.0	39.7	43.0	39.6	51.0	42.7	49.1	38.2	43.8	43.4	43.8	44.0	55.4	46.4	46.6		48.6
	減少	27.0	31.0	45.7	36.0	45.7	43.0	40.9	34.2	38.7	36.5	45.4	41.7	41.0	41.2	41.3	36.1	38.4	37.8		39.2
	D・I	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-31.1	-28.9	-21.4	-19.4	-20.0	-22.0	-29.0	-27.1	-25.3	-26.2	-26.6	-27.7	-23.2	-22.3	3.4	
料金価格	上昇	17.9	13.1	17.9	14.4	19.3	17.0	13.8	18.2	20.3	19.7	15.9	15.1	23.2	17.2	19.5	17.8	20.0	19.2		12.8
	変わらず	78.6	79.8	75.0	81.1	70.7	74.4	77.4	71.6	73.6	70.1	74.8	74.0	70.1	72.2	73.2	76.1	75.3	74.7		81.1
	下降	3.6	7.1	7.1	4.5	10.0	12.6	8.8	10.1	6.1	10.2	9.3	11.0	6.7	10.6	7.4	6.1	4.7	6.2		6.1
	D・I	14.3	6.0	10.8	9.9	9.3	4.4	5.0	8.1	14.2	9.5	6.6	4.1	16.5	6.6	12.1	11.7	15.3	13.0	3.2	
材料価格	上昇	47.4	45.1	58.6	45.9	57.3	54.8	60.4	52.3	53.3	58.0	59.9	53.0	51.6	61.3	57.1	45.4	45.7	52.2		42.0
	変わらず	49.5	50.5	35.2	52.0	35.9	39.5	37.5	42.3	41.5	39.9	36.5	38.6	43.8	33.6	40.0	49.3	52.1	44.9		54.3
	下降	3.1	4.4	6.3	2.0	6.9	5.6	2.1	5.4	5.2	2.1	3.6	8.3	4.6	5.1	2.9	5.3	2.1	2.9		3.6
	D・I	44.3	40.7	52.3	43.9	50.4	49.2	58.3	46.9	48.1	55.9	56.3	44.7	47.0	56.2	54.2	40.1	43.6	49.3	-10.6	
資金繰り	楽	3.6	5.9	1.4	2.8	5.3	2.2	9.9	5.3	5.3	6.2	6.7	6.2	7.1	6.6	5.4	6.5	7.3	6.1		5.4
	変わらず	75.7	68.3	69.1	69.7	65.1	65.9	64.0	68.0	67.3	67.7	61.3	65.1	67.9	63.6	67.3	66.7	62.7	66.7		64.4
	苦しい	20.7	25.7	29.5	27.5	29.6	31.9	26.1	26.7	27.3	26.1	32.0	28.8	25.0	29.8	27.2	26.8	30.0	27.2		30.2
	D・I	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-24.3	-29.7	-16.2	-21.4	-22.0	-19.9	-25.3	-22.6	-17.9	-23.2	-21.8	-20.3	-22.7	-21.1	-0.9	
前年同月比	売上額	8.9		-4.2		-11.6		2.8		-2.2		-7.9		-10.6		-7.8		-15.5			
	収益	-8.9		-26.5		-24.0		-15.0		-23.9		-26.1		-27.3		-27.2		-23.3			
雇用	前年比残業時間	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1	1.3	-9.7	-3.7	-2.6	0.7	-4.3	-9.3	-8.8	-9.6	-3.9	-8.6	-9.1	-9.3	0.0		-14.1
	人手	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7	-43.8	-42.9	-43.9	-44.1	-37.7	-38.5	-35.3	-40.5	-37.7	-39.3	-36.3	-41.8	-32.2	-36.3		-32.9
借入金	借入をした(%)	23.9	8.3	24.3	13.6	28.5	9.6	26.1	13.5	25.7	11.7	30.3	15.4	24.7	13.5	25.7	15.2	19.9	12.3		14.0
	借入をしない(%)	76.1	91.7	75.7	86.4	71.5	90.4	73.9	86.5	74.3	88.3	69.7	84.6	75.3	86.5	74.3	84.8	80.1	87.7		86.0
	借入難易度	-12.7		-10.9		-10.0		-13.2		-17.5		-11.6		-13.3		-13.4		-9.4			
有効回答事業所数	115		140		155		164		152		153		168		150		152				

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)		
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期						
設備投資 投資 内容 (%)	現在の設備	-15.9	-8.1	-15.2	-15.1	-14.7	-16.3	-13.9	-16.7	-14.7	-14.5	-17.5	-17.7	-17.7	-17.0	-10.2	-22.8	-12.1	-12.9	-11.1
	実施した	32.4	36.8	33.3	36.2	41.3	40.2	43.9	35.3	45.2	45.9	37.3	41.0	42.9	35.3	35.2	36.4	36.4	35.7	38.8
	事業用地・建物	4.4	4.4	1.0	4.3	5.0	2.1	4.5	4.2	6.1	6.7	9.3	11.1	4.3	5.9	1.6	6.4	3.9	4.7	5.4
	機械・設備の新・増設	10.3	5.9	4.2	8.7	5.0	6.2	5.3	5.9	8.7	5.9	2.5	8.5	5.0	9.2	4.7	5.7	7.0	3.9	8.5
	機械・設備の更改	8.8	8.8	9.4	11.6	8.3	8.2	7.6	9.2	10.4	11.1	7.6	9.4	12.9	7.6	5.5	10.0	3.1	7.8	7.0
	事務機器	11.8	14.7	14.6	7.2	15.7	16.5	20.5	10.1	14.8	15.6	19.5	11.1	13.6	16.0	14.8	10.7	14.7	15.5	13.2
	車両	14.7	17.6	19.8	14.5	19.8	21.6	27.3	21.8	25.2	27.4	17.8	22.2	21.4	19.3	19.5	15.7	17.1	18.6	17.1
	その他	1.5	1.5	0.0	4.3	0.8	1.0	1.5	0.0	0.9	2.2	1.7	0.9	2.9	0.0	1.6	2.1	1.6	2.3	1.6
	実施しない	67.6	63.2	66.7	63.8	58.7	59.8	56.1	64.7	54.8	54.1	62.7	59.0	57.1	64.7	64.8	63.6	64.3	64.3	61.2
	経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	37.5		36.6		43.2		38.5		39.9		45.0		44.9		42.5		47.0	
人手不足		34.6		40.3		43.2		36.6		35.8		30.9		37.1		32.2		30.5		
大手企業・大型店との競争の激化		2.9		3.0		3.4		1.2		2.0		4.0		3.0		4.1		3.3		
同業者間の競争の激化		8.7		12.7		9.5		14.9		14.2		14.1		12.0		14.4		13.9		
流通経路の変化による競争の激化		1.0		0.0		0.7		1.2		0.0		0.7		0.6		0.0		0.0		
合理化の不足		5.8		4.5		2.7		5.0		4.1		1.3		3.6		2.1		4.6		
利幅の縮小		26.0		24.6		18.9		19.3		22.3		20.1		23.4		21.2		26.5		
小口注文・多頻度配送の増加		2.9		0.7		0.0		0.6		1.4		0.0		0.6		0.0		0.0		
販売商品の不足		1.0		2.2		1.4		2.5		2.0		4.7		3.0		3.4		0.7		
原材料価格・材料価格の上昇		26.9		20.9		31.8		24.8		25.7		28.9		26.9		26.0		20.5		
販売納入先からの値下げ要請		1.0		0.0		0.7		0.0		0.0		2.0		0.0		1.4		0.0		
仕入先からの値上げ要請		6.7		9.7		6.8		6.8		2.7		4.0		6.0		6.2		3.3		
人件費の増加		26.0		32.8		25.7		27.3		32.4		30.2		32.9		34.9		33.1		
人件費以外の経費増加		22.1		21.6		16.9		14.3		16.9		14.8		17.4		14.4		17.9		
工場・店舗の狭小・老朽化		3.8		0.7		4.1		4.3		2.7		3.4		1.8		1.4		0.7		
生産能力・技術力の不足		5.8		4.5		6.1		5.0		4.7		3.4		4.2		4.8		2.6		
取引先の減少		11.5		11.9		4.7		9.3		14.2		12.1		13.8		11.0		10.6		
商店街の集客力の低下		1.9		1.5		1.4		0.6		0.7		1.3		0.0		0.7		0.0		
下請の確保難		3.8		2.2		5.4		1.9		2.0		2.7		1.8		3.4		4.0		
駐車場・資材置場の確保難		1.9		3.0		2.0		3.7		0.7		1.3		0.6		1.4		0.7		
大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.7			
その他	1.0		3.0		0.7		0.0		1.4		2.0		1.2		2.1		3.3			
問題なし	8.7		6.7		6.1		9.9		8.1		12.8		9.0		10.3		9.9			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	32.1		28.9		25.7		24.5		26.0		28.9		29.7		27.8		33.6		
	経費を削減する	46.2		40.0		41.2		37.7		45.3		41.6		41.8		41.7		38.9		
	品揃えを充実させる	2.8		3.7		3.4		3.8		3.3		4.0		5.5		4.9		3.4		
	情報力・宣伝・広報を強化する	15.1		13.3		14.2		18.2		14.7		16.8		13.3		18.8		15.4		
	新製品・技術を開発する	4.7		6.7		2.7		3.8		5.3		2.7		4.2		4.9		2.7		
	新しい工法を導入する	1.9		0.7		3.4		2.5		0.7		2.0		2.4		0.7		4.0		
	新しい事業を始める	14.2		8.9		8.8		13.2		12.0		12.1		13.9		11.1		10.7		
	不採算部門を整理・縮小する	3.8		2.2		3.4		2.5		4.7		1.3		3.6		6.3		1.3		
	店舗・設備を改装する	5.7		3.7		5.4		1.9		4.7		3.4		2.4		2.1		2.7		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	10.4		7.4		8.8		10.7		10.0		11.4		12.1		8.3		9.4		
	営業時間を延長する	1.9		1.5		3.4		3.8		2.0		2.7		3.0		2.1		2.0		
	赤れんが商品を取扱う	3.8		5.9		4.7		1.3		1.3		2.0		4.2		3.5		2.7		
	商店街事業を活性化させる	1.9		2.2		2.0		0.6		0.0		3.4		0.6		0.0		2.0		
	機械化を推進する	2.8		3.7		3.4		3.1		3.3		3.4		3.6		2.8		2.0		
	技術力を強化する	16.0		16.3		10.8		14.5		15.3		14.8		12.7		13.9		13.4		
	人材を確保する	36.8		40.7		38.5		33.3		32.7		29.5		33.3		37.5		33.6		
	パート化を図る	0.9		0.0		2.7		1.3		1.3		2.0		3.0		1.4		1.3		
	教育訓練を強化する	11.3		11.1		10.8		8.2		8.7		8.1		6.1		6.3		6.0		
	労働条件を改善する	6.6		9.6		12.8		8.2		11.3		6.7		8.5		9.0		6.7		
	工場・機械を増設・移転する	0.0		0.7		0.0		1.3		0.0		0.7		0.6		0.0		0.7		
流通経路の見直しをする	0.0		0.7		0.7		1.3		1.3		0.7		0.6		0.0		1.3			
取引先を支援する	0.9		0.0		1.4		0.6		0.7		0.0		2.4		2.8		1.3			
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.7		0.6		0.0		0.0			
不動産の有効活用を図る	0.9		1.5		0.0		0.6		0.7		0.7		0.6		0.0		1.3			
その他	0.9		2.2		2.0		0.6		3.3		2.0		0.6		1.4		1.3			
特になし	8.5		9.6		10.1		13.8		12.0		16.8		10.9		12.5		11.4			
有効回答事業数	115		140		155		164		152		153		168		150		152			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月～12月期

建設業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期				
業況	良い	12.8	10.0	12.1	7.7	10.6	8.3	13.4	8.4	16.9	10.1	15.5	12.0	10.0	13.9	14.3	5.7	14.2	9.2		10.6
	普通	58.8	54.0	53.0	58.7	53.6	62.1	55.0	58.4	61.0	60.8	58.5	63.2	61.9	48.9	51.9	62.4	61.5	58.4		62.9
	悪い	28.4	36.0	34.9	33.6	35.8	29.7	31.5	33.1	22.1	29.1	26.1	24.8	28.1	37.2	33.9	31.8	24.3	32.4		26.5
	D・I	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-25.2	-21.4	-18.1	-24.7	-5.2	-19.0	-10.6	-12.8	-18.1	-23.3	-19.6	-26.1	-10.1	-23.2	9.5	-15.9
売上額	増加	17.7	16.9	17.3	10.9	16.3	18.5	18.8	15.0	24.3	12.8	20.4	14.7	13.8	12.9	16.4	13.1	16.4	16.2		13.5
	変わらず	50.3	52.0	45.3	51.7	43.3	49.3	51.0	52.2	47.1	55.7	45.8	52.9	51.3	54.3	49.7	52.5	52.0	56.8		57.3
	減少	32.0	31.1	37.3	37.4	40.4	32.2	30.2	32.8	28.7	31.5	33.8	32.4	35.0	32.9	33.9	34.4	31.6	27.0		29.2
	D・I	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-24.1	-13.7	-11.4	-17.8	-4.4	-18.7	-13.4	-17.7	-21.2	-20.0	-17.5	-21.3	-15.2	-10.8	2.3	-15.7
受注残	増加	18.8	16.2	12.2	16.1	12.4	13.8	14.8	16.1	17.2	14.1	14.4	13.5	8.1	11.7	12.2	10.6	13.5	12.2		11.2
	変わらず	47.9	54.1	53.4	48.3	47.2	57.2	61.1	51.7	55.2	59.1	47.5	57.1	55.0	56.9	55.6	55.3	59.6	58.5		59.2
	減少	33.3	29.7	34.5	35.7	40.4	29.0	24.2	32.2	27.6	26.8	38.1	29.3	36.9	31.4	32.3	34.2	26.9	29.3		29.6
	D・I	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-28.0	-15.2	-9.4	-16.1	-10.4	-12.7	-23.7	-15.8	-28.8	-19.7	-20.1	-23.6	-13.4	-17.1	6.7	-18.4
施工高	増加	18.5	20.5	13.4	15.9	16.2	15.0	19.7	17.9	23.7	15.8	21.6	14.8	12.4	12.4	17.6	10.6	14.6	16.6		11.2
	変わらず	47.9	49.7	52.3	47.6	42.5	54.4	53.1	50.3	51.1	53.4	43.9	51.1	49.1	53.3	49.5	50.3	55.0	54.5		57.6
	減少	33.6	29.8	34.2	36.6	41.3	30.6	27.2	31.8	25.2	30.8	34.5	34.1	38.5	34.3	33.0	39.1	30.4	28.9		31.2
	D・I	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-25.1	-15.6	-7.5	-13.9	-1.5	-15.0	-12.9	-19.3	-26.1	-21.9	-15.4	-28.5	-15.8	-12.3	-0.4	-20.0
収益	増加	18.2	16.4	10.0	12.9	14.0	11.5	18.9	15.6	24.3	12.8	15.7	12.4	13.0	9.4	14.3	11.8	15.7	12.8		10.1
	変わらず	43.9	48.0	50.0	44.9	42.1	50.7	50.7	45.8	44.1	56.1	45.7	48.9	43.5	50.7	42.9	47.2	50.6	49.7		56.2
	減少	37.8	35.5	40.0	42.2	43.8	37.8	30.4	38.5	31.6	31.1	38.6	38.7	43.5	39.9	42.9	41.0	33.7	37.4		33.7
	D・I	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-29.8	-26.3	-11.5	-22.9	-7.3	-18.3	-22.9	-26.3	-30.5	-30.5	-28.6	-29.2	-18.0	-24.6	10.6	-23.6
請負価格	上昇	17.0	21.3	17.2	15.8	18.8	18.8	18.9	21.2	21.9	17.8	15.1	15.3	16.4	13.0	12.8	17.0	16.3	14.0		17.8
	変わらず	66.7	60.0	67.5	65.1	63.6	64.4	66.2	65.4	64.2	65.8	64.0	68.6	66.7	64.5	71.7	66.0	68.0	70.4		66.9
	下降	16.3	18.7	15.2	19.2	17.6	16.8	14.9	13.4	13.9	16.4	20.9	16.1	17.0	22.5	15.5	17.0	15.7	15.6		15.4
	D・I	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.2	2.0	4.0	7.8	8.0	1.4	-5.8	-0.8	-0.6	-9.5	-2.7	0.0	0.6	-1.6	3.3	2.4
材料価格	上昇	67.9	61.4	65.3	57.4	61.5	61.6	65.1	60.9	65.9	63.4	62.1	61.9	64.6	65.2	60.3	58.9	59.4	61.2		58.1
	変わらず	28.5	34.5	30.6	36.8	35.1	34.9	30.8	36.8	30.4	30.3	32.9	32.8	32.9	30.4	36.4	38.6	38.2	34.4		38.9
	下降	3.6	4.1	4.1	5.9	3.4	3.4	4.1	2.3	3.7	6.2	5.0	5.2	2.5	4.3	3.3	2.5	2.4	4.4		3.0
	D・I	64.3	57.3	61.2	51.5	58.1	58.2	61.0	58.6	62.2	57.2	57.1	56.7	62.1	60.9	57.0	56.4	57.0	58.8	0.0	55.1
在庫	過剰	6.7	8.5	6.5	6.0	5.9	6.5	4.1	5.9	5.6	4.1	4.4	5.6	5.8	5.2	2.8	5.2	6.0	2.8		5.5
	適正	82.2	83.0	82.0	83.6	88.8	79.7	91.0	87.1	88.1	91.7	85.4	85.7	89.7	84.4	93.3	87.7	88.1	91.1		86.7
	不足	11.1	8.5	11.5	10.4	5.3	13.8	4.8	7.1	6.3	4.1	10.2	8.7	4.5	10.4	3.9	7.1	6.0	6.1		7.9
	D・I	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	0.6	-7.3	-0.7	-1.2	-0.7	0.0	-5.8	-3.1	1.3	-5.2	-1.1	-1.9	0.0	-3.3	1.1	-2.4
資金繰り	楽	9.0	5.4	5.3	6.9	6.9	6.6	5.4	6.9	7.4	5.4	7.1	5.9	5.0	7.2	9.1	2.5	5.3	5.4		5.3
	変わらず	58.6	63.8	65.8	57.6	64.9	62.9	66.2	62.1	66.9	67.3	63.6	64.7	69.8	63.8	65.1	70.3	68.4	66.7		68.2
	苦しい	32.4	30.9	28.9	35.4	28.2	30.5	28.4	31.0	25.7	27.2	29.3	29.4	25.2	29.0	25.8	27.2	26.3	28.0		26.5
	D・I	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-21.3	-23.9	-23.0	-24.1	-18.3	-21.8	-22.2	-23.5	-20.2	-21.8	-16.7	-24.7	-21.0	-22.6	-4.3	-21.2
前年	売上額	-16.6		-20.4		-10.8		-5.4		1.6		-15.2		-17.4		-10.3		-3.2			
	収益	-31.5		-27.5		-25.9		-17.9		-20.0		-24.8		-33.1		-25.5		-14.7			
雇用	前年比残業時間	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7	-28.5	-15.9	-14.2	-18.4	-12.6	-12.2	-10.8	-7.5	-15.0	-13.3	-10.3	-11.9	-11.6	-7.5		-11.3
	人手	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6	-48.6	-61.1	-56.7	-52.5	-63.4	-60.1	-58.0	-59.0	-54.1	-59.2	-50.0	-55.0	-53.5	-54.8		-54.4
借入金	借入をした(%)	38.6	22.8	42.4	20.1	38.1	21.3	36.8	20.5	33.8	16.5	38.6	17.8	37.6	16.3	31.4	17.5	34.1	14.6		18.9
	借入をしない(%)	61.4	77.2	57.6	79.9	61.9	78.7	63.2	79.5	66.2	83.5	61.4	82.2	62.4	83.7	68.6	82.5	65.9	85.4		81.1
	借入難易度	-3.5		-9.5		-4.6		-6.2		-2.2		-2.9		-1.9		-2.2		-4.2			
有効回答事業所数	148		153		180		149		137		142		161		189		172				

建設業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)		
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期						
設備投資 助向 内容 (%)	現在の設備 実施した	-9.4	-8.2	-11.5	-10.8	-13.8	-11.0	-9.6	-15.0	-12.1	-9.0	-9.7	-12.8	-12.3	-13.4	-5.5	-12.4	-10.6	-7.7	-10.0
	事業用地・建物	44.8	45.1	45.5	37.5	48.7	46.5	37.2	42.5	60.0	38.8	47.1	53.1	42.6	44.9	44.9	38.8	43.4	38.2	43.0
	機械・設備の新・増設	7.6	8.8	6.9	5.8	8.7	8.1	5.0	7.2	7.0	7.4	2.5	6.2	5.9	5.1	8.2	6.7	6.6	5.1	8.1
	機械・設備の更改	11.4	9.8	11.9	8.7	12.0	15.2	9.9	8.5	10.4	8.3	8.4	13.3	6.6	13.6	8.9	5.2	10.5	8.3	8.7
	事務機器	8.6	10.8	16.8	6.7	14.0	15.2	9.1	13.1	13.0	5.8	12.6	9.7	8.8	10.2	8.9	6.0	7.2	7.0	8.1
	車両	16.2	15.7	18.8	12.5	16.7	15.2	16.5	13.1	26.1	15.7	20.2	23.9	17.6	10.2	17.1	14.2	17.8	11.5	13.4
	その他	28.6	27.5	25.7	26.0	24.0	30.3	20.7	22.2	35.7	23.1	24.4	31.0	25.7	27.1	22.2	26.1	22.4	23.6	24.8
	実施しない	0.0	2.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.7	1.3	0.0	0.7
		55.2	54.9	54.5	62.5	51.3	53.5	62.8	57.5	40.0	61.2	52.9	46.9	57.4	55.1	61.2	56.6	61.8		
	経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	29.3		33.6		42.9		29.5		27.1		33.1		31.8		37.9		31.0	
人手不足		57.9		56.6		47.6		56.2		55.6		56.8		51.9		50.5		54.2		
大手企業・大型店との競争の激化		0.7		1.4		1.2		2.1		0.8		1.4		2.6		2.2		2.4		
同業者間の競争の激化		13.6		12.6		10.6		12.3		11.3		13.7		11.0		11.0		9.5		
流通経路の変化による競争の激化		0.0		0.7		0.0		0.7		0.8		0.0		0.6		2.2		0.0		
合理化の不足		2.9		1.4		2.4		1.4		3.0		1.4		1.3		2.2		1.2		
利幅の縮小		21.4		23.8		18.8		21.9		18.8		20.1		15.6		18.1		14.9		
小口注文・多頻度配送の増加		0.0		0.7		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		0.6		
販売商品の不足		0.7		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0		0.6		
原材料価格・材料価格の上昇		39.3		35.0		45.3		43.2		39.8		42.4		43.5		38.5		39.3		
販売納入先からの値下げ要請		0.0		1.4		0.6		1.4		0.0		0.0		0.6		1.6		3.0		
仕入先からの値上げ要請		4.3		6.3		6.5		7.5		6.8		5.8		7.1		8.2		10.1		
人件費の増加		23.6		28.7		27.6		26.7		28.6		22.3		27.9		25.8		28.0		
人件費以外の経費増加		15.0		9.8		10.6		11.0		11.3		14.4		12.3		13.2		13.1		
工場・店舗の狭小・老朽化		0.0		2.8		1.2		1.4		0.8		1.4		1.9		1.1		1.2		
生産能力・技術力の不足		8.6		2.1		9.4		6.8		9.8		3.6		2.6		4.4		4.8		
取引先の減少		5.7		8.4		8.8		6.8		7.5		5.0		7.8		6.6		11.3		
商店街の集客力の低下		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
下請の確保難		20.0		21.7		14.7		19.2		15.0		21.6		16.2		12.1		17.3		
駐車場・資材置場の確保難		6.4		4.2		5.3		7.5		5.3		4.3		7.8		3.8		7.1		
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.7		0.0		1.4		0.0		0.0		0.6			
その他	1.4		3.5		2.9		2.1		1.5		2.9		0.0		0.5		0.0			
問題なし	2.9		4.2		2.9		4.1		4.5		5.8		5.2		4.9		3.6			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	18.7		25.2		24.4		20.0		24.4		22.5		25.6		24.0		25.6		
	経費を削減する	43.9		39.9		39.3		42.8		40.5		40.6		42.9		41.5		37.5		
	品揃えを充実させる	0.0		0.0		1.2		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		
	情報力・宣伝・広報を強化する	6.5		8.4		6.0		6.9		7.6		6.5		9.6		9.8		9.5		
	新製品・技術を開発する	0.7		2.1		0.0		0.7		0.8		0.7		1.3		1.1		1.8		
	新しい工法を導入する	4.3		2.1		2.4		3.4		3.8		2.9		3.8		4.9		5.4		
	新しい事業を始める	6.5		7.0		10.7		6.9		6.1		8.7		11.5		12.0		8.9		
	不採算部門を整理・縮小する	3.6		2.1		3.6		1.4		0.8		3.6		1.3		2.2		0.6		
	店舗・設備を改装する	0.0		0.0		0.0		2.1		0.8		0.0		1.9		0.5		3.0		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.4		11.9		19.0		17.9		18.3		18.8		12.2		16.4		12.5		
	営業時間を延長する	0.7		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0		0.6		0.0		0.0		
	売れ筋商品を取扱う	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.5		0.0		
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.5		0.0		
	機械化を推進する	1.4		0.7		2.4		4.1		4.6		2.9		1.9		2.2		0.0		
	技術力を強化する	23.7		22.4		30.4		28.3		26.0		26.1		23.7		21.3		23.8		
	人材を確保する	54.7		60.1		50.6		56.6		53.4		55.1		57.1		51.9		51.8		
	パート化を図る	0.7		0.0		1.2		0.7		0.8		0.0		0.6		0.5		0.0		
	教育訓練を強化する	12.2		7.7		8.9		11.0		13.0		13.8		9.6		9.3		8.3		
	労働条件を改善する	18.7		14.0		14.9		15.2		12.2		14.5		11.5		8.7		13.1		
	工場・機械を増設・移転する	1.4		1.4		0.6		0.7		1.5		0.7		0.6		0.5		0.6		
流通経路の見直しをする	0.7		0.0		0.6		0.0		1.5		0.0		0.0		0.5		0.6			
取引先を支援する	2.2		0.0		3.0		2.1		0.8		3.6		0.6		1.1		1.8			
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
不動産の有効活用を図る	0.7		2.1		2.4		0.0		2.3		0.7		1.9		1.1		1.8			
その他	1.4		1.4		0.0		2.8		0.8		1.4		0.0		0.0		0.6			
特になし	10.8		10.5		7.7		8.3		6.9		5.8		7.1		10.9		9.5			
有効回答事業所数	148		153		180		149		137		142		161		189		172			

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年10月～12月期

不動産業
地域名:葛飾区
中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期		10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期				
業況	良い	6.3	2.0	5.3	4.1	3.6	3.8	6.5	1.9	8.5	5.9	7.8	1.8	9.2	4.1	4.5	4.9	7.8	4.7		3.7
	普通	70.9	79.2	71.7	74.3	73.6	73.3	75.0	71.8	74.6	75.6	74.4	80.4	72.5	77.2	73.1	71.3	73.9	71.1		74.8
	悪い	22.8	18.8	23.0	21.6	22.7	22.9	18.5	26.2	16.9	18.5	17.8	17.9	18.3	18.7	22.4	23.8	18.3	24.2		21.5
	D・I	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-19.1	-19.1	-12.0	-24.3	-8.4	-12.6	-10.0	-16.1	-9.1	-14.6	-17.9	-18.9	-10.5	-19.5	7.4	-17.8
売上額	増加	5.1	6.8	7.1	2.7	7.3	6.4	7.3	6.5	13.4	6.8	13.2	6.2	11.4	10.2	6.7	5.7	7.8	9.3		2.8
	変わらず	74.4	69.9	68.1	74.7	70.0	74.5	74.0	69.4	67.2	71.2	69.0	72.6	66.7	72.7	70.1	70.7	74.8	69.0		74.3
	減少	20.5	23.3	24.8	22.7	22.7	19.1	18.7	24.1	19.3	22.0	17.8	21.2	22.0	17.2	23.1	23.6	17.4	21.7		22.9
	D・I	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-15.4	-12.7	-11.4	-17.6	-5.9	-15.2	-4.6	-15.0	-10.6	-7.0	-16.4	-17.9	-9.6	-12.4	6.8	-20.1
収益	増加	8.9	6.8	4.6	2.6	6.5	5.7	7.4	7.5	10.2	7.6	11.9	3.6	12.3	11.3	7.0	7.4	7.1	9.8		4.7
	変わらず	63.3	66.0	64.2	68.4	69.2	70.5	66.9	67.0	66.1	65.3	57.1	67.9	60.0	62.9	65.6	60.7	69.0	61.0		65.4
	減少	27.8	27.2	31.2	28.9	24.3	23.8	25.6	25.5	23.7	27.1	31.0	28.6	27.7	25.8	27.3	32.0	23.9	29.3		29.9
	D・I	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-17.8	-18.1	-18.2	-18.0	-13.5	-19.5	-19.1	-25.0	-15.4	-14.5	-20.3	-24.6	-16.8	-19.5	3.5	-25.2
販売価格	上昇	9.6	7.1	6.0	9.7	12.9	10.4	11.4	11.1	12.5	15.0	10.0	10.3	14.8	12.7	10.9	13.0	8.5	11.2		11.5
	変わらず	80.8	74.7	79.0	79.2	76.2	75.0	79.8	75.8	81.3	72.6	79.2	83.2	77.0	79.7	84.0	75.7	84.9	80.2		81.7
	下降	9.6	18.2	15.0	11.1	10.9	14.6	8.8	13.1	6.3	12.4	10.8	6.5	8.2	7.6	5.0	11.3	6.6	8.6		6.7
	D・I	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	2.0	-4.2	2.6	-2.0	6.2	2.6	-0.8	3.8	6.6	5.1	5.9	1.7	1.9	2.6	-4.0	4.8
仕入価格	上昇	37.3	28.7	33.7	34.2	41.6	32.3	30.8	38.6	37.6	29.6	34.2	34.6	26.6	32.8	31.7	26.3	35.2	33.3		33.3
	変わらず	56.0	60.6	56.4	58.9	52.5	54.5	59.0	55.4	56.9	59.1	60.0	58.9	66.1	62.2	65.0	66.1	59.3	60.0		58.8
	下降	6.7	10.6	9.9	6.8	5.9	13.1	10.3	5.9	5.5	11.3	5.8	6.5	7.3	5.0	3.3	7.6	5.6	6.7		7.8
	D・I	30.6	18.1	23.8	27.4	35.7	19.2	20.5	32.7	32.1	18.3	28.4	28.1	19.3	27.8	28.4	18.7	29.6	26.6	1.2	25.5
資金繰り	楽	1.3	2.9	4.8	1.3	0.9	4.0	4.1	0.0	3.6	2.5	3.9	4.7	2.4	3.1	3.1	3.4	3.6	3.9		1.8
	変わらず	83.1	73.8	75.2	80.0	85.3	75.2	81.8	86.2	80.4	82.4	80.5	75.7	86.2	81.1	81.7	81.9	86.5	81.3		81.7
	苦しい	15.6	23.3	20.0	18.7	13.8	20.8	14.0	13.8	16.1	15.1	15.6	19.6	11.4	15.7	15.3	14.7	9.9	14.8		16.5
	D・I	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-12.9	-16.8	-9.9	-13.8	-12.5	-12.6	-11.7	-14.9	-9.0	-12.6	-12.2	-11.3	-6.3	-10.9	5.9	-14.7
前年 同期比	売上額	-15.3		-20.2		-12.4		-6.2		-7.5		-8.3		-7.2		-9.4		-14.3			
	収益	-25.6		-29.8		-22.1		-19.3		-18.7		-26.6		-15.2		-16.0		-24.5			
	販売価格	-1.4		-10.6		-1.9		-0.9		5.6		9.9		4.8		2.4		-2.8			
雇用	前年比残業時間	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9	-3.8	-6.0	-5.3	-3.9	0.0	-4.6	-2.5	-1.9	0.0	-3.3	-6.9	-0.8	-0.9	-5.5		0.0
	人手	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9	-6.6	-12.7	-6.8	-6.7	-9.0	-6.9	-9.0	-10.0	-7.1	-9.0	-6.2	-6.5	-7.9	-7.0		-9.0
借入金	借入をした(%)	17.3	14.0	23.4	17.1	16.5	14.0	19.2	12.1	14.8	17.4	19.4	15.6	11.6	18.3	23.1	17.7	18.6	16.3		17.0
	借入をしない(%)	82.7	86.0	76.6	82.9	83.5	86.0	80.8	87.9	85.2	82.6	80.6	84.4	88.4	81.7	76.9	82.3	81.4	83.7		83.0
	借入難易度	-10.8		-15.1		-11.2		-11.7		-13.8		-13.1		-13.4		-3.0		-3.6			
有効回答事業所数	80		114		112		125		119		129		132		134		115				

不動産業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R6		R6		R6		R7		R7		R7		対前期比	R8 1～3月期 (予測)	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期			
設備	-9.9	-12.5	-8.9	-12.7	-2.0	-10.0	-7.8	-3.0	-7.4	-10.7	-6.6	-8.3	-7.2	-6.8	-9.5	-9.0	-7.3	-13.0	-7.3
投資	39.5	33.9	32.4	44.2	34.2	34.8	34.1	34.2	34.5	29.9	28.6	35.3	43.7	39.6	37.9	42.6	37.8	41.1	41.4
投資	14.0	16.9	5.9	25.6	12.7	17.4	14.8	18.4	11.5	14.9	14.3	14.1	16.7	18.8	10.5	19.1	11.1	17.9	21.8
投資	9.3	5.1	2.9	7.0	3.8	1.4	3.4	1.3	4.6	2.3	6.1	5.9	3.1	7.3	4.2	5.3	2.2	2.1	2.3
投資	7.0	5.1	4.4	11.6	2.5	10.1	10.2	6.6	5.7	8.0	4.1	8.2	6.3	2.1	6.3	6.4	8.9	7.4	10.3
投資	20.9	8.5	19.1	11.6	5.1	14.5	6.8	6.6	10.3	8.0	7.1	8.2	13.5	7.3	16.8	12.8	10.0	10.5	9.2
投資	2.3	10.2	10.3	4.7	6.3	8.7	6.8	3.9	5.7	5.7	6.1	4.7	9.4	10.4	9.5	8.5	10.0	8.4	11.5
投資	2.3	1.7	0.0	2.3	3.8	1.4	0.0	2.6	2.3	2.3	1.0	4.7	2.1	4.2	2.1	2.1	1.1	5.3	1.1
投資	60.5	66.1	67.6	55.8	65.8	65.2	65.9	65.8	65.5	70.1	71.4	64.7	56.3	60.4	62.1	57.4	62.2	58.9	58.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	31.1		36.9		25.0		23.5		21.6		26.1		28.3		33.6		29.2	
	人手不足	10.8		6.8		4.8		3.4		1.8		1.7		3.1		3.1		8.0	
	大手企業・大型店との競争の激化	6.8		4.9		5.8		10.9		3.6		5.9		4.7		7.0		7.1	
	同業者間の競争の激化	23.0		29.1		19.2		21.8		14.4		20.2		19.7		18.0		20.4	
	流通経路の変化による競争の激化	4.1		0.0		1.9		1.7		1.8		1.7		3.1		3.9		2.7	
	合理化の不足	5.4		3.9		4.8		3.4		3.6		1.7		3.1		1.6		5.3	
	利幅の縮小	21.6		22.3		24.0		19.3		22.5		22.7		19.7		25.0		16.8	
	小口注文・多頻度配送の増加	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	販売商品の不足	1.4		4.9		6.7		5.9		6.3		5.9		6.3		3.9		1.8	
	原材料価格・材料価格の上昇	12.2		16.5		24.0		16.0		21.6		21.8		18.1		19.5		21.2	
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0		1.6		0.8		0.9	
	仕入先からの値上げ要請	4.1		6.8		5.8		2.5		7.2		6.7		2.4		4.7		6.2	
	人件費の増加	5.4		3.9		2.9		4.2		2.7		3.4		1.6		5.5		6.2	
	人件費以外の経費増加	16.2		14.6		21.2		13.4		17.1		21.0		19.7		14.8		18.6	
	工場・店舗の狭小・老朽化	9.5		7.8		5.8		6.7		7.2		3.4		5.5		10.2		3.5	
	生産能力・技術力の不足	0.0		1.0		1.0		0.8		0.9		0.8		0.0		0.8		0.0	
	取引先の減少	6.8		4.9		5.8		5.0		2.7		0.8		3.9		4.7		7.1	
	商店街の集客力の低下	0.0		1.9		1.9		0.8		4.5		3.4		2.4		3.9		2.7	
	下請の確保難	0.0		1.0		1.9		5.0		4.5		2.5		2.4		1.6		2.7	
	駐車場・資材置場の確保難	1.4		0.0		0.0		0.0		0.9		0.8		0.0		1.6		0.0	
大手企業・工場の縮小・撤退	1.4		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		
その他	9.5		4.9		5.8		6.7		5.4		4.2		7.9		3.9		8.0		
問題なし	23.0		17.5		23.1		31.1		25.2		27.7		26.8		21.9		20.4		
重点経営施策(%)	販路を広げる	19.2		13.5		15.5		16.7		15.4		9.1		10.9		16.1		12.8	
	経費を削減する	41.1		45.2		32.0		29.2		36.5		37.2		38.3		36.3		30.3	
	品揃えを充実させる	4.1		3.8		2.9		2.5		2.9		0.0		3.1		3.2		0.0	
	情報力・宣伝・広報を強化する	19.2		19.2		11.7		24.2		10.6		9.9		14.8		14.5		11.9	
	新製品・技術を開発する	0.0		0.0		1.0		1.7		1.0		0.8		0.0		0.0		0.0	
	新しい工法を導入する	1.4		3.8		1.0		2.5		1.9		1.7		0.0		0.8		0.9	
	新しい事業を始める	6.8		8.7		6.8		5.0		8.7		9.1		6.3		10.5		10.1	
	不採算部門を整理・縮小する	2.7		0.0		3.9		0.0		1.9		3.3		0.8		2.4		3.7	
	店舗・設備を改装する	9.6		5.8		9.7		8.3		10.6		11.6		10.9		5.6		4.6	
	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.1		3.8		8.7		10.0		9.6		9.9		8.6		8.1		12.8	
	営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0	
	赤れ筋商品を取扱う	0.0		1.0		1.0		0.8		1.9		0.0		0.8		1.6		0.0	
	商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.8		1.6		2.4		0.9	
	機械化を推進する	2.7		1.0		0.0		0.8		0.0		0.8		1.6		0.0		0.0	
	技術力を強化する	2.7		1.9		1.0		0.0		1.9		2.5		0.0		2.4		0.0	
	人材を確保する	8.2		4.8		2.9		2.5		0.0		3.3		3.1		1.6		6.4	
	パート化を図る	1.4		1.9		2.9		2.5		0.0		1.7		0.0		0.8		0.9	
	教育訓練を強化する	4.1		1.0		1.0		1.7		3.8		1.7		0.0		0.8		0.9	
	労働条件を改善する	0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.8		0.8		0.8		1.8	
	工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.9	
流通経路の見直しをする	1.4		1.0		1.0		2.5		1.9		0.8		0.0		2.4		1.8		
取引先を支援する	1.4		2.9		0.0		1.7		1.0		0.0		2.3		0.8		0.9		
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
不動産の有効活用を図る	34.2		22.1		27.2		28.3		30.8		31.4		34.4		30.6		26.6		
その他	2.7		2.9		4.9		3.3		2.9		1.7		2.3		3.2		4.6		
特になし	19.2		25.0		27.2		28.3		30.8		28.1		31.3		28.2		33.9		
有効回答事業所数	80		114		112		125		119		129		132		134		115		

調査の概要

1. 調査時期 令和7年10～12月期
2. 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	325	179
卸売業	300	88
小売業	300	78
サービス業	300	152
建設業	325	172
不動産業	300	115
合計	1,850	784

※回収内訳：紙回答 410 件、WEB 回答 374 件